RICOH

RICOH MP CW2201/CW1201 シリーズ

使用説明書
〈コピー/ドキュメントボックス〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. 原稿の設定

原稿のサイズを指定する....7
定形サイズを指定する....7
不定形サイズを指定する....7
原稿を一定の幅で読み取る....8
原稿のセット方向を指定する....10
原稿の種類を選択する....12

2. 基本的なコピー機能

基本的なコピーのとりかた....15
原稿枚数のカウント／リセット....16
組み合わせできる機能....17
オートスタート....18
予約コピー....19
高速コピー....20
用紙サイズを指定しないでコピーする....22
回転コピー....23
用紙サイズを指定してコピーする....24
ロール紙のカット長さを設定する....25
シンクロカット....25
定寸カット....26
フリーカット....27
手差し給紙部からコピーする....29
手差し給紙部から定形サイズの用紙にコピーする....30
手差し給紙部から不定形サイズの用紙にコピーする....31
さまざまな用紙にコピーする....34
拡大・縮小してコピーする....35
定形変倍....35
ズーム....36
用紙指定変倍....38
オートモード変倍....39
1 枚にまとめてコピーする....41
ソート....44
試しコピー....46

コピー部数を変更する 46
ドキュメントボックスに原稿を蓄積する 48

3. カラーコピー機能

カラーでコピーする 49
フルカラーでコピーする 49
白黒でコピーする 50
指定した 1 色でコピーする 50
指定した 2 色でコピーする 52
赤と黒でコピーする 53
カラー変換 54
指定色消去 56
カラーを調整する 58
カラーバランス 58
カラー調整 61
カラーを登録する 64
ベース色をもとにして指定する 64
濃度をテンキーで指定する 65
登録した色の名前を変更する 67
登録した色を消去する 67
登録色の一覧を印刷する 68

4. 便利なコピー機能

コピー濃度を調整する 69
自動濃度を選択する 69
濃度を調整する 69
組み合わせて濃度を調整する 70
画質を調整する 71
シャープ／ソフト 72
コントラスト 72
地肌調整 73
UCR 調整 74
拡大・縮小コピーを活用する 76
寸法変倍 76
独立変倍% 77

独立変倍 mm ... 79
微調変倍 ... 80
コピーに印字する ... 82
機密管理ナンバリング ... 83
スタンプ印字 ... 84
ユーザースタンプ印字 ... 86
日付印字 ... 90
ページ印字 ... 93
文字印字 ... 97
いろいろなコピー機能 ... 101
余白 ... 101
枠消去 ... 102
内消去 ... 104
外消去 ... 106
リピート ... 108
ダブルコピー ... 111
反転 ... 112
部分コピー ... 113
ミラー ... 114
フォーマット合成 ... 115
印刷位置調整 ... 118

5. ドキュメントボックス機能

各機能とドキュメントボックスの関係 ... 121
文書を蓄積する ... 122
蓄積した文書の文書情報を変更する ... 125
ユーザー名を変更する ... 125
文書名を変更する ... 125
パスワードを変更する ... 126
蓄積した文書の詳細を表示する ... 128
蓄積した文書を検索する ... 129
文書名で検索する ... 129
ユーザー名で検索する ... 130
蓄積した文書を印刷する ... 131

印刷を中止する..... 132
印刷部数を変更する.....133
試し印刷..... 133
指定ページ印刷..... 134
蓄積した文書を消去する.....136
蓄積した文書をフォルダーで整理する..... 137
フォルダーを作成する.....137
フォルダーの情報を変更する.....138
フォルダーを検索する.....139
フォルダーを削除する.....141
蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する..... 142
蓄積した文書を Web Image Monitor でダウンロードする..... 143
蓄積した文書にアクセス権を設定する..... 144
蓄積した文書のユーザーとアクセス権を設定する.....144
特定ユーザーの蓄積文書へのアクセス権を事前に設定する.....146

6. コピー／ドキュメントボックス初期設定

基本コピー設定.....149
変倍率設定..... 154
基本編集設定.....156
印字編集設定.....161
機密管理印字.....161
スタンプ印字.....162
ユーザースタンプ..... 166
日付印字..... 169
ページ印字.....172
文字印字..... 175
周辺設定..... 178
カラー画質設定.....179
管理者用設定.....180

7. 付録

機能別読み取りサイズ一覧..... 181
登録控えフォーマット.....182
定形倍率表..... 185

仕上がり寸法.....186

1. 原稿の設定

コピーする原稿のサイズや方向を指定する方法を説明します。

原稿のサイズを指定する

定形サイズを指定する

本機にセットできる定形サイズの原稿は、自動的にサイズが検知されます。詳しくは、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる原稿のサイズと紙厚」を参照してください。

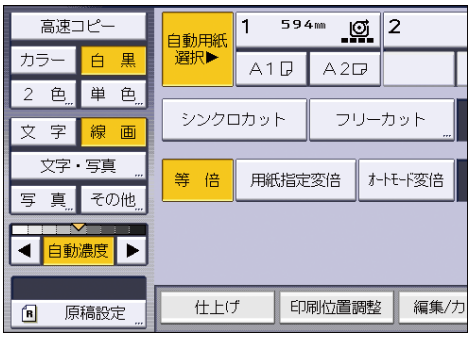
不定形サイズを指定する

読み取る原稿のサイズを数値で指定します。

セットできる原稿のサイズは、タテ 210～15,000mm、ヨコ 210～914mm です。ただし、コピーできる用紙のサイズは、RICOH MP CW2201 シリーズでタテ 210.0～15,000.0mm、ヨコ 279.4～914.4mm、RICOH MP CW1201 シリーズでタテ 210.0～15,000.0mm、ヨコ 279.4～610.0mm です。

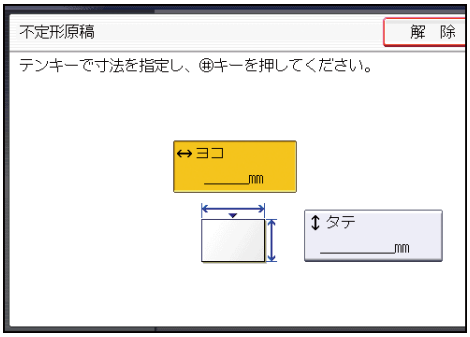
本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [原稿設定] を押します。



2. [不定形原稿] を押します。

3.「ヨコ」のサイズをテンキーで入力し、[#] を押します。



4.「タテ」のサイズをテンキーで入力し、[#] を押します。

5. [OK] を 2 回押します。

補足

- 不定形サイズの原稿をセットするときにサイズ設定をしないと、画像が欠けてコピーされます。

原稿を一定の幅で読み取る

[最大幅読み取り] を選択すると、原稿の幅にかかわらず、一定の読み取り幅で原稿を読み取ります。

重要

- **手差しコピーはできません。**

不定形原稿のサイズを設定しなくても、画像が欠けることなくコピーできます。

コピーしたい用紙が原稿より大きいときに [最大幅読み取り] を選択すると、画像が用紙の幅方向の中央上に印刷されます。

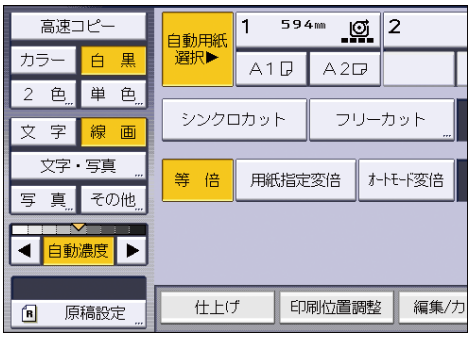
コピーしたい用紙が原稿より小さいときに [最大幅読み取り] を選択すると、画像の幅方向の中央上部分がコピーされます。

	[最大幅読み取り] を選択しないときの印刷結果	[最大幅読み取り] を選択したときの印刷結果
原稿サイズが用紙サイズより小さいとき R	画像は用紙の左上に印刷されます。 R	画像は用紙の中央上に印刷されます。 R

	[最大幅読み取り] を選択しないときの印刷結果	[最大幅読み取り] を選択したときの印刷結果
原稿サイズが用紙サイズより大きいとき 	画像の左上部分が印刷されます。 	画像の中央上部分が印刷されます。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [原稿設定] を押します。



2. [最大幅読み取り] を押し、[OK] を押します。

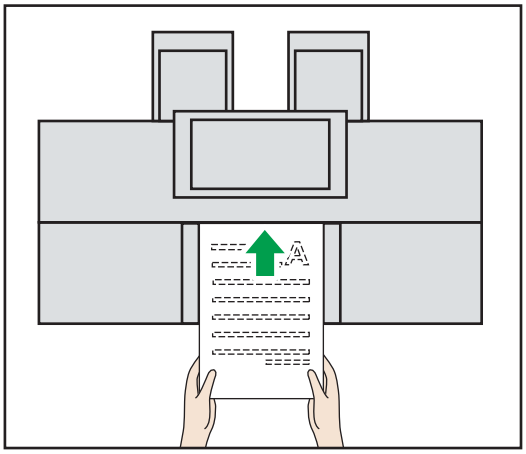
補足

- [最大幅読み取り] を設定したときの読み取り幅は、用紙の幅に変倍率をかけたものになります。最大幅読み取りの最大値は 914mm です。
- 原稿をドキュメントボックスに読み込んだときは、選択した給紙部の用紙サイズで蓄積されます。
- 選択しているロール紙のカット方法によっては、使用できない機能があります。組み合わせできる機能については、P.18「機能組み合わせ一覧」を参照してください。

原稿のセット方向を指定する

1

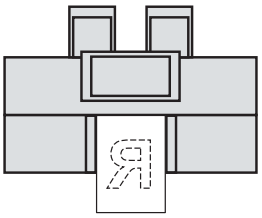
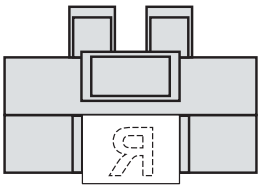
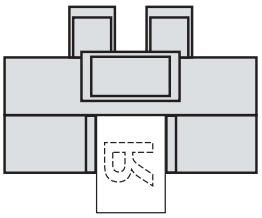
原稿を持ったとき、文字が読める状態（読める方向）のまま、裏返して原稿テーブルにセットします。

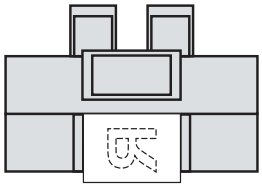


CPH001

原稿の状態により読める方向にセットできないときは、機能によっては思いどおりの結果が得られません。このようなときは「原稿セット方向」を読めない方向に変更します。

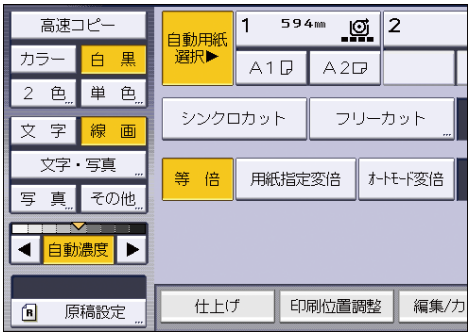
原稿のセット方向と、原稿の置きかたの関係は次のとおりです。

原稿セット方向	原稿の向き	原稿テーブルへのセット方向
読める方向		
読める方向		
読めない方向		

原稿セット方向	原稿の向き	原稿テーブルへのセット方向
読めない方向		

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [原稿設定] を押します。



2. 原稿セット方向を選択し、[OK] を押します。

補足

- 自動用紙選択または用紙指定変倍と組み合わせることをお勧めします。

原稿の種類を選択する

原稿の状態や画質に合った原稿種類を選択します。

原稿種類には次の 9 種類があります。

文字

文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。

線画

図面などの線画の原稿に適した設定で読み取ります。とぎれやすい細い線をきれいにコピーします。

文字・写真

写真や絵画と文字が混じった原稿に適した設定で読み取ります。

写真

写真や絵画原稿に適した設定で読み取ります。

複写原稿

繰り返しコピーした原稿に適した設定で読み取ります。文字の太りやつぶれを抑えてきれいにコピーします。

地図

地図原稿に適した設定で読み取ります。

蛍光ペン

蛍光ペンでマーキングした原稿に適した設定で読み取ります。

ケイ線消去

セクションペーパー原稿などに書かれた緑色のケイ線を消去してコピーします。青色のケイ線は消えづらいことがあります。

切り張り原稿

地肌の濃さが異なる原稿を切り張りしてコピーするとき、地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにします。

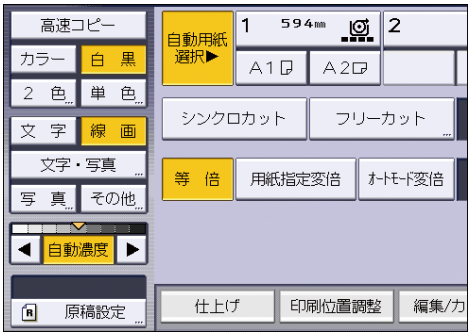
[文字・写真] または [写真] を選択すると、写真の種類を次の 3 種類から選択できます。

- 印画紙写真：プリント（現像）された写真を原稿にするとき
- 印刷写真：雑誌などの印刷された写真を原稿にするとき
- 複写写真：カラーコピーを原稿にするとき

[その他] を押したあとの画面で [原稿種類の説明] を押すと、原稿種類の説明が表示されます。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 原稿の種類を選択します。



補足

- [複写原稿]、[地図]、[蛍光ペン]、[ケイ線消去]、[切り張り原稿]を選択するときは、[その他]を押してから選択します。
- [蛍光ペン]、[ケイ線消去]、[切り張り原稿]は、カラーモードで[白黒]を選択したときに有効です。
- [写真]を選択すると、自動濃度は解除されます。
- 塗りつぶし部分（ベタ）が大きな切り張り原稿では、ベタが地肌と認識されて原稿の一部が消去されることがあります。
- [基本コピー設定]で、優先的に選択される原稿の種類を変更できます。詳しくは、P.149「基本コピー設定」を参照してください。
- 網点写真や線が複雑な画像で[文字]を選択すると、モアレが発生することがあります。また網点写真や線が複雑でない画像でも、変倍することによりモアレが目立つことがあります。
- [文字]を選択してコピーするとハーフトーン部に縦の帯状に 0.5mm 間隔のムラが生じるときは、[文字・写真]または[写真]を選択してください。
- [写真]を選択したときは、線や文字の解像度の低下や輪郭のにじみが生じることや、文字などがつぶれて判読できないことがあります。

2. 基本的なコピー機能

基本的なコピーの機能について説明します。

基本的なコピーのとりかた

原稿を原稿テーブルにセットしてコピーします。セット方法は、『用紙の仕様とセット方法』「原稿を原稿テーブルにセットする」を参照してください。

原稿の排紙先を設定できます。詳しくは、『用紙の仕様とセット方法』「原稿の排出先」を参照してください。

普通紙以外の用紙にコピーするときは、使用する紙の厚さに応じて［用紙設定］で用紙の種類を設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。

あらかじめ排紙バスケットをセットしてください。詳しくは、『本機のご利用にあたって』「排紙バスケットをセットする」を参照してください。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. **画面中央下の［ホーム］（ ）を押します。**
2. **［コピー］アイコンを押します。**
3. **コピーする枚数など前の設定が残っていないことを確認します。**

   前の設定が残っているときは［リセット］を押します。
4. **原稿の排出先を設定します。**

   後方の原稿スタッカーをつけると原稿スタッカーに、はずすと原稿ガイドに排紙されます。
5. **原稿の向きに合わせて、原稿セット方向を設定します。**
6. **機能の設定をします。**
7. **テンキーでコピーする枚数を入力します。**

   入力できるコピー枚数は 99 枚までです。
8. **原稿をセットします。**

   原稿が搬送され、コピーが始まります。

   ［システム初期設定］の［原稿送り開始方法］で［スタートキー押下］を設定しているときは、［スタート］を押します。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。
9. **コピー終了後は［リセット］を押して、設定を解除します。**

補足

- ユーザー認証が設定されているときはログイン画面が表示されます。本機にログインしてから操作してください。ログイン方法は、『本機のご利用にあたって』「本機にログインする」を参照してください。また、ログインして操作したあとは、ほかの使用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。
- トレーシングペーパーなど、インクが乾燥しにくい用紙に印刷しているときは、印刷が終わってから次の原稿をセットしてください。印刷中に次の原稿をセットすると、原稿が本機から排紙された用紙と接触し、原稿にインクが付着することがあります。
- コピーを中止するときは、[ストップ]を押します。
- [ストップ]を押すタイミングによっては、次のページが印刷されることがあります。また、コピーを中止するまでに時間がかかることがあります。
- 原稿の搬送を中止するときは[原稿ストップ]キーを押します。詳しくは、『用紙の仕様とセット方法』「原稿の搬送を中止する」を参照してください。
- 設定したコピー機能をすべて取り消して、電源を入れた状態に戻すときは、[リセット]を押します。
- 画面の操作がしづらいときは、排紙バスケットを閉じて操作してください。
- コピー初期画面に表示されるキーの説明については、『本機のご利用にあたって』「コピー機能の画面」を参照してください。
- [基本コピー設定]の[コピーセット枚数制限設定]で、セットできるコピー枚数の上限を設定できます。詳しくは、P.149「基本コピー設定」を参照してください。
- コピー中は給紙部のカバーを開けないでください。紙づまりの原因になります。

原稿枚数のカウント／リセット

原稿の読み取りが終わると、読み取った原稿枚数がカウントされ、画面の右上に表示されます。

1 つのジョブの原稿枚数を確認したり、重送や読み取り漏れをチェックしたりできます。

また、排紙バスケットのストック枚数の目安にもなります。

原稿枚数をリセットするときは、［原稿］を押します。

組み合わせできる機能

コピー機能では、組み合わせできる機能とできない機能があります。組み合わせできない機能を選択したときは、選んだ順番によって有効になる機能が変わります。組み合わせできる機能については、P.18「機能組み合わせ一覧」を参照してください。

機能組み合わせ一覧

機能組み合わせ一覧

表で使用している記号の意味は、次のとおりです。
空欄：組み合わせ可
× ：組み合わせ不可（先に設定した機能が優先）
● ：組み合わせ不可（あとから設定した機能が優先）

先に設定した機能	あとから設定する機能																																												
機能名	不定形原稿	最大幅読み取り	原稿方向（読めない向き）	自動濃度	手動濃度	フルカラー	2色	2色（黒・赤）	単色	白黒	高速コピー	自動用紙選択	手動用紙選択	手差しコピー	シンクロカット	フリーカット	定寸カット	用紙指定変倍	変倍	オートモード変倍	集約	ダブルコピー	原稿全体リピート	範囲指定リピート	印刷位置調整	反転	枠消去	内消去	外消去	ミラー	フォーマット合成	登録フォーマット合成	部分コピー	余白	指定色消去	カラー変換	機密管理ナンバリング	スタンプ印字	ユーザースタンプ印字	日付印字	ページ印字	任意文字印字	ソート	回転ソート	文書蓄積
不定形原稿		●										×			×					×														×											
最大幅読み取り	●											×		×				×		×	×	×	×	×				×	×		×	×	×												
原稿方向（読めない向き）																																													
自動濃度																																			●										
手動濃度																																													
フルカラー							●	●	●	●																					×	×													
2色						●		●	●	●																					×	×			×	×									
2色（黒・赤）						●	●		●	●																					×	×			×	×									
単色						●	●	●		●																					×	×				×									
白黒						●	●	●	●																										×	×									
高速コピー																																													
自動用紙選択	●	●											●	●	●	●	●	●	●*2		●	●	●	●			●	●	●				●	●											
手動用紙選択												●		●						●																									
手差しコピー		×										●	●		●	●	●	×		●	×	×	×	×			×	×	×		×	×		×			×	×	×	×	×	×		×	×
シンクロカット	×											●		●		●	●	×		●	×	×	×	×			×	×	×		×	×					×	×	×	×	×	×		×	
フリーカット												●		●	●		●	×		●	×	×	×	×										×										×	
定寸カット												●		●	●	●				●														×											
用紙指定変倍		×										●		×	×	×			●	●			●	●										×											
変倍												×*1						●		●																									
オートモード変倍	×	×											●	●	●	●	●	●	●		×	×	×	×			×	×	×				×	×											
集約		×										×		×	×	×				×		×	×	×							×	×		×											
ダブルコピー		×										×		×	×	×				×	×		●	●							×	×		×											×
原稿全体リピート		×										×		×	×	×		×		×	×	●		●							×	×		×											×
範囲指定リピート		×										×		×	×	×		×		×	×	●	●								×	×		×											×
印刷位置調整																														×	×	×													
反転																															×	×													
枠消去												×		×	×					×											×	×		×											
内消去		×										×		×	×					×														×											
外消去		×										×		×	×					×											×	×		×											
ミラー																									×						×	×													×
フォーマット合成		×				×	×	×	×					×	×						×	×	×	×	×	×	×		×	×		●		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
登録フォーマット合成		×				×	×	×	×					×	×						×	×	×	×	×	×	×		×	×	●			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
部分コピー		×										×								×																									
余白	×											×		×		×	×	×		×	×	×	×	×			×	×	×		×	×					×	×	×	×	×	×		×	
指定色消去				×			×	×		×																					×	×													
カラー変換							×	×	×	×																					×	×													
機密管理ナンバリング														×	×																×	×		×											
スタンプ印字														×	×																×	×		×											
ユーザースタンプ印字														×	×																×	×		×											
日付印字														×	×																×	×		×											
ページ印字														×	×																×	×		×											
任意文字印字														×	×																×	×		×											
ソート																															×	×												●	
回転ソート														×	×	×															×	×		×										●		
文書蓄積														×								×	×	×						×	×	×													

*1 独立変倍%または独立変倍 mm を選択したときは、先に選択した機能が優先されます。
*2 独立変倍%または独立変倍 mm を選択したときは、あとに選択した機能が優先されます。

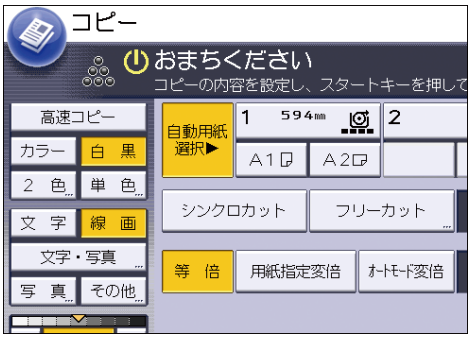
DNQ001

オートスタート

あらかじめ原稿を読み取り、コピーできる状態になったときに自動的にコピーが始まります。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 「原稿の読み取りのみ開始できます」と「コピーの内容を設定し、スタートキーを押してください」が交互に表示されている間に、コピー内容を設定します。



2. 原稿をセットします。

   原稿が読み取られます。

   コピーできる状態になったときに自動的にコピーが始まります。

予約コピー

コピー実行中に次のジョブを予約します。コピー機能とドキュメントボックス機能で、それぞれ 8 件までジョブを予約できます。

コピー終了後、自動的に予約したコピーが始まります。

1. 「コピー中です」が表示されている間に［新規予約］を押します。

2. 「予約できます」と表示されているのを確認し、予約するコピーの内容を設定します。

3. **原稿をセットします。**

原稿が搬送され、原稿の読み取りが開始されます。

予約コピーが終了すると予約受け付け確認の画面が表示されます。

4. **[確認] を押します。**

コピー終了後、自動的に予約したコピーが始まります。

補足

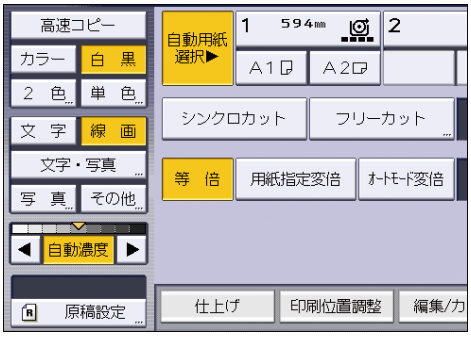
- ドキュメントボックス機能で文書を印刷しているときは、印刷している文書を蓄積した機能だけが予約できます。たとえば、プリンター機能で蓄積した文書を印刷しているときは、コピー機能でジョブを予約できません。
- コピーの予約中に、[印刷中画面へ] を押すと先に設定されたコピーの画面へ、また [予約画面へ] を押すと、あとから予約したコピーの画面に移ります。
- 予約画面にはジョブ No.で登録されています。
- 予約したジョブを削除したり、内容を確認したりできます。詳しくは、『便利な機能』「ジョブを管理する」を参照してください。
- 原稿サイズが大きいときは、予約件数が最大になっていなくても、予約できないことがあります。

高速コピー

垂直方向の解像度を低くしてコピーします。通常より速くコピーできます。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. **[高速コピー] を押します。**



2. **原稿をセットして読み込ませます。**

補足

- 回転ソートと組み合わせたときは、奇数ページと偶数ページで印刷結果が異なることがあります。

用紙サイズを指定しないでコピーする

セットされた原稿のサイズを読み取り、自動的に倍率に合った用紙を選択します。

重要

- **手差しコピーはできません。**

2

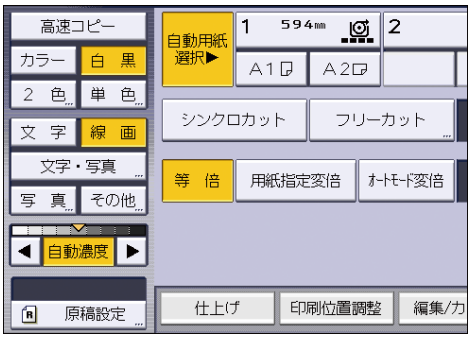
自動用紙選択できる原稿サイズ、方向は次のとおりです。(等倍のとき)

A0□*、A1□、A1□*、A2□□、A3□□、A4□□、B1□*、B2□、B2□*、B3□□、B4□□

* RICOH MP CW1201 シリーズでは、このサイズの原稿は読み取れますが、用紙への印刷はできません。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [自動用紙選択] が選択されていることを確認します。



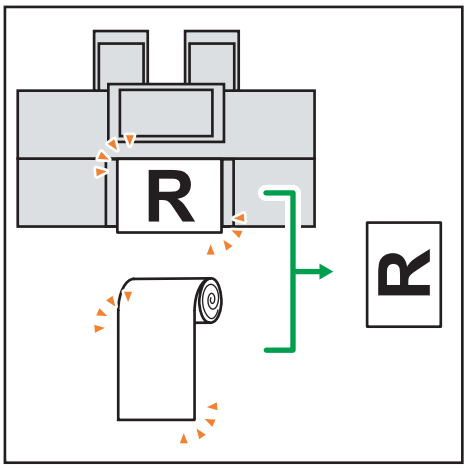
2. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- [用紙設定] の「用紙種類」を [表示しない] または [再生紙] に設定し、「自動用紙選択の対象」を [対象] に設定した給紙部だけが自動用紙選択の対象です。錠のマーク (🔒) が付いている給紙部は自動的に選択されません。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。
- 「用紙種類」を変更したときは、コピーに時間がかかることがあります。
- 自動用紙選択では、原稿を読み取ったあとに用紙を選択するため、コピー終了までの時間が長くなることがあります。
- 設定した用紙サイズと倍率に合う用紙がセットされていないときは、合うサイズの用紙を給紙部にセットしてください。または、セットされている用紙に合う変倍率を設定し、原稿をセットし直してください。

回転コピー

セットした原稿と給紙部にセットされている用紙の方向が異なるときでも、用紙の方向に合わせて自動的に画像を 90 度回転してコピーします。この動作を回転コピーと呼びます。回転コピーは、［自動用紙選択］または［用紙指定変倍］を選択しているときに有効な機能です。詳しくは、P.22「用紙サイズを指定しないでコピーする」または P.38「用紙指定変倍」を参照してください。



CPH031

補足

- ［基本コピー設定］の［リミットレス給紙］は、工場出荷時に［回転可能で動作］に設定されています。［回転不可で動作］または［しない］に変更すると、回転コピーはできません。詳しくは、P.149「基本コピー設定」を参照してください。
- RICOH MP CW2201 シリーズでは A0 または B1 サイズ、RICOH MP CW1201 シリーズでは A1 または B1 サイズの用紙には、等倍で回転コピーできません。原稿は↓方向にセットしてください。
- A4 または B4 サイズに等倍で回転コピーするときは、原稿を↓方向、用紙を→方向にセットしてください。

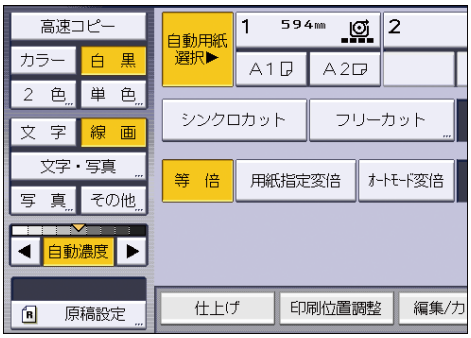
用紙サイズを指定してコピーする

サイズが読み取りにくい原稿をコピーするときは、用紙サイズを選択してください。

コピーする用紙を、給紙部 1、給紙部 2、または手差し給紙部から選択します。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 使用する用紙がセットされている給紙部を選択します。



2. 原稿をセットして読み込ませます。

ロール紙のカット長さを設定する

給紙部にセットしたロール紙のカット長さを設定します。

重要

- **手差し給紙部から給紙する用紙はカットできません。**

用紙のカット方法は、次の種類があります。

シンクロカット

原稿と同じ長さに用紙をカットします。変倍を設定すると、その倍率から算出した長さでカットします。

定寸カット

原稿のサイズに関係なく、指定した定形サイズでカットします。長さの異なる複数枚の原稿を同じ長さのコピーに仕上げられます。

フリーカット

原稿のサイズに関係なく、指定した長さで用紙をカットします。

補足

- コピーできる用紙の長さは最小で 210mm です。RICOH MP CW2201 シリーズでは 841mm 幅以上、RICOH MP CW1201 シリーズでは 594mm 幅以上のマイペーパーにコピーできる長さは最大で 15,000mm です。それ以外の用紙では 3,600mm です。最大長さを超えてコピーすると、用紙のななめ送りが生じ、印字品質の悪化や、搬送しわが起こることがあります。
- 長尺コピーするときは、コピーを開始する前にインクの残量を確認してください。インクが切れると印刷が中断され、インクを交換したあとは最初からコピーし直します。
- 連続して長尺コピーするとき、次のコピーが始まるまでに時間がかかります。

シンクロカット

原稿と同じ長さに用紙をカットします。変倍を設定すると、その倍率から算出した長さでカットします。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 給紙部 1 または給紙部 2 を選択します。

2. [シンクロカット] が選択されていることを確認します。

補足

- シンクロカットとフォーマット合成は組み合わせできません。
- 原稿や用紙により、カット誤差が生じることがあります。

定寸カット

原稿のサイズに関係なく、指定した定形サイズでカットします。長さの異なる複数枚の原稿を同じ長さのコピーに仕上げられます。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 給紙部 1 または給紙部 2 の定形サイズを選択します。

補足

- ロール紙の種類によりカットできる用紙サイズは異なります。選択できる用紙サイズと定寸サイズは次のとおりです。

ロール紙の幅	定寸タテ	定寸ヨコ
841mm*	A0	A1
594mm	A1	A2
420mm	A2	A3
297mm	A3	A4
728mm*	B1	B2
515mm	B2	B3
364mm	B3	B4
914mm*	1,219mm	610mm
880mm*	1,189mm	594mm
800mm*	1,189mm	594mm
707mm*	1,000mm	500mm
680mm*	841mm	420mm
660mm*	841mm	420mm
625mm*	880mm	440mm
620mm*	880mm	440mm
490mm	594mm	297mm
440mm	594mm	297mm

* このサイズの用紙は RICOH MP CW2201 シリーズだけで使用できます。

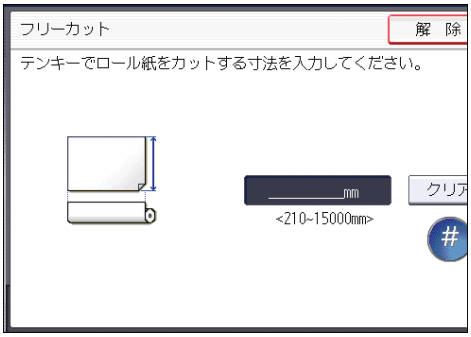
フリーカット

原稿のサイズに関係なく、指定した長さで用紙をカットします。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [フリーカット] を押します。

2. テンキーで長さを入力し、[#] を押します。



3. [OK] を押します。

4. 給紙部 1 または給紙部 2 を選択します。

手差し給紙部からコピーする

給紙部 1 や給紙部 2 にセットできないサイズの用紙や、A4 などのカット紙にコピーします。

手差し給紙部に用紙をセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「手差し給紙部に用紙をセットする」を参照してください。

本機の背面にケーブルがかかっている、またはものが置いてあると、用紙がぶつかって紙詰まりやしわができる原因になります。コピーを開始する前に、背面を確認してください。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. **前カバーを開き、用紙固定レバーを上げます。**
2. **コピーする面を上にして、手差し給紙部に用紙をセットします。**
3. **用紙固定レバーを下げて、前カバーを閉めます。**
4. **必要に応じて用紙の種類を選択します。**
5. **手差し給紙部（）が選択されていることを確認し、[#]を押します。**
6. **[用紙サイズ]を押します。**
7. **用紙のサイズを設定し、[OK]を 2 回押します。**
8. **テンキーでコピーする枚数を入力します。**
9. **原稿をセットして読み込ませます。**

   自動的にコピーが始まります。
10. **2 枚以上コピーするときは、コピーする枚数分だけ手順 1〜4 を繰り返します。**

    手順 4 では、[はい]を選択します。
11. **コピー終了後は[リセット]を押して、設定を解除します。**

補足

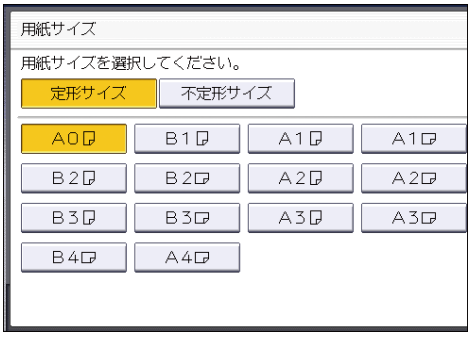
- [用紙設定]で、用紙の種類や厚さの設定を変更できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。
- [手差し選択時の用紙設定画面表示]を[自動表示する]に設定すると、[#]の代わりに[]を押しても、「手差し用紙設定」画面を開くことができます。詳しくは、P.149「基本コピー設定」を参照してください。
- 手差し給紙部が自動的に選択されないときは、[]を押してください。

手差し給紙部から定形サイズの用紙にコピーする

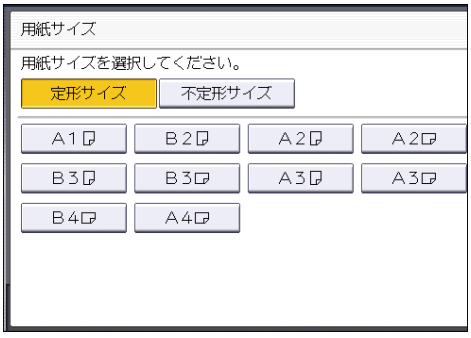
本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 前カバーを開き、用紙固定レバーを上げます。
2. コピーする面を上にして、手差し給紙部に用紙をセットします。
3. 用紙固定レバーを下げて、前カバーを閉めます。
4. 必要に応じて用紙の種類を選択します。
5. 手差し給紙部（）が選択されていることを確認し、[#]を押します。
6. [用紙サイズ]を押します。
7. 用紙のサイズを選択します。

RICOH MP CW2201 シリーズ



RICOH MP CW1201 シリーズ



8. [OK]を2回押します。

補足

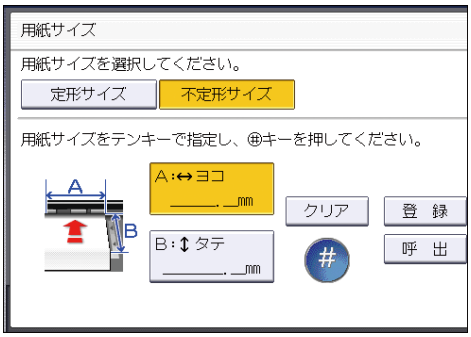
- 手差し給紙部にセットできる用紙サイズについては、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

手差し給紙部から不定形サイズの用紙にコピーする

手差しコピーできる用紙サイズは、RICOH MP CW2201 シリーズでタテ 210.0～2,000.0mm、ヨコ 279.4～914.4mm、RICOH MP CW1201 シリーズでタテ 210.0～2,000.0mm、ヨコ 279.4～610.0mm です。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 前カバーを開き、用紙固定レバーを上げます。
2. コピーする面を上にして、手差し給紙部に用紙をセットします。
3. 用紙固定レバーを下げて、前カバーを閉めます。
4. 必要に応じて用紙の種類を選択します。
5. 手差し給紙部（）が選択されていることを確認し、[#] を押します。
6. [用紙サイズ] を押します。
7. [不定形サイズ] を押します。
8. 「ヨコ」の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。



9. 「タテ」の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。
10. [OK] を 2 回押します。

補足

- 不定形サイズを登録できます。詳しくは、P.31「不定形サイズを登録する」を参照してください。また、登録した不定形サイズを呼び出すこともできます。詳しくは、P.32「不定形サイズを呼び出す」を参照してください。

不定形サイズを登録する

頻繁に使用する不定形用紙のサイズを登録できます。登録できる不定形サイズは 1 件です。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 用紙選択の［］を押します。

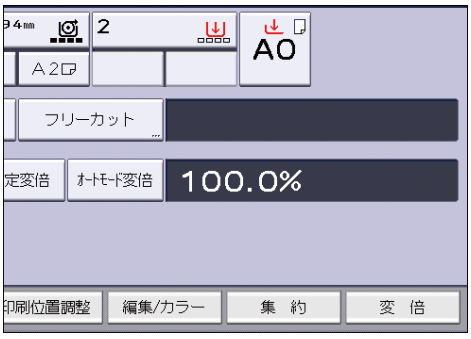
2. ［用紙サイズ］を押します。
3. ［不定形サイズ］を押します。
4. 「ヨコ」の寸法をテンキーで入力し、［#］を押します。
5. 「タテ」の寸法をテンキーで入力し、［#］を押します。
6. ［登録］を押します。
7. ［確認］を押します。
8. ［OK］を 2 回押します。

不定形サイズを呼び出す

あらかじめ登録した不定形用紙のサイズを画面に表示します。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 用紙選択の［］を押します。



2. [用紙サイズ] を押します。
3. [不定形サイズ] を押します。
4. [呼出] を押します。
5. [OK] を 2 回押します。

さまざまな用紙にコピーする

重要

- **出てきたコピーを 1 枚ずつ取り除いてください。**

トレーシングペーパー（第二原図用紙）、薄紙、厚紙など、さまざまな用紙にコピーできます。セットできる用紙の種類や厚さについては、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。

用紙をセットしたときに、使用する用紙の種類と厚さを選択してください。用紙をセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「給紙部にロール紙をセットする」、「手差し給紙部に用紙をセットする」を参照してください。

補足

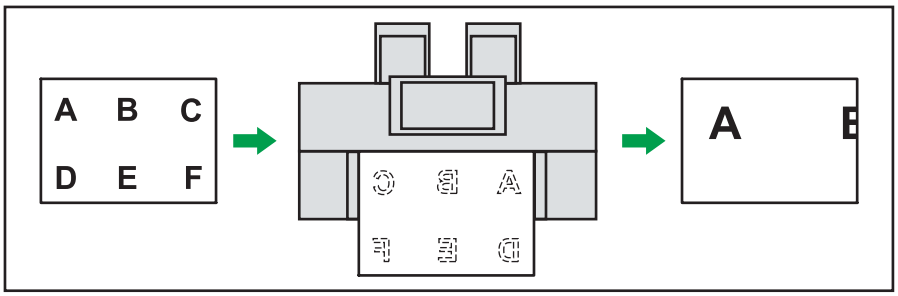
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）、フィルム、コート紙、または特殊紙にコピーするときは、普通紙にコピーするときより印刷速度が遅くなります。

拡大・縮小してコピーする

倍率を指定する方法と、用紙サイズを指定する方法を説明します。

基点について

拡大・縮小の基点は、原稿の右奥です。



CPH016

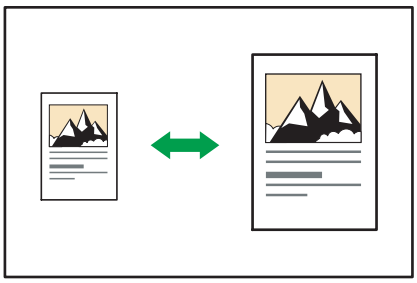
ここで説明している拡大・縮小機能のほかにも、原稿とコピーの画像の大きさを指定したり、タテとヨコで異なる倍率を指定したりできます。詳しくは、P.76「拡大・縮小コピーを活用する」を参照してください。

補足

- 倍率の範囲は 25.0～400.0%です。

定形変倍

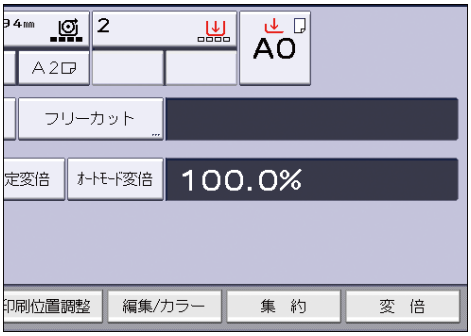
あらかじめ設定されている倍率を選択し、画像を拡大または縮小してコピーします。最大 3 つまで任意の倍率を登録できます。



CKN004

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [変倍] を押します。



2. 倍率を選択し、[OK] を押します。

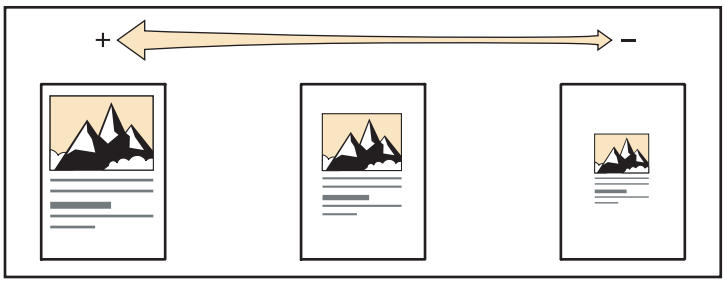
3. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- 原稿や用紙サイズ、ロール紙のカット方法に関係なく倍率を選択できますが、設定や状態によっては画像が欠けることや、余白ができることがあります。
- 固定倍率と、原稿サイズと用紙サイズの関係については、P.185「定形倍率表」を参照してください。
- 拡大・縮小の基点については、P.35「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。
- [変倍率設定] で画面に表示される変倍率を変更できます。詳しくは、P.154「変倍率設定」を参照してください。

ズーム

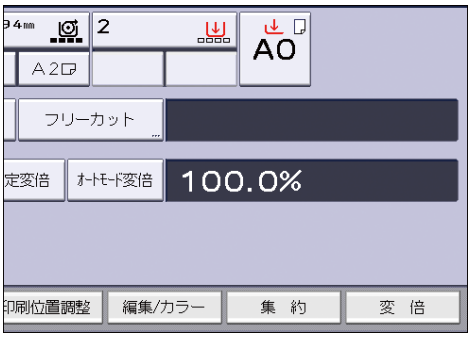
0.1%刻みで拡大または縮小してコピーします。



倍率をテンキーで指定する方法と、[+] [−] で指定する方法があります。ここではテンキーで指定する方法を説明します。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [変倍] を押します。



2. [テンキー] を押します。
3. テンキーで倍率を入力し、[#] を押します。

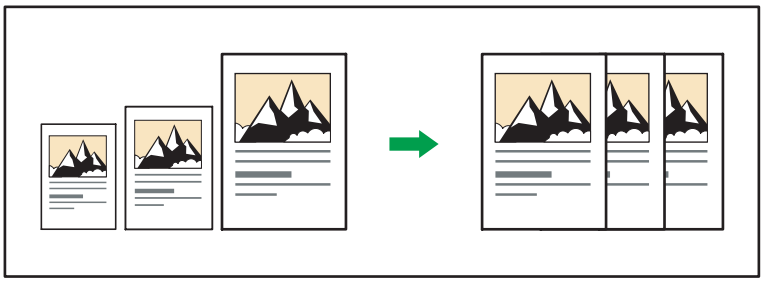
4. [OK] を 2 回押します。
5. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- [+] [–] で指定するときは、[変倍] を押したあと設定する倍率に近い倍率を選択します。[+] または [–] を押すと倍率が 0.1%ずつまたは 1%ずつ倍率が変わります。キーを押し続けると 10 倍の刻みで倍率が変わります。
- 原稿や用紙サイズ、ロール紙のカット方法に関係なく倍率を選択できますが、設定や状態によっては画像が欠けることや、余白ができることがあります。
- 小数点は [./✳] で入力します。
- 拡大・縮小の基点については、P.35「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。

用紙指定変倍

原稿のサイズを自動的に検知し、指定した用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小コピーします。



CKN008

重要

- **手差しコピーはできません。**

用紙指定変倍は、異なる大きさの原稿を同じ大きさの用紙にコピーするときに便利です。

用紙指定変倍を使用するときは、原稿セット方向をあらかじめ設定してください。原稿セット方向を正しく設定しないと、思いどおりの結果を得られないことがあります。セットする原稿の向きに合わせて、正しく原稿セット方向を指定してください。詳しくは、P.10「原稿のセット方向を指定する」を参照してください。

用紙指定変倍できる原稿のサイズ、方向は次のとおりです。

A0、A1、A2、A3、A4、B1、B2、B3、B4

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [用紙指定変倍] を押します。

2. 使用する用紙がセットされている給紙部を選択します。
3. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- 選択される倍率については、『保守/仕様』「本体仕様」を参照してください。
- 拡大・縮小の基点については、P.35「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。

オートモード変倍

原稿をセットすると、あらかじめ設定されている用紙サイズに、自動的に拡大または縮小してコピーします。

重要

- **手差しコピーはできません。**

初期設定で、原稿サイズごとに拡大または縮小する用紙サイズの組み合わせを設定できます。

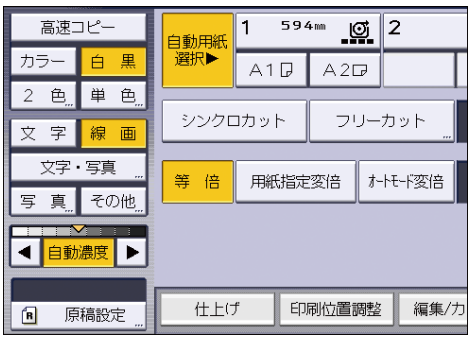
組み合わせできる原稿サイズと用紙サイズは次のとおりです。

原稿サイズ	用紙サイズ
A0	A0*、A1、A2、A3、A4、B1*、B2、B3、B4
A1	
A2	
A3	
A4	
B1	
B2	
B3	
B4	

* このサイズは RICOH MP CW2201 シリーズだけで設定できます。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. **[オートモード変倍] を押します。**



2. **選択されているオートモード変倍の組み合わせを確認します。**

3. **原稿をセットして読み込ませます。**

補足

- セットする原稿の向きに合わせて、正しく原稿セット方向を指定してください。詳しくは、P.10「原稿のセット方向を指定する」を参照してください。
- 拡大・縮小の基点については、P.35「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。
- 工場出荷時の設定は、各サイズとも等倍です。組み合わせは、[変倍率設定] の [オートモード変倍] で設定します。詳しくは、P.154「変倍率設定」を参照してください。

1 枚にまとめてコピーする

用紙サイズと集約数に合わせて自動的に倍率を設定し、1 枚の用紙にコピーします。

設定される倍率は 25.0～400.0%です。原稿の方向と用紙の方向が一致しないときは、自動的に画像を 90 度回転してコピーします。

CKN014

重要

- **手差しコピーはできません。**

片面集約には次の 3 種類があります。

- 片面 2 枚→片面 1 枚

  2 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

- 片面 4 枚→片面 1 枚

  4 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

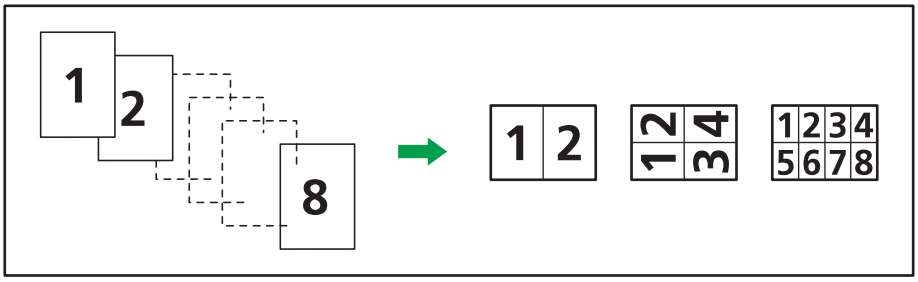
- 片面 8 枚→片面 1 枚

  8 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

原稿の方向と集約の画像位置

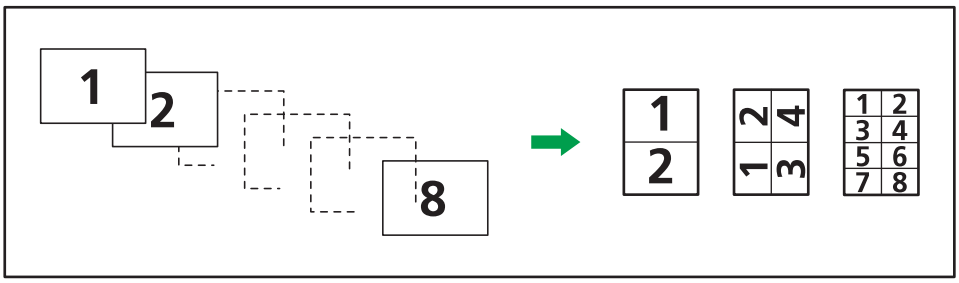
集約したときの画像位置は、原稿の方向と集約する枚数によって異なります。

- タテ長（）原稿のとき



CKN015

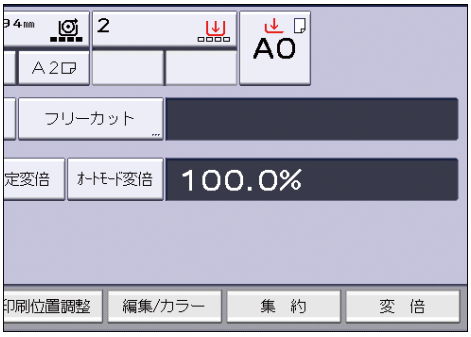
- ヨコ長（）原稿のとき



CKN016

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

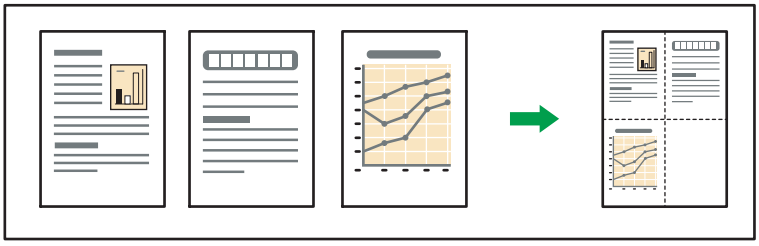
1. [集約] を押します。



2. 何枚の原稿をまとめるか選択します。
3. [原稿セット方向] を押します。
4. 原稿セット方向を選択します。
5. [OK] を 2 回押します。
6. 用紙を選択します。
7. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- 計算された縮小率が指定できる最小倍率以下のときは、最小倍率に補正されます。このとき画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約数より少ないときは、次のように空白でコピーされます。



CKN013

- 集約したときの画像の並び順を、［基本編集設定］の［集約時並び順］で変更できます。詳しくは、P.156「基本編集設定」を参照してください。
- 仕切り線の種類を、［基本編集設定］の［集約コピー仕切り線］で変更できます。詳しくは、P.156「基本編集設定」を参照してください。
- 原稿の周辺 3mm を消去して集約コピーできます。設定は［基本編集設定］の［集約コピー時枠消去］で変更します。詳しくは、P.156「基本編集設定」を参照してください。

ソート

1 セットずつページ順にそろえてコピーします。

使用できる機能は、使用している機器の構成によって異なります。詳しくは、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

2

重要

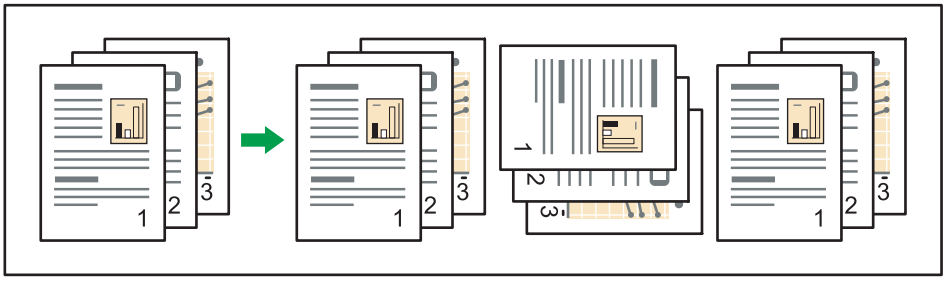
- **回転ソートをするには、サイズと種類が同じで方向（⊡⊡）の異なる用紙が給紙できる給紙部が 2 段必要です。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。**
- **手差しコピーは回転ソートできません。**

ソート

1 セットずつページ順にそろえてコピーします。

回転ソート

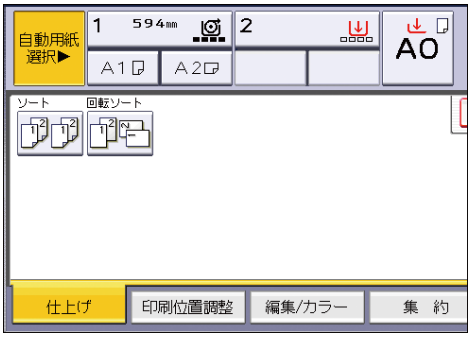
1 セットずつ異なる向き（⊡⊡）でコピーします。



本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [仕上げ] を押します。

2. [ソート] または [回転ソート] を選択し、[OK] を押します。



3. テンキーでコピーする部数を入力します。

4. 原稿をセットして読み込ませます。

仕上がり状態を確認するときは、[試しコピー] を押します。

最後の原稿を読み取り終えるまで、繰り返し原稿を読み込ませます。

すべての原稿の読み取りを終えたら [#] を押します。

補足

- ソート機能を使用したときは、最初の 1 部が 1 枚ずつコピーされます。コピーが排出されるタイミングは、印刷の設定により異なります。すべての原稿の読み取り終了後に [#] を押すと、残りの部数が印刷されます。
- 試しコピーをするには、あらかじめ [システム初期設定] の [原稿送り開始方法] を [スタートキー押下] に設定してください。[自動] に設定していると、試しコピーはできません。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。
- 回転ソートできる用紙サイズは次のとおりです。
  - A1*、A2、A3、B2*、B3
    * このサイズの用紙は RICOH MP CW2201 シリーズだけで回転ソートできます。
- ソート、回転ソートで読み取りが可能な原稿枚数は次のとおりです。

- 白黒時

  A0：100 枚以上

  A1：200 枚以上

- フルカラー時

  A0：50 枚以上

  A1：100 枚以上

- ［周辺設定］の［回転ソート：回転給紙継続設定］で、ソート時の動作の設定を変更できます。詳しくは、P.178「周辺設定」を参照してください。

試しコピー

最初の 1 部のコピーで仕上がりを確認します。

あらかじめ、［システム初期設定］の［原稿送り開始方法］を［スタートキー押下］に設定してください。［自動］に設定していると、試しコピーはできません。

重要

- **ソートを設定しているときだけ使用できる機能です。**

1. **ソートと使用する各機能を設定し、原稿をセットします。**
2. **テンキーでコピーする部数を入力します。**
3. **［試しコピー］を押します。**

   試しコピー 1 部が排出されます。

   すべての原稿の読み取りを終えたら[#]を押します。
4. **仕上がりを確認後、よければ［継続］を押します。**

   試しコピー 1 部を引いた部数がコピーされます。

補足

- 仕上がりを確認後、［中断］を押すとコピー機能を再設定できます。ただし、機能の組み合わせによっては再設定できないことがあります。

コピー部数を変更する

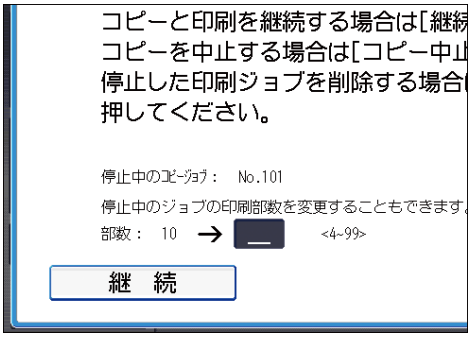
コピー中にコピー部数を変更します。

重要

- **ソートを設定しているときだけ使用できる機能です。**

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. 「コピー中です」と表示されている間に［ストップ］を押します。
2. テンキーでコピーする部数を入力します。



3. ［継続］を押します。

   コピーが再開されます。

補足

- 入力できるコピー部数の範囲は［ストップ］を押すタイミングにより異なります。

ドキュメントボックスに原稿を蓄積する

コピー機能で読み取った文書を本機のハードディスクに蓄積できます。

蓄積された文書は、ドキュメントボックス機能画面で確認できます。ドキュメントボックスの詳細については、P.122「文書を蓄積する」を参照してください。

重要

- **手差しコピーはできません。**

1. [文書蓄積] を押します。

2. 必要に応じてユーザー名、文書名、パスワードを設定します。

3. 必要に応じて文書を蓄積するフォルダーを設定します。

4. [OK] を押します。

5. 原稿をセットして、読み込ませます。

原稿が搬送され、コピーが始まります。同時に、読み込んだデータをハードディスクに蓄積します。次の文書を蓄積するときは、コピーが終了してから操作します。

補足

- 読み取りを中断するときは［ストップ］を押します。表示された確認画面で［継続］を押すと読み取りが再開され、［コピー中止］を押すと読み取り済みの画像が消去されます。［ジョブ一覧］を押すと、ジョブ一覧画面が表示されます。ジョブ一覧画面については、『便利な機能』「ジョブを管理する画面の種類」を参照してください。
- すべての原稿の読み取りを終えたら［#］を押します。
- 蓄積された文書を呼び出して印刷するときは、P.131「蓄積した文書を印刷する」を参照してください。
- ユーザー名、文書名、パスワードの設定のしかたは、P.125「蓄積した文書の文書情報を変更する」を参照してください。
- フォルダーの設定方法は、P.137「蓄積した文書をフォルダーで整理する」を参照してください。

3. カラーコピー機能

カラーでコピーする方法を説明します。

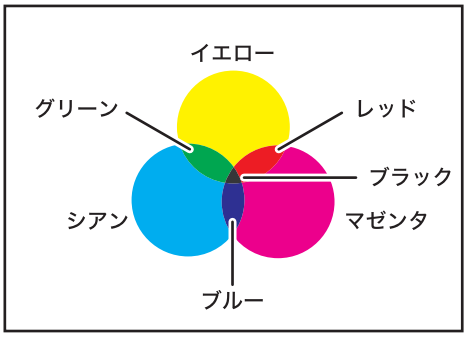
カラーでコピーする

原稿の種類や希望の仕上がり状態によって、コピーする色を選択します。

原稿の特定の色を消去または変換できます。

色の 3 原色

イエロー、マゼンタ、シアン（色の 3 原色）を組み合わせることで色を表現できます。イエロー、マゼンタ、シアンを重ねると「ブラック」になりますが、厳密には多少異なるため、ブラックのインクを使用して「ブラック」を表現しています。



CKJ003

補足

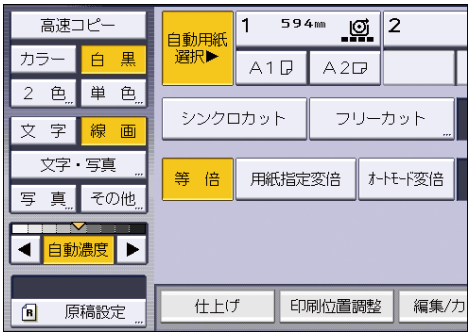
- 蛍光ペンの色は再現しにくいため、異なる色でコピーされることや、色によってはコピーされないことがあります。
- 使用するカラーモードや機能によってカウンターの進みかたが異なります。詳しくは、『保守/仕様』「カウンターの進みかた」を参照してください。

フルカラーでコピーする

イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの 4 色を重ねてフルカラーでコピーします。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [カラー] を押します。



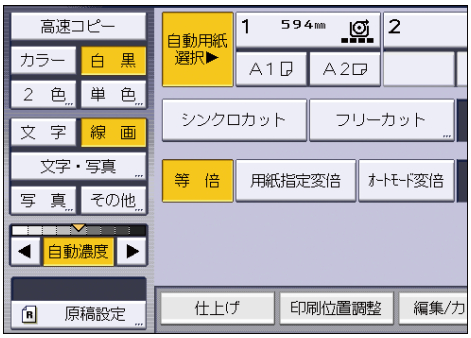
2. 原稿をセットして読み込ませます。

白黒でコピーする

原稿の色に関係なくブラック 1 色でコピーします。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

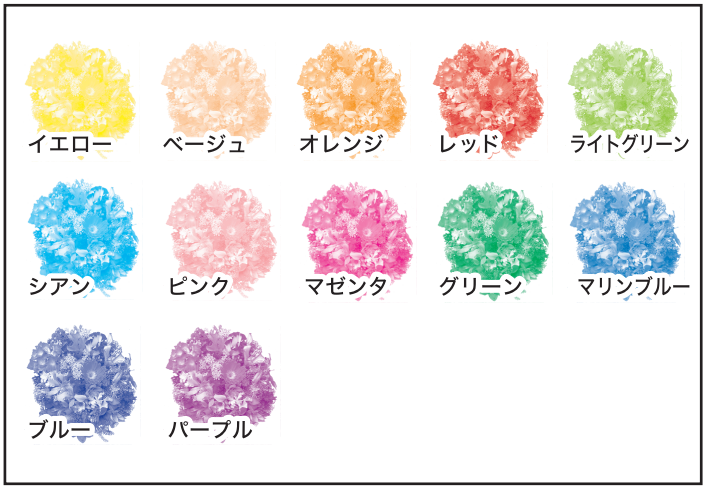
1. [白黒] が選択されていることを確認します。



2. 原稿をセットして読み込ませます。

指定した 1 色でコピーする

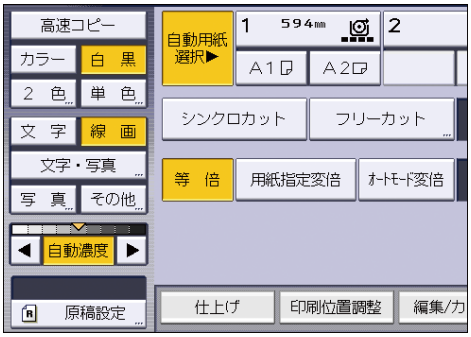
基本色から選択した色を使用してコピーします。



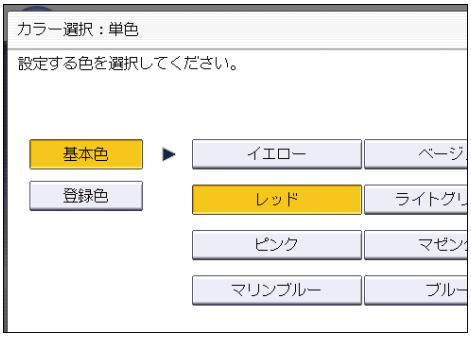
DKA003

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [単色] を押します。



2. 使用する色を選択します。



[うすく] または [こく] を押して、4 段階で濃度を調整できます。

登録色を選択するときは、[登録色] を押したあと、色を選択します。

3. [OK] を押します。

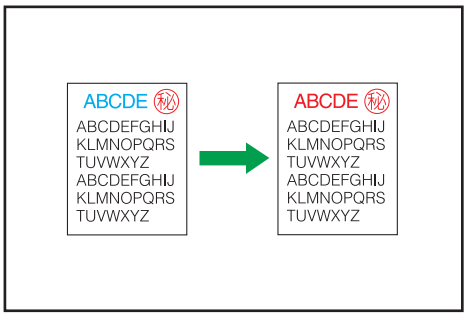
4. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- 同じ単色でもイエロー、マゼンタ、シアンは 1 色のインクでコピーされますが、ベージュ、オレンジ、レッド、ライトグリーン、ピンク、グリーン、マリンブルー、ブルー、パープルは 2 色のインクを使用してコピーされます。
- ほかのカラーモードに比べ、薄くコピーされます。
- 登録色はあらかじめ登録しておきます。登録については P.64「カラーを登録する」を参照してください。

指定した 2 色でコピーする

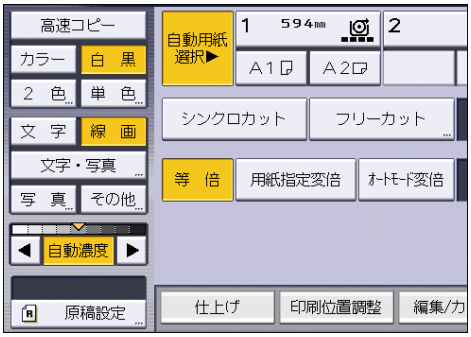
原稿の黒い部分とその他の部分を指定した 2 色でコピーします。



BZG003

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

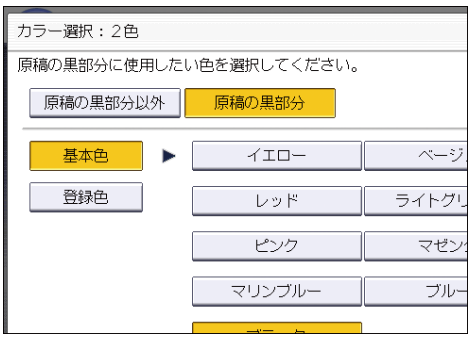
1. [2 色] を押します。



2. [2 色] を押します。

3. [カラー設定変更] を押します。

4. [原稿の黒部分] を押します。
5. 原稿の黒色を置き換える色を選択します。



登録色を選択するときは、[登録色] を押したあと、色を選択します。

6. [原稿の黒部分以外] を押します。
7. 原稿の黒以外の色を置き換える色を選択します。

登録色を選択するときは、[登録色] を押したあと、色を選択します。

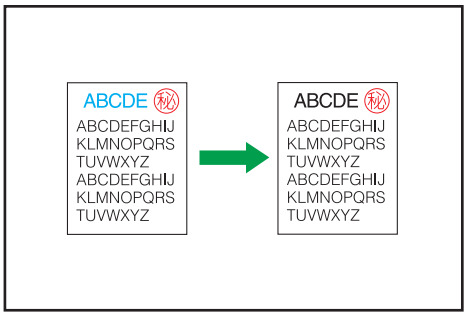
8. [OK] を 2 回押します。
9. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- 登録色はあらかじめ登録しておきます。登録については P.64「カラーを登録する」を参照してください。

赤と黒でコピーする

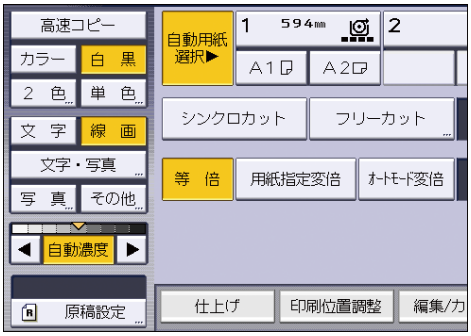
原稿の赤色部分を赤で、その他の部分を黒でコピーします。



BZG004

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [2 色] を押します。



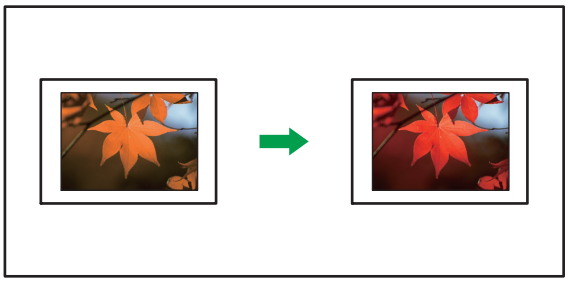
2. [2 色（黒・赤）] が選択されていることを確認します。
3. [OK] を押します。
4. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- 色の幅を 5 段階に調整できます。カラー幅で［ひろく］を選択すると、オレンジや紫に近い色までを赤と認識します。［カラー画質設定］の［カラー幅調整］で設定を変更できます。詳しくは、P.179「カラー画質設定」を参照してください。

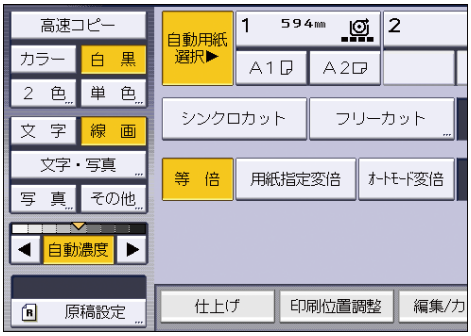
カラー変換

原稿内の特定の色を別の色に変換してコピーします。4 色まで色を変換できます。



CKN106

1. [カラー] を押します。



2. [編集/カラー] を押します。
3. [カラー] を押します。
4. [カラー変換] を押します。
5. [変換 1] から [変換 4] のいずれかを選択します。
6. 変換前の色を選択します。

7. 変換後の色を選択します。

   各色は 4 段階で濃度を調整できます。

   登録色を選択するときは、[登録色] を押したあと、色を選択します。

   2 色以上をカラー変換するときは、手順 5〜7 を繰り返します。

8. [OK] を 3 回押します。
9. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- 変換前の色の幅を 5 段階に調整できます。カラー幅で [ひろく] を選択すると、レッドを指定したときはマゼンタやオレンジに近い色まで変換します。[カラー画質設定] の [カラー幅調整] で設定を変更できます。詳しくは、P.179「カラー画質設定」を参照してください。

- 登録色はあらかじめ登録しておきます。登録については P.64「カラーを登録する」を参照してください。

指定色消去

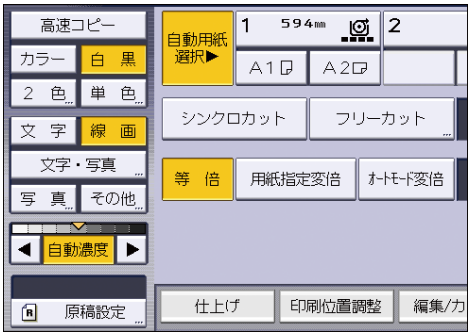
原稿内の特定の色を消してコピーします。

カラーモードで［カラー］または［単色］を選択したときに使用できます。

CKN107

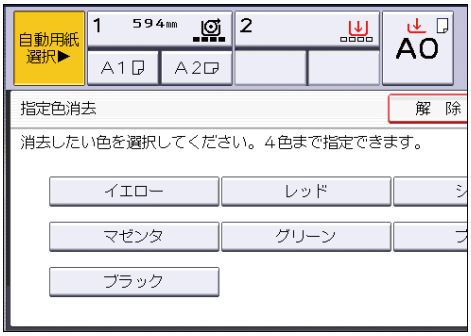
本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. カラーモードを選択します。



2. [編集/カラー] を押します。
3. [カラー] を押します。
4. [指定色消去] を押します。

5. 消去する色を選択します。



同時に 4 色まで選択できます。

6. [OK] を 2 回押します。

7. 原稿をセットして読み込ませます。

補足

- 選択を取りやめるときは、反転表示されているキーをもう一度押します。
- 消去する色の幅を 5 段階に調整できます。カラー幅で［ひろく］を選択すると、レッドを指定したときはマゼンタやオレンジに近い色まで消去します。[カラー画質設定]の［カラー幅調整］で設定を変更できます。詳しくは、P.179「カラー画質設定」を参照してください。

カラーを調整する

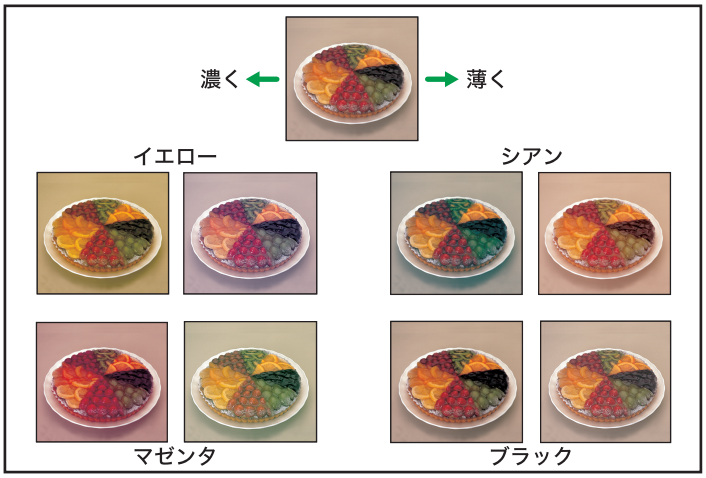
コピーの色合いや仕上がりを調整する方法を説明します。

補足

- 使用するカラーモードや機能によってカウンターの進みかたが異なります。詳しくは、『保守/仕様』「カウンターの進みかた」を参照してください。

カラーバランス

コピーが赤みがかっている、または青みがかっているときに、コピー全体の色合いを調整します。



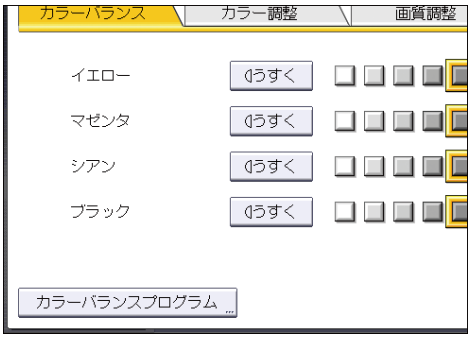
カラーバランスプログラム

カラーバランスで調整した内容を、カラーバランスプログラムとして登録し、コピーするときに呼び出して使用できます。詳しくは、P.59「カラーバランスを登録する」を参照してください。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [カラー] を押します。
3. [カラー調整] を押します。
4. [うすく] または [こく] を押して、バランスを調整します。



5. [OK] を 2 回押します。

補足

- カラーモードで [白黒] を選択しているときは、カラー調整の内容は無効です。
- オートクリアされたとき、[リセット] を押したとき、電源を切ったときは、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

カラーバランスを登録する

カラーバランスで調整した内容を登録します。

カラーバランスは、3 件まで登録できます。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。
2. [カラー] を押します。

3. [カラー調整] を押します。
4. カラーバランスを調整します。
5. [カラーバランスプログラム] を押します。
6. [登録] を押します。
7. 登録するプログラムの番号を選択します。
8. [OK] を 2 回押します。

補足

- 登録した内容を変更するときは登録し直してください。このとき、前に登録されていた内容は上書きされます。
- の表示されているプログラムの番号キーを選択すると、登録内容を上書きします。
- カラーバランスの調整方法は、P.58「カラーバランス」を参照してください。

カラーバランスを変更する

カラーバランスプログラムに登録した内容を変更します。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。
2. [カラー] を押します。
3. [カラー調整] を押します。
4. [カラーバランスプログラム] を押します。
5. 変更するプログラムの番号を選択します。
6. 登録されている内容を変更します。
7. [カラーバランスプログラム] を押します。
8. [登録] を押し、上書きするプログラム番号を押します。
9. [登録する] を押します。
10. [OK] を 2 回押します。

カラーバランスを呼び出す

カラーバランスプログラムに登録した内容を呼び出します。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。
2. [カラー] を押します。
3. [カラー調整] を押します。
4. [カラーバランスプログラム] を押します。
5. 使用するカラーバランスが登録されているプログラムの番号を選択します。
6. [OK] を 2 回押します。

補足

- コピー終了後、オートクリアされたとき、[リセット] を押したときなどは、呼び出された内容は取り消されます。

カラーバランスを消去する

カラーバランスプログラムに登録した内容を消去します。

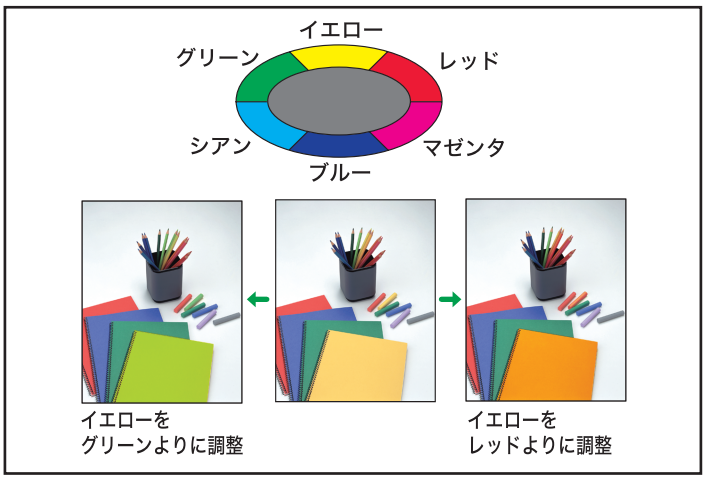
本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。
2. [カラー] を押します。
3. [カラー調整] を押します。
4. [カラーバランスプログラム] を押します。
5. [消去] を押し、消去するカラーバランスが登録されているプログラムの番号を選択します。
6. [消去する] を押します。
7. [OK] を 2 回押します。

カラー調整

特定の色（イエロー、レッド、マゼンタ、ブルー、シアン、グリーン）を、カラーサークルで隣り合う色に近づくように調整します。

3 色まで同時に調整できます。



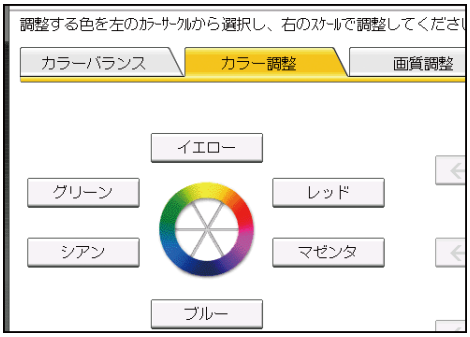
BZG007

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [カラー] を押します。
3. [カラー調整] を押します。
4. [カラー調整] を押します。

5. 調整する色を選択します。



6. [←] [→] で色味を調整します。

2 色以上を調整するときは、手順 5〜6 を繰り返します。

7. [OK] を 2 回押します。

補足

- カラーモードで［白黒］、［単色］、［2 色］を選択しているときは、カラー調整の内容は無効です。
- オートクリアされたとき、［リセット］を押したとき、電源を切ったときは、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

カラーを登録する

イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの濃度を調整して作った色を 15 色まで登録できます。

また、登録する色に名前を付けたり、登録色の一覧を印刷したりできます。

色の作成方法には次の 2 種類があります。

- ベース色をもとにして指定する
- 各色の濃度をテンキーで指定する

補足

- 登録色でコピーするときは、そのときの機械の状態によって微妙に色合いが異なります。
- 原稿の再現性をよくするため、入力した数値が機械内部で修正され、最適な数値でコピーされることがあります。このため、[文字] でコピーしたときと [写真] でコピーしたときでは多少色が異なることがあります。

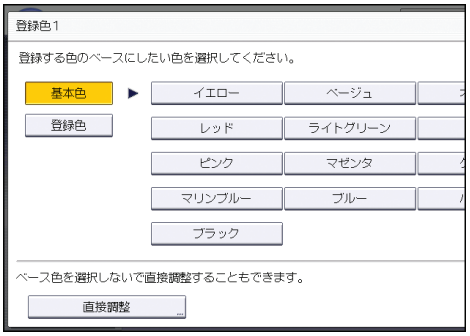
ベース色をもとにして指定する

選択したベース色の濃度をもとに、各色の濃度を調整して色を作ります。

1. [編集/カラー] を押します。

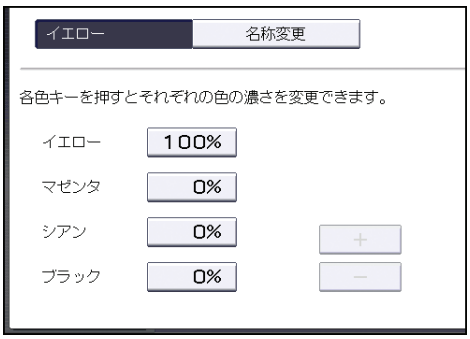
2. [カラー] を押します。
3. [カラー登録] を押します。
4. 登録する登録色の番号を選択します。

5. ベースにする色を選択します。



登録色を選択するときは、［登録色］を押したあと、色を選択します。

6. 濃度を指定する色を選択し、［+］［–］で濃度（%）を指定します。



［テンキーで調整］を押すと、テンキーを使用して濃度を指定できます。

7. ［OK］を 3 回押します。

補足

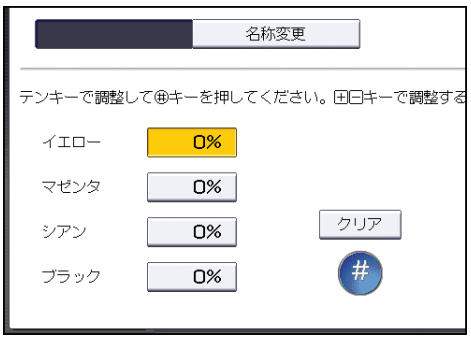
- すでに登録されている番号を選択すると、登録内容を上書きします。
- 登録色はあらかじめ登録しておきます。登録については P.64「カラーを登録する」を参照してください。

濃度をテンキーで指定する

各色の濃度をテンキーで直接指定して色を作ります。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [カラー] を押します。
3. [カラー登録] を押します。
4. 登録する登録色の番号を選択します。
5. [直接調整] を押します。
6. 濃度を指定する色を選択します。
7. テンキーで濃度（%）を入力し、[#] を押します。



複数の色の濃度を指定するときは、手順 6〜7 を繰り返します。

[[+] [–] キーで調整] を押すと、[+] [–] を使用して濃度を指定できます。

8. [OK] を 3 回押します。

補足

- すでに登録されている番号を選択すると、登録内容を上書きします。

登録した色の名前を変更する

1. [編集/カラー] を押します。

2. [カラー] を押します。
3. [カラー登録] を押します。
4. 名前を変更する登録色の番号を選択します。
5. 名前を変更する登録色を選択します。
6. [名称変更] を押します。
7. 色の名前を入力し、[OK] を押します。
   入力できる文字は全角 8 文字、半角 16 文字までです。
8. [OK] を 3 回押します。

登録した色を消去する

重要

- プログラム登録されている登録色や使用中の登録色は消去できません。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [カラー] を押します。
3. [カラー登録] を押します。
4. [消去] を押します。
5. 消去する登録色の番号を選択します。
6. [消去する] を押します。
7. [OK] を 2 回押します。

登録色の一覧を印刷する

1. [編集/カラー] を押します。

2. [カラー] を押します。
3. [カラー登録] を押します。
4. 用紙を確認し、[登録色一覧印刷] を押します。
5. [OK] を 2 回押します。

補足

- 297mm 幅以上の普通紙に印刷されます。
- 登録色の一覧を出力するとフルカラー用のカウンターが進みます。詳しくは、『保守/仕様』「カウンターの進みかた」を参照してください。

4. 便利なコピー機能

いろいろなコピー機能について説明します。

コピー濃度を調整する

コピー濃度調整には、次の 3 種類があります。

自動濃度

新聞や再生紙など地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにコピーします。

濃度調整

原稿全体の濃度を 9 段階で調整します。

組み合わせ濃度調整

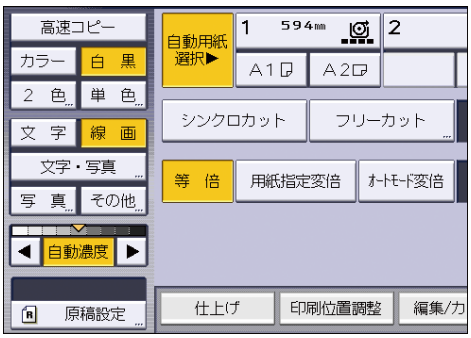
地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。

自動濃度を選択する

新聞や再生紙など地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにコピーします。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [自動濃度] が選択されていることを確認します。

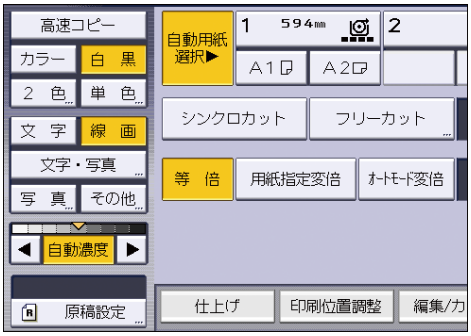


濃度を調整する

原稿全体の濃度を 9 段階で調整します。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [自動濃度] が選択されているときは [自動濃度] を押して、設定を取り消します。



2. [◂] [▸] を押して、濃度を調整します。

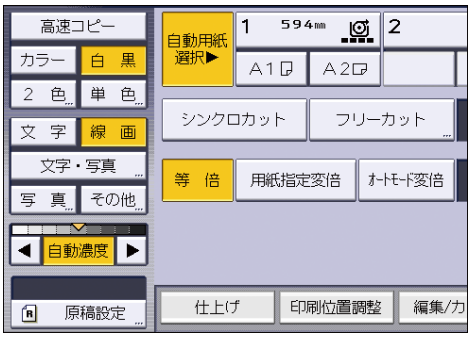
濃度表示（▽）が移動します。

組み合わせて濃度を調整する

地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [自動濃度] が選択されていることを確認します。



2. [◂] [▸] を押して、濃度を調整します。

濃度表示（▽）が移動します。

補足

- 地肌が濃い原稿を読み込ませたとき、コピーに地肌が出るときは、[◂] で濃度を薄くしてください。

画質を調整する

原稿の種類や希望の仕上がり状態によって、画像の状態を調整できます。

画質調整には次の 4 種類があります。

シャープ／ソフト

画像の輪郭を調整します。

コントラスト

画像の陰影を調整します。

地肌調整

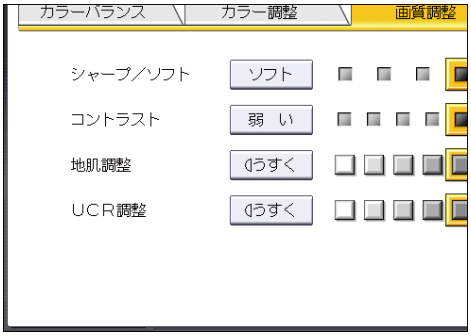
画像の地肌を調整します。

UCR 調整

画像の黒い部分を鮮明に表現するため、ブラックインクの量を調整します。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [カラー] を押します。
3. [カラー調整] を押します。
4. [画質調整] を押します。
5. 各機能を調整します。



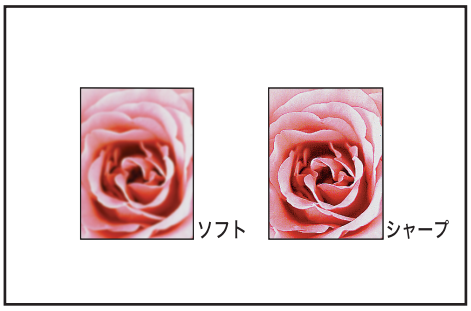
6. [OK] を 2 回押します。

補足

- 「シャープ／ソフト」「コントラスト」「地肌調整」はそれぞれに調整できますが、調整レベルや色合いなどによって、ほかの調整機能のレベルに影響することがあります。
- オートクリアされたとき、［リセット］を押したとき、電源を切ったときは、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

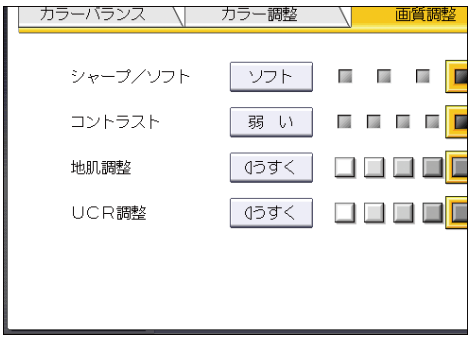
シャープ／ソフト

画像の輪郭を調整します。



BZG008

1. ［ソフト］または［シャープ］を押して調整します。

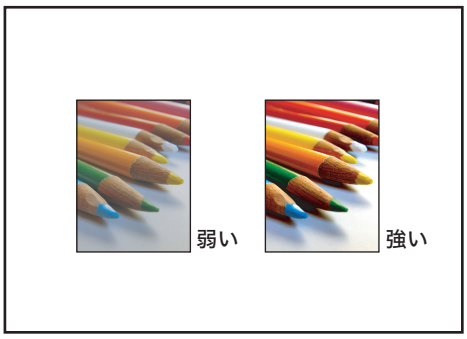


補足

- 画質を調整する手順については、P.71「画質を調整する」を参照してください。

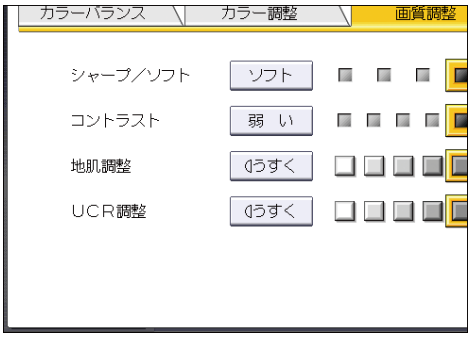
コントラスト

画像の陰影を調整します。



CKJ001

1. [弱い] または [強い] を押して調整します。

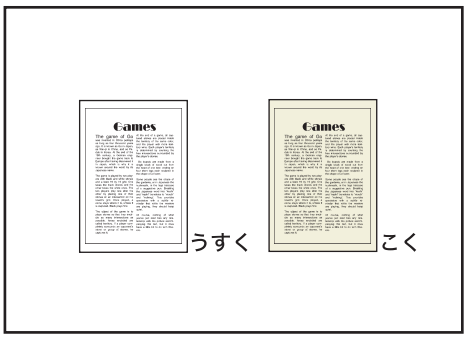


補足

- 画質を調整する手順については、P.71「画質を調整する」を参照してください。

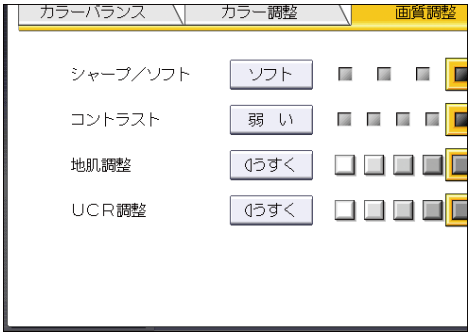
地肌調整

画像の地肌の濃度を調整します。



CKJ004

1. [うすく] または [こく] を押して調整します。



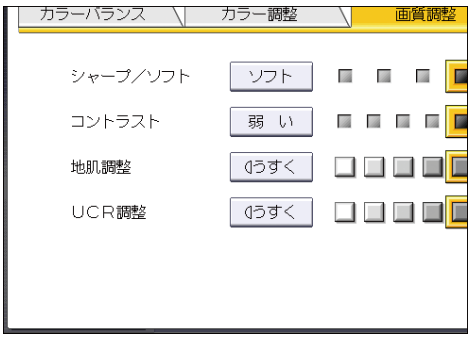
補足

- 次の原稿をコピーするときは、薄めに調整します。
  - 新聞紙や再生紙など地肌の濃い原稿
  - 切り張り原稿
  - 折り目の付いた原稿
  - しわの多い原稿
- 蛍光ペン、マーカーペンの色を濃くするときは濃く調整します。ただし、蛍光ペンの色は再現しにくいため、異なる色にコピーされることや、色によってはコピーされないことがあります。
- 画質を調整する手順については、P.71「画質を調整する」を参照してください。

UCR 調整

画像の黒い部分を鮮明に表現するため、ブラックインクの量を調整します。

1. [うすく] または [こく] を押して調整します。



補足

- カラーモードで [白黒]、[単色]、[2 色] を選択しているときは、UCR 調整の内容は無効です。

- 画質を調整する手順については、P.71「画質を調整する」を参照してください。

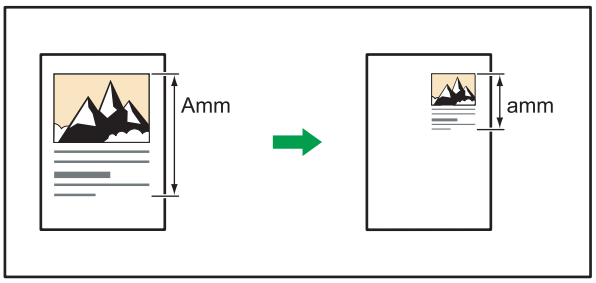
拡大・縮小コピーを活用する

原稿とコピーの画像の大きさを指定したり、タテとヨコで異なる倍率を指定して拡大・縮小コピーしたりできます。

基本的な拡大・縮小コピーについては、P.35「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。

寸法変倍

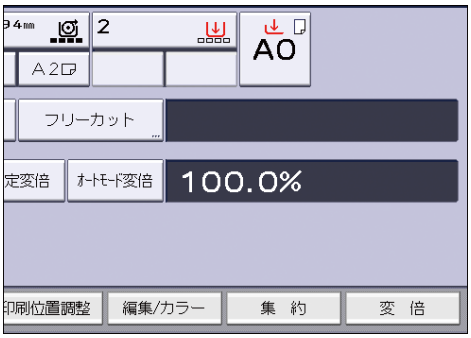
原稿とコピーの画像の長さを指定し、拡大または縮小してコピーします。



原稿の長さ（Amm）とコピーの長さ（amm）を指定します。倍率が自動的に決められ、計算する手間を省略できます。

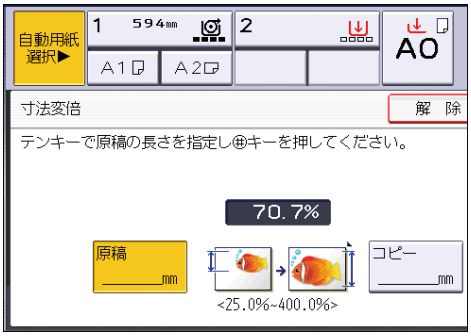
本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [変倍] を押します。



2. [寸法変倍] を押します。

3. テンキーで原稿の長さを入力し、[#] を押します。



4. テンキーでコピーの長さを入力し、[#] を押します。

5. [OK] を 2 回押します。

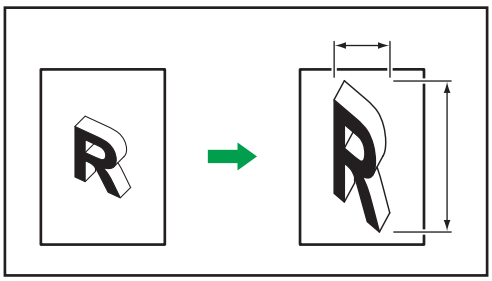
補足

- 入力できる長さは 1～9,999mm です。1mm 単位で入力できます。
- 倍率の範囲は 25.0～400.0%です。
- 計算された倍率が指定できる最小倍率以下または最大倍率以上のときはそれぞれ最小倍率または最大倍率に補正されます。このとき画像が欠けることや、余白ができることがあります。

独立変倍%

原稿のタテとヨコを、それぞれ異なる倍率でコピーします。

画像をタテ長またはヨコ長に変形できます。



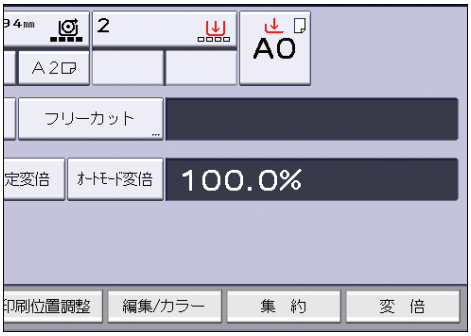
CKN025

↔：ヨコ

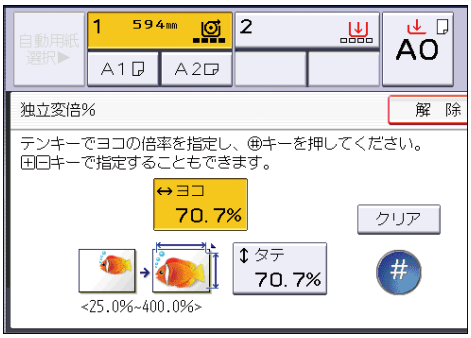
↕：タテ

倍率をテンキーで指定する方法と、[+] [–] で指定する方法があります。ここではテンキーで指定する方法を説明します。

1. [変倍] を押します。



2. [独立変倍%] を押します。
3. [ヨコ] を押します。
4. テンキーで倍率を入力し、[#] を押します。



5. [タテ] を押します。
6. テンキーで倍率を入力し、[#] を押します。
7. [OK] を 2 回押します。

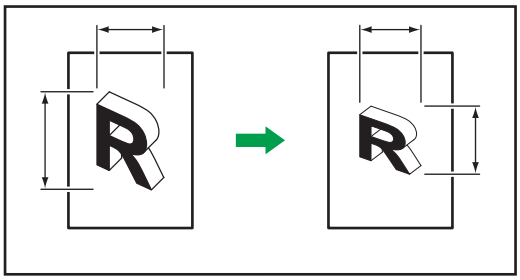
補足

- 倍率の範囲は 25.0～400.0%です。
- 独立変倍%と自動用紙選択は同時に使用できません。
- [+] [–] で指定するときは、[独立変倍%] を押したあと [[+] [–] キー] を押します。[タテ] または [ヨコ] を選択してから [+] または [–] を押すと、倍率が 0.1%ずつ変わります。押し続けると 1%ずつ変わります。
- 小数点は [./✱] で入力します。
- 原稿や用紙サイズ、ロール紙のカット方法に関係なく倍率を指定できますが、倍率によっては画像が欠けることや、余白ができることがあります。

独立変倍 mm

原稿のタテとヨコが、それぞれ指定した長さになるようにコピーします。

画像をタテ長またはヨコ長に変形できます。



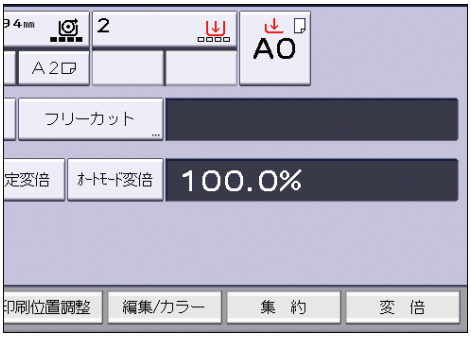
CKN026

↔：ヨコ

↕：タテ

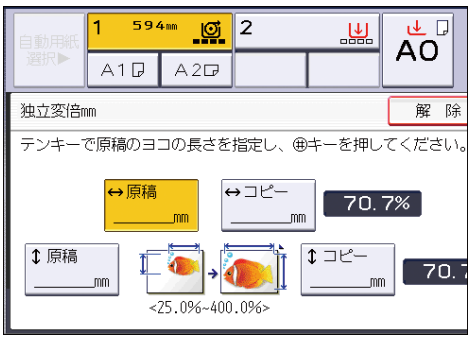
原稿のヨコとコピーのヨコの長さ、原稿のタテとコピーのタテの長さをそれぞれ指定します。

1. [変倍] を押します。



2. [独立変倍 mm] を押します。

3. テンキーで原稿のヨコの長さを入力し、[#] を押します。



4. テンキーでコピーのヨコの長さを入力し、[#] を押します。
5. テンキーで原稿のタテの長さを入力し、[#] を押します。
6. テンキーでコピーのタテの長さを入力し、[#] を押します。
7. [OK] を 2 回押します。

補足

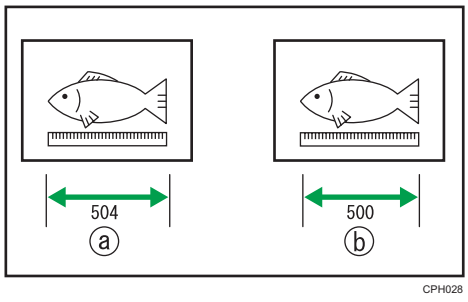
- 倍率の範囲は 25.0〜400.0%です。
- 独立変倍 mm と自動用紙選択は同時に使用できません。
- 入力できる長さは 1〜9,999mm（1mm 単位）です。
- 計算された倍率が指定できる最小倍率以下または最大倍率以上のときはそれぞれ最小倍率または最大倍率に補正されます。このとき画像が欠けることや、余白ができることがあります。

微調変倍

画像のタテとヨコの倍率を補正し、等倍精度の高いコピーをとります。

湿度の影響による用紙の伸縮など、原稿とコピーのサイズが合わないときに、コピーと原稿の画像のタテとヨコの長さをそれぞれ測り、補正する倍率を計算します。計算した補正倍率を設定して、等倍精度の高いコピーをとることができます。

補正倍率の求めかた



原稿のタテまたはヨコの長さを a、コピーのタテまたはヨコの長さを b とします。コピーの画像を原稿と同じ寸法にするときは、次の式で補正倍率（%）を計算します。

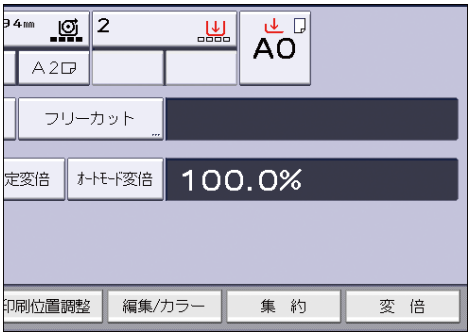
$^{a-b}/_{b} \times 100$ ＝補正倍率（%）

原稿画像のヨコの長さが 504mm で、補正前のコピー画像のヨコの長さが 500mm のときの計算式は、次のとおりです。

$^{(504-500)}/_{500} \times 100 = 0.8\%$

ヨコの補正倍率を＋ 0.8%に設定します。

1. [変倍] を押します。



2. [微調変倍] を押します。
3. 「ヨコ補正倍率」を [+] [–] で指定します。
4. 「タテ補正倍率」を [+] [–] で指定します。
5. [OK] を 2 回押します。

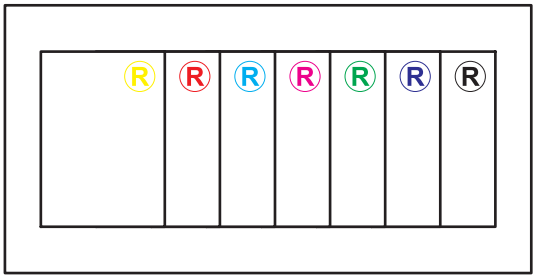
補足

- 微調変倍の設定は、読み取った原稿にだけ有効です。[システム初期設定] の [倍率補正：コピー] で、温度・湿度などの環境変化や用紙種類による紙の伸び縮みへの等倍率を補正することもできます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。
- システム初期設定とコピー画面の両方で設定したときは、補正倍率は両方の設定値を足した値となります。
- 手差しコピーを選択したときは、原稿を読み取ったあとに微調変倍を設定できます。
- 原稿の画像パターンによっては、モアレが目立つことや、画質が低下することがあります。

コピーに印字する

日付やページなどを付けてコピーします。

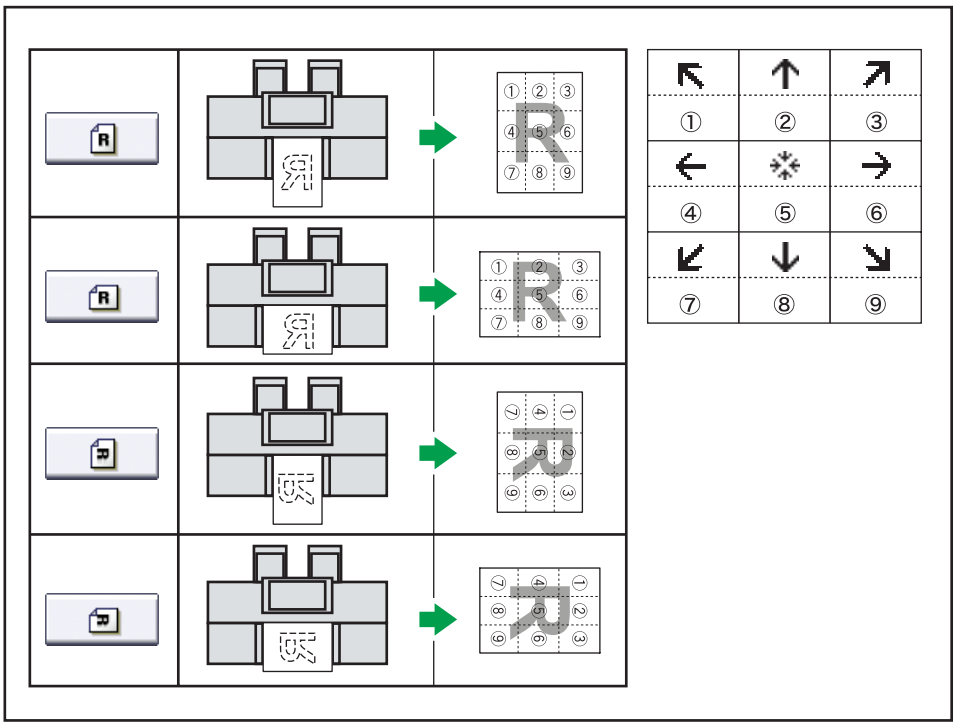
印字の色は、イエロー、レッド、シアン、マゼンタ、グリーン、ブルー、ブラックから選択できます。



CKN102

印字位置

日付やページを印字する位置を変更できます。印字する位置に対応したキーを選択します。



CPH017

表の矢印は画面のキーを、数字は印字する位置を表しています。

日付印字、ページ印字、文字印字では、4、5、6 の位置には印字できません。また、印字の種類によって工場出荷時の印字位置は異なります。詳しくは、P.161「印字編集設定」を参照してください。

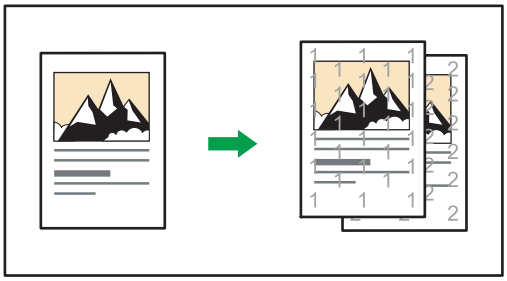
補足

- 原稿を読めない向きにセットするときは、原稿のセット方向を指定してください。詳しくは、P.10「原稿のセット方向を指定する」を参照してください。
- 使用するカラーモードや機能によってカウンターの進みかたが異なります。詳しくは、『保守/仕様』「カウンターの進みかた」を参照してください。

機密管理ナンバリング

原稿に数字の地紋を付けてコピーします。

ソートと組み合わせるとセットごとに同じ数字の地紋が付くため、文書を管理できます。



CKN027

重要

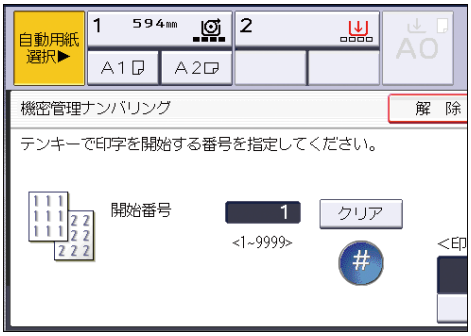
- **手差しコピーはできません。**

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [印字] を押します。

3. [機密管理ナンバリング] を押します。
4. テンキーで開始する番号を入力し、[#] を押します。



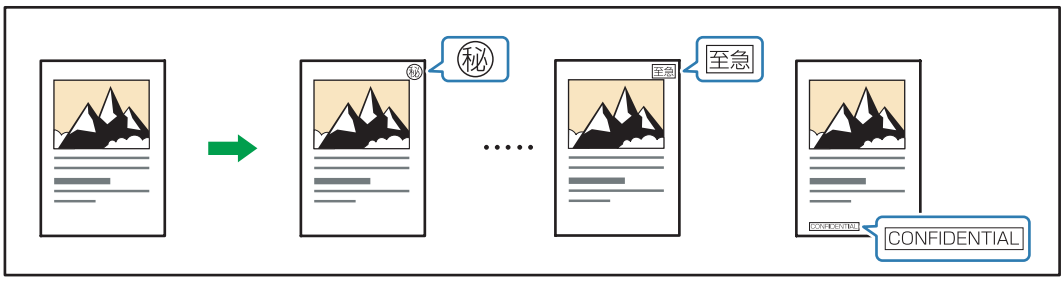
5. [印字色] を押します。
6. 印字する色を選択し、[OK] を押します。
7. [OK] を 2 回押します。

補足

- 原稿の画像と重なった部分に模様のような画像が現れることがあります。
- [印字編集設定] の [機密管理印字] で、印字サイズや濃度などを設定できます。詳しくは、P.161「機密管理印字」を参照してください。

スタンプ印字

あらかじめ登録されている「マル秘」などのスタンプを付けてコピーします。



CKN028

重要

- **手差しコピーはできません。**
- **スタンプは一度に 1 種類しか印字できません。**

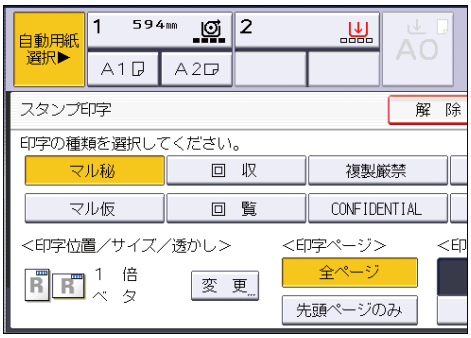
スタンプには次の 8 種類があります。

㊙ 回収 複製厳禁 至急
仮 回覧 CONFIDENTIAL DRAFT

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [印字] を押します。
3. [スタンプ印字] を押します。
4. 印字の種類を選択します。



5. [変更] を押します。

6. 印字する位置、サイズ、透かしの種類を選択し、[OK] を押します。

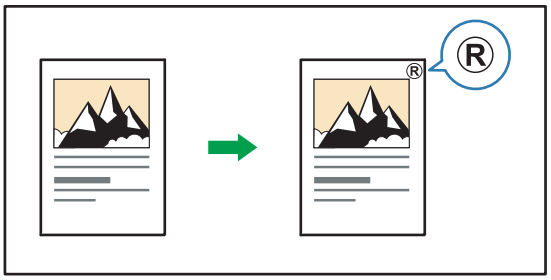
7. 印字するページを、[全ページ] または [先頭ページのみ] から選択します。
8. [印字色] を押します。
9. 印字する色を選択し、[OK] を押します。
10. [OK] を 2 回押します。

補足

- スタンプのサイズを変更したときは、用紙サイズによってはスタンプが正しく印字されないことがあります。
- 印字するスタンプの大きさや透かしの種類を変更できます。設定によっては、印字の濃さが変わることがあります。
- 印字位置を [左下]、[中央下]、[右下] に設定して回転コピーまたは回転ソートをすると、印字位置がずれることがあります。
- 印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。
- [印字編集設定] の [スタンプ印字] で、印字言語やスタンプの仕上がりなどを設定できます。詳しくは、P.162「スタンプ印字」を参照してください。

ユーザースタンプ印字

読み取った画像をスタンプとして付けてコピーします。



CKN029

頻繁に使用する文字やマークをユーザースタンプとして登録できます。ユーザースタンプの登録方法は、P.88「ユーザースタンプを登録する」を参照してください。

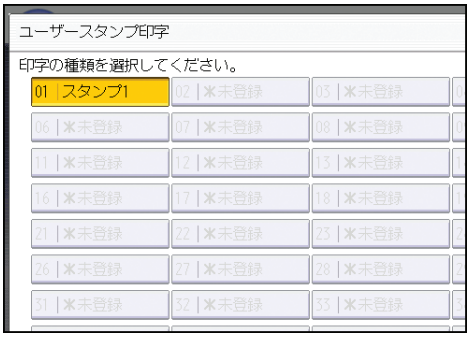
重要

- **手差しコピーはできません。**
- **スタンプは一度に 1 種類しか印字できません。**

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

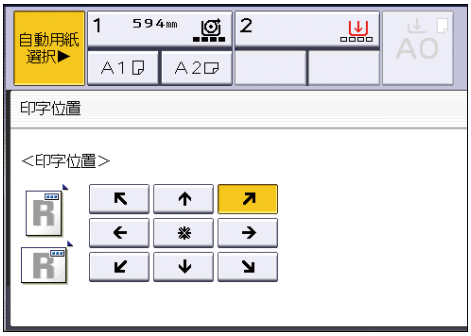
1. [編集/カラー] を押します。

2. [印字] を押します。
3. [ユーザースタンプ印字] を押します。
4. [ユーザースタンプ] を押します。
5. ユーザースタンプ印字の種類を選択します。



6. [OK] を押します。
7. [変更] を押します。

8. 印字する位置を選択し、[OK] を押します。



9. 印字するページを、[全ページ] または [先頭ページのみ] から選択します。
10. [印字色] を押します。
11. 印字する色を選択し、[OK] を押します。
12. [OK] を 2 回押します。

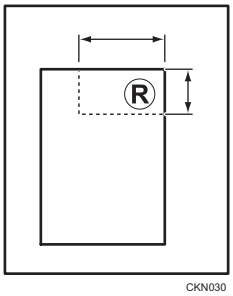
補足

- 1 枚目のコピーは、排出されるまで時間がかかることがあります。
- 印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。
- [印字編集設定] の [ユーザースタンプ] で、ユーザースタンプの登録や、スタンプの仕上がりを設定できます。詳しくは、P.166「ユーザースタンプ」を参照してください。

ユーザースタンプを登録する

ユーザースタンプとして使用する画像を登録します。

画像が読み取られる範囲はタテ 10～432mm、ヨコ 10～297mm です。ただし、タテ×ヨコの値が 5,000mm^2 を超えると自動的に補正されます。



↔：ヨコ

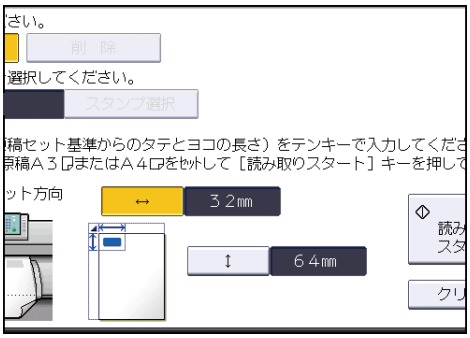
↕：タテ

ユーザースタンプは 40 種類まで登録できます。

重要

- フルカラーの原稿でも単色の画像として読み取られます。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［初期設定］アイコンを押します。
3. ［本体初期設定］を押します。
4. ［コピー／ドキュメントボックス初期設定］を押します。
5. ［印字編集設定］を押します。
6. ［ユーザースタンプ］を押します。
7. ［スタンプ登録/削除］を押します。
8. ［スタンプ選択］を押します。
9. 登録するスタンプ番号を押します。
10. スタンプの名称を全角 5 文字、半角 10 文字以内で入力し、［OK］を押します。
11. テンキーでスタンプのヨコの長さを入力し、［#］を押します。



12. テンキーでスタンプのタテの長さを入力し、［#］を押します。
13. 登録するスタンプの原稿をセットします。
14. ［読み取りスタート］を押します。

    原稿が搬送され、原稿の読み取りが開始されます。
15. 画面右上の［初期設定］（）を押します。
16. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。

補足

- すでに登録されているユーザースタンプ番号を押したときは、上書きの確認画面が表示されます。上書きするときは［書き替える］を、登録しないときは［中止］を押します。

- 書き替えたユーザースタンプは元に戻すことはできません。
- ⇨が表示されているユーザースタンプ番号は、すでにユーザースタンプが登録されています。登録されていないユーザースタンプ番号には「未登録」と表示されています。
- 朱または赤で押印した原稿は、きれいに読み取れないことがあります。登録には、モノクロ原稿を使用してください。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。

ユーザースタンプを削除する

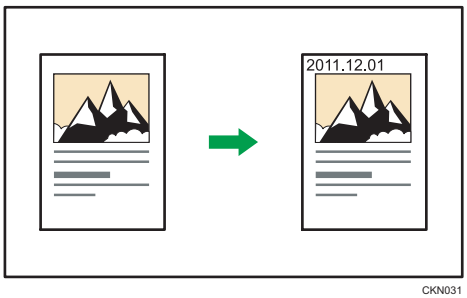
ユーザースタンプ用に登録した画像を削除します。

一度削除したスタンプは元に戻すことはできません。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［初期設定］アイコンを押します。
3. ［本体初期設定］を押します。
4. ［コピー／ドキュメントボックス初期設定］を押します。
5. ［印字編集設定］を押します。
6. ［ユーザースタンプ］を押します。
7. ［スタンプ登録/削除］を押します。
8. ［削除］を押し、［スタンプ選択］を押します。
9. 削除するスタンプ番号を押します。
10. ［削除する］を押します。
11. 画面右上の［初期設定］（）を押します。
12. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。

日付印字

日付を付けてコピーします。



重要

- **手差しコピーはできません。**

日付印字の書式

印字のパターンには次の 7 種類があります。

- MM/DD/YYYY
- MM.DD.YYYY
- DD/MM/YYYY
- DD.MM.YYYY
- YYYY.MM.DD
- DD.JUN.YYYY
- YYYY 年 MM 月 DD 日

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

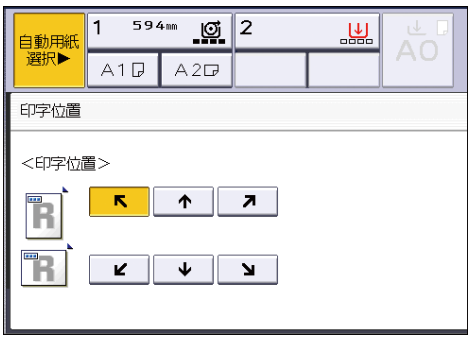
1. [編集/カラー] を押します。

2. [印字] を押します。
3. [日付印字] を押します。
4. [書式の変更] を押します。

5. 日付の書式を選択し、[OK] を押します。

6. [変更] を押します。

7. 印字する位置を選択し、[OK] を押します。



8. 印字するページを、[全ページ] または [先頭ページのみ] から選択します。

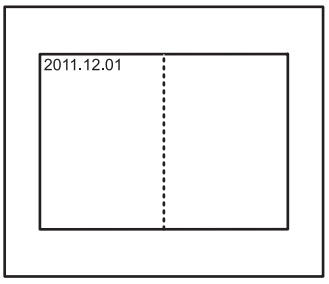
9. [印字色] を押します。

10. 印字する色を選択し、[OK] を押します。

11. [OK] を 2 回押します。

補足

- 集約と組み合わせたときは、次のように印字されます。

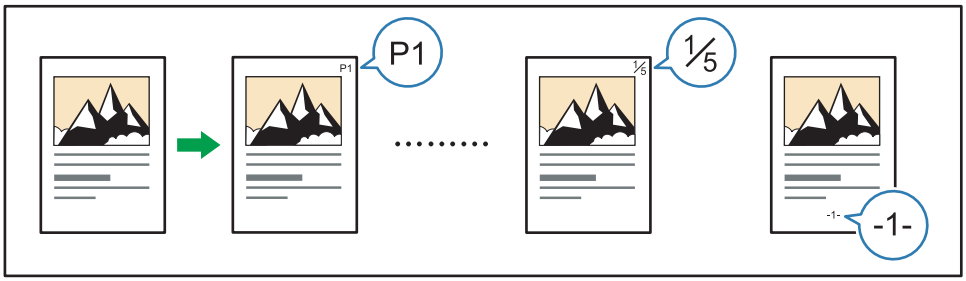


- 印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。

- ［印字編集設定］の［日付印字］で、日付のフォントやサイズなどを設定できます。詳しくは、P.169「日付印字」を参照してください。

ページ印字

ページを付けてコピーします。



CKN034

重要

- **手差しコピーはできません。**

ページ印字の書式

ページ印字のパターンには次の 7 種類があります。

- P1,P2…
- 1/5,2/5…
- -1-,-2-…
- P.1,P.2…
- 1,2…
- 1-1,1-2…
- 1 ページ,2 ページ…

ページ印字で設定する項目

ページ印字では、次の項目を設定します。選択したページ印字の書式によって入力する項目は異なります。

- 印字開始ページ

  原稿の何ページ目からページ番号を印字するか入力します。

- 印字開始数字

  印刷開始ページに印字するページ番号を入力します。

- 終了数字

  印字を終了する番号を入力します。7 ページまで印字し 8 ページ以降は印字しないときは、［終了数字］に「7」と入力します。通常は変更する必要はありません。

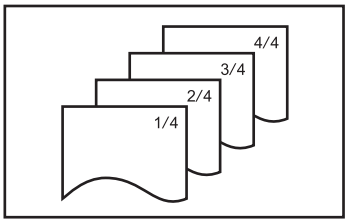
- 総ページ数

  総ページ数を入力します。ページ付けの種類で［1/5,2/5…］を選択したときに設定します。

- 印字開始章番号

  印字を開始する章番号を入力します。ページ付けの種類で［1-1,1-2…］を選択したときに設定します。

たとえば、ページ付けの種類で［1/5,2/5…］を選び、［印字開始数字］に「1」、［総ページ数］に「4」を設定すると、1/4、2/4、3/4、4/4 の順に印字されます。

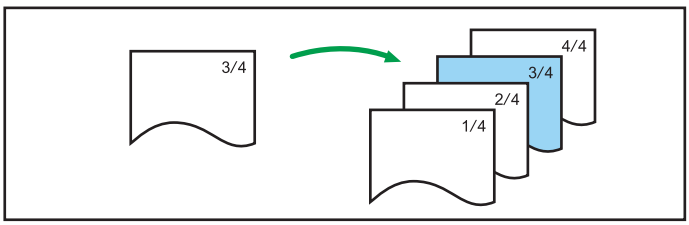


CJF007

次のようなときは、例を参考にそれぞれの数値を指定してください。

ナンバリング済みの文書の途中の 1 ページだけを差し替える

［印字開始数字］に「3」、［総ページ数］に「4」を入力してコピーします。

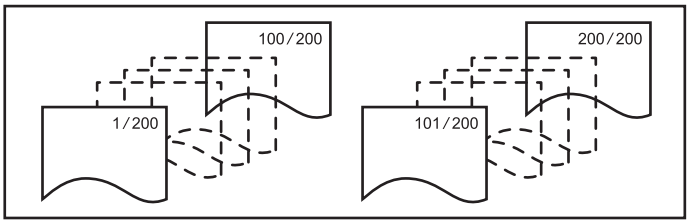


CJF008

200 枚を 100 枚ずつ分けてコピーする

200 枚の原稿を 100 枚ずつコピーするとき、［1/5,2/5…］の書式に設定して一続きのページ数を印字するには、次のように設定します。

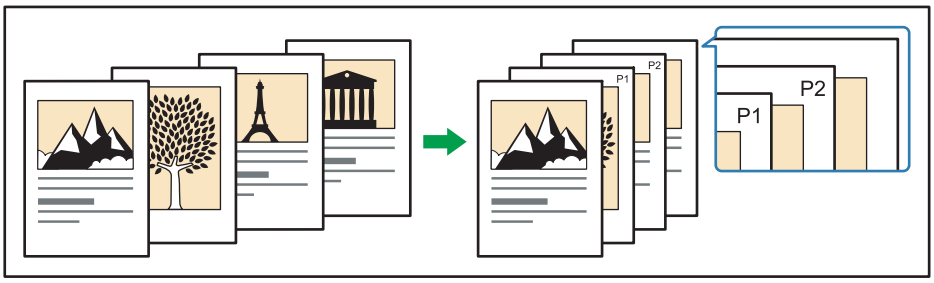
1. ［総ページ数］に「200」を入力し、1～100 枚目をセットしてコピーします。
2. ［印字開始数字］に「101」、［総ページ数］に「200」を入力し、101～200 枚目をセットしてコピーします。



CJF009

最初と最後のページを除いてナンバリングする（2 ページ目を 1 にする）

最初と最後のページに印字しないときは、[印字開始ページ]を「2」、[印字開始数字]を「1」に設定し、[終了数字]を原稿のページ数より 2 小さく設定してコピーします。



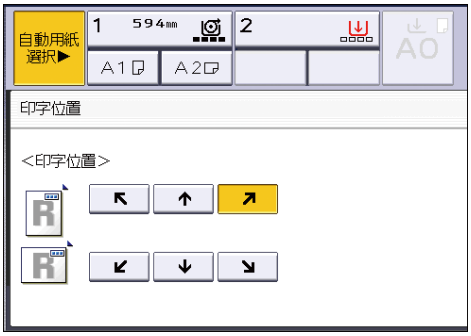
本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー]を押します。

2. [印字]を押します。
3. [ページ印字]を押します。
4. ページ付けの種類を選択します。

5. <印字位置>の［変更］を押します。

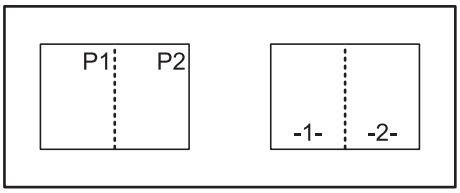
6. 印字する位置を選択し、[OK] を押します。



7. <ページ指定>の [変更] を押します。
8. 必要に応じて表示されている項目を設定し、[OK] を押します。
9. [印字色] を押します。
10. 印字する色を選択し、[OK] を押します。
11. [OK] を 2 回押します。

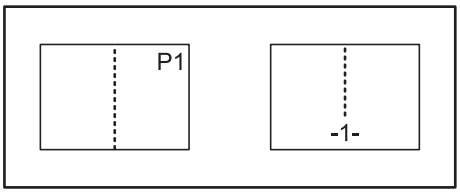
補足

- 集約と組み合わせたときは、次のように印字されます。
  - 原稿ごとに印字するとき



CKN035

  - 印刷ページごとに印字するとき

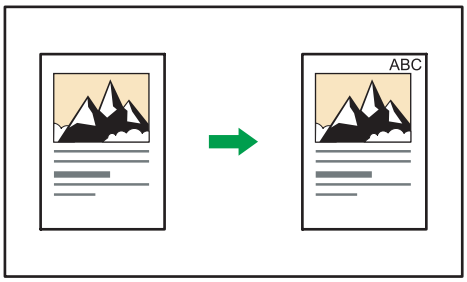


CKN037

- 印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。
- [印字編集設定] の [ページ印字] で、ページのフォントやサイズなどを設定できます。詳しくは、P.172「ページ印字」を参照してください。

文字印字

任意で入力した文字を印字できます。



CKN077

重要

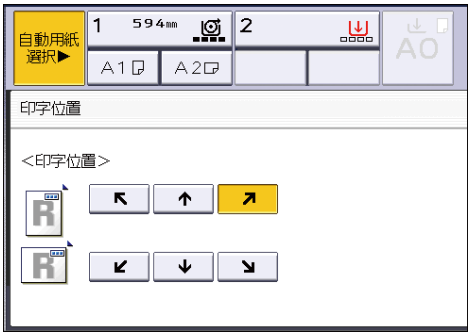
- **手差しコピーはできません。**

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [印字] を押します。
3. [文字印字] を押します。
4. [印字文字変更] を押します。
5. 印字文字を入力し、[OK] を押します。
6. [変更] を押します。

7. 印字する位置を選択し、[OK] を押します。

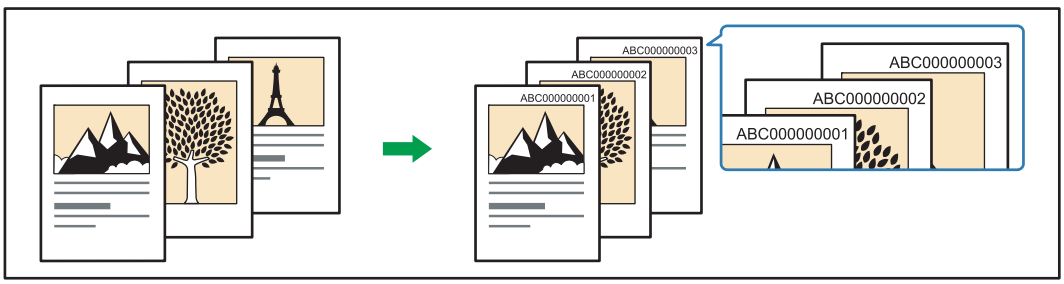


8. 印字するページを、[全ページ] または [先頭ページのみ] から選択します。
9. [印字色] を押します。
10. 印字する色を選択し、[OK] を押します。
11. [OK] を 2 回押します。

補足

- 半角英数で 64 文字まで入力できます。
- オートクリアされたとき、[リセット] を押したとき、電源を切ったときは、入力した文字は消去されます。入力した文字を保存するときはプログラム登録してください。プログラムについては、『便利な機能』「よく使用する設定を登録する」を参照してください。
- 印字する位置によっては、文字が入りきらないことがあります。
- 印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。
- [印字編集設定] の [文字印字] で、文字のフォントやサイズなどを設定できます。詳しくは、P.175「文字印字」を参照してください。

文字と連続した番号を印字する



CKN091

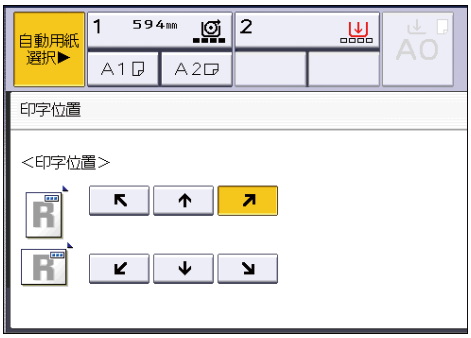
重要

- **手差しコピーはできません。**

あらかじめ、［文字印字］の［ジョブ通番印字の開始番号変更］を［する］に設定してください。詳しくは、P.175「文字印字」を参照してください。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. ［編集/カラー］を押します。
2. ［印字］を押します。
3. ［文字印字］を押します。
4. ［印字文字変更］を押します。
5. 印字文字を入力し、［OK］を押します。
6. ［開始番号変更］を押します。
7. 開始番号を入力し、[#]を押します。
8. ［OK］を押します。
9. ［変更］を押します。
10. 印字する位置を選択し、［OK］を押します。



11. ［印字色］を押します。
12. 印字する色を選択し、［OK］を押します。
13. ［OK］を 2 回押します。

補足

- 任意の文字列を 55 文字、連続した数字を 9 桁、合わせて半角英数を 64 文字まで入力できます。
- 数字は 9 桁で表示されます。「1」と入力したときは、「000000001」と印字されます。

- オートクリアされたとき、［リセット］を押したとき、電源を切ったときは、入力した文字は消去されますが、番号は最後に印字した番号の続きから表示されます。
- 予約コピーまたは蓄積した文書の印刷はできません。
- 集約機能と組み合わせたときは、［ページ印字］の［集約時ページ印字設定］の設定によって印刷結果が異なります。詳しくは、P.93「ページ印字」を参照してください。
- 文字印字については、P.97「文字印字」を参照してください。

いろいろなコピー機能

いろいろなコピー機能について説明します。

余白

シンクロカットを選択したときに、用紙の先端または後端に余白を作ってコピーします。

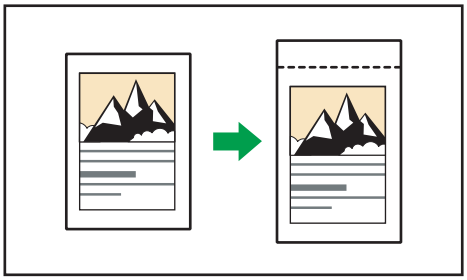
重要

- **手差しコピーはできません。**

この機能では、次の種類の余白が選択できます。

- 上余白

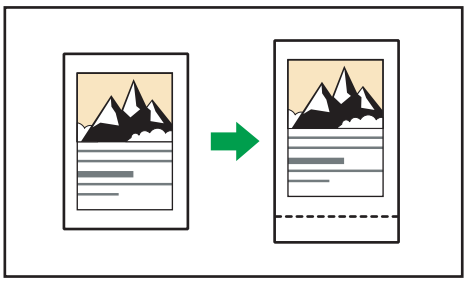
  用紙の先端に余白を作ります。



CPH018

- 下余白

  用紙の後端に余白を作ります。



CPH029

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [余白] を押します。
3. [上余白] を押します。
4. [+] [–] で余白の長さを設定します。
5. [下余白] を押します。
6. [+] [–] で余白の長さを設定し、[OK] を押します。

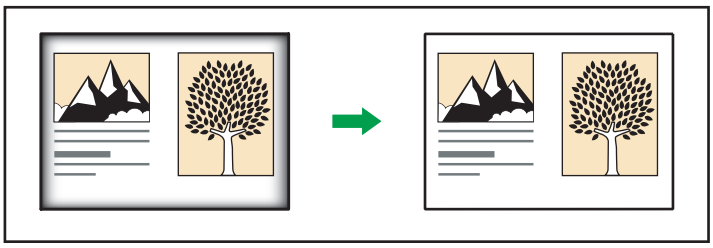
   自動的に［シンクロカット］が選択されます。

補足

- [+] または [–] を押すと 1mm ずつ幅が変わります。押し続けると 10mm ずつ変わります。
- 余白は、0～200mm の範囲（1mm 単位）で指定します。
- 上余白と下余白を組み合わせて指定することもできます。
- コピーの長さは、シンクロカットで自動的に設定された長さに余白を加えた長さになります。
- 設定した余白幅が大きすぎると、画像が欠けてコピーされることがあります。
- [基本編集設定] で、余白の設定を変更できます。詳しくは、P.156「基本編集設定」を参照してください。

枠消去

原稿周囲の影を消してコピーします。



CPH019

重要

- **手差しコピーはできません。**

枠消去には 2 種類の設定方法があります。

同一幅

上下左右の枠を同じ幅で消去します。

個別に設定

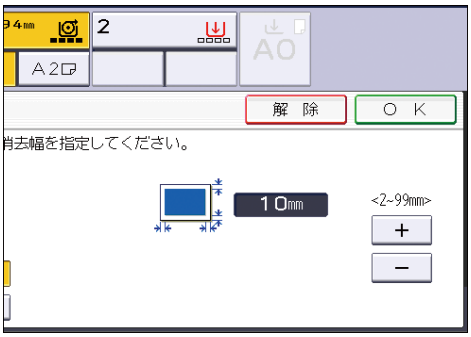
上下左右の枠を異なる幅で消去します。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

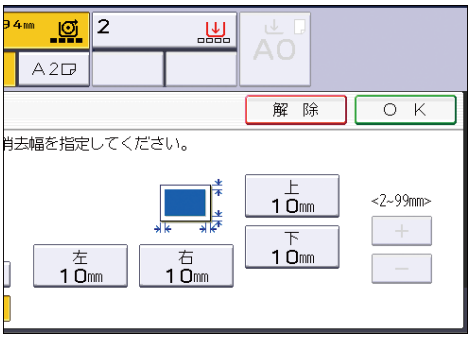
1. **[編集/カラー] を押します。**

2. **[消去] を押します。**
3. **[枠消去] を押します。**
4. **[同一幅] または [個別に設定] を選択します。**
5. **[+] [–] で枠の消去幅を設定します。**

[同一幅] を選択したとき



［個別に設定］を選択したとき



変更する部分のキーを押してから数値を設定します。

6. ［OK］を 2 回押します。

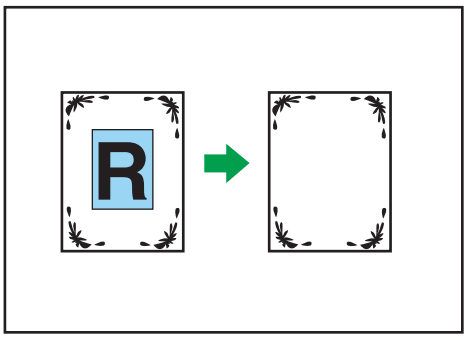
補足

- ［+］または［–］を押すと 1mm ずつ幅が変わります。押し続けると 10mm ずつ変わります。
- 消去幅を 2〜99mm の範囲で変更できます。
- 変倍率によって消去幅は変わります。
- 枠消去とその他の機能を組み合わせたときの読み取りサイズの制限については、P. 181「機能別読み取りサイズ一覧」を参照してください。
- ［基本編集設定］の［枠消去幅設定］で、設定を変更できます。詳しくは、P.156「基本編集設定」を参照してください。

内消去

指定した範囲の内側を消してコピーします。

消去するエリアは、原稿を基準に指定します。

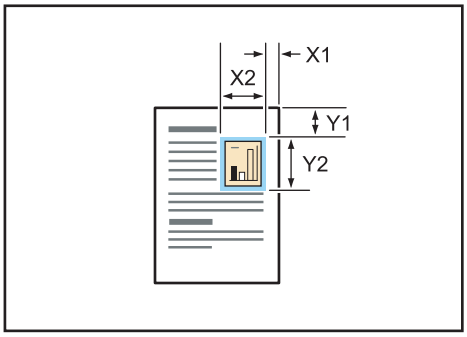


CNP025

重要

- **手差しコピーはできません。**

エリアは原稿の右上を基準とする 2 点を示す 2 組の座標（X1、Y1）、（X2、Y2）で表します。エリアを入力する前に、指定するエリアのサイズを測っておきます。



CNP024

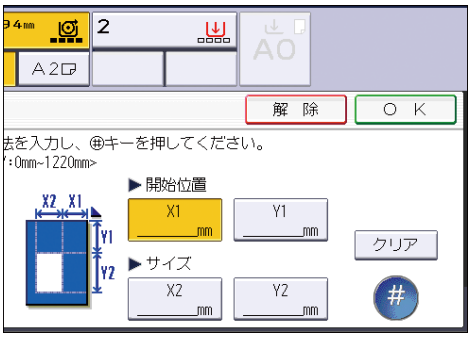
本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. **指定する範囲の基点の位置（X1、Y1）と、サイズ（X2、Y2）を設定します。**

   X：0～1,220mm、Y：0～1,220mm の範囲で設定できます。

2. **[編集/カラー] を押します。**

3. [消去] を押します。
4. [内消去 1] ～ [内消去 5] を選択します。
5. テンキーで [X1] の長さを入力し、[#] を押します。



6. テンキーで [Y1] の長さを入力し、[#] を押します。
7. テンキーで [X2] の長さを入力し、[#] を押します。
8. テンキーで [Y2] の長さを入力し、[#] を押します。
9. [OK] を押します。

   2 カ所以上消去するときは、手順 4～9 の操作を繰り返します。
10. [OK] を押します。

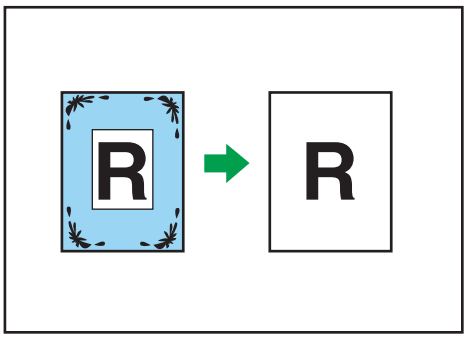
補足

- 変倍機能を組み合わせてコピーするときは、指定した値に変倍率をかけた値が、実際の長さとなります。
- [内消去 1] ～ [内消去 5] を組み合わせて、同時に 5 カ所消去できます。

外消去

指定した範囲の外側を消してコピーします。

消去するエリアは、原稿を基準に指定します。

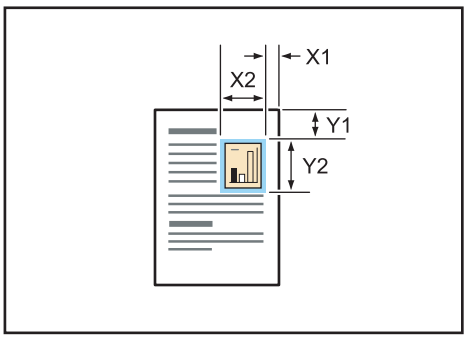


CNP026

重要

- **手差しコピーはできません。**

消去しないエリアは原稿の右上を基準とする 2 点を示す 2 組の座標（X1、Y1）、（X2、Y2）で表します。エリアを入力する前に、指定するエリアのサイズを測っておきます。



CNP024

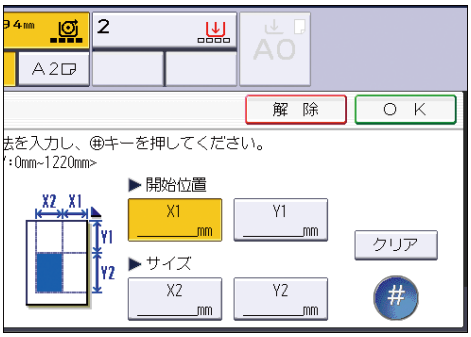
本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. **指定する範囲の基点の位置（X1、Y1）と、サイズ（X2、Y2）を設定します。**

   X：0～1,220mm、Y：0～1,220mm の範囲で設定できます。

2. **[編集/カラー] を押します。**

3. [消去] を押します。
4. [外消去] を押します。
5. テンキーで [X1] の長さを入力し、[#] を押します。



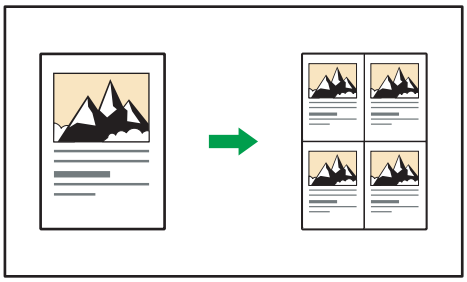
6. テンキーで [Y1] の長さを入力し、[#] を押します。
7. テンキーで [X2] の長さを入力し、[#] を押します。
8. テンキーで [Y2] の長さを入力し、[#] を押します。
9. [OK] を 2 回押します。

補足

- 変倍機能を組み合わせてコピーするときは、指定した値に変倍率をかけた値が、実際の長さとなります。

リピート

画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーします。



CKN042

重要

- **手差しコピーはできません。**

リピートする画像の指定方法は、次の 2 種類があります。

原稿全体リピート

画像全体を繰り返しコピーします。

範囲指定リピート

指定した領域の画像を繰り返しコピーします。

補足

- 用紙サイズ、変倍率、用紙の方向によって、リピートした画像が欠けることがあります。
- リピートと印刷位置調整を組み合わせると、リピートした画像全体を移動します。
- 仕切り線の種類を［基本編集設定］の［リピート仕切り線］で変更できます。詳しくは、P.156「基本編集設定」を参照してください。

原稿全体リピート

画像全体を繰り返しコピーします。

1 枚の用紙にリピートできる個数は、原稿サイズ、用紙サイズ、変倍率によって自動的に決まります。たとえば、A4 の原稿と A1 の用紙を等倍で組み合わせたときのリピート数は 8 です。

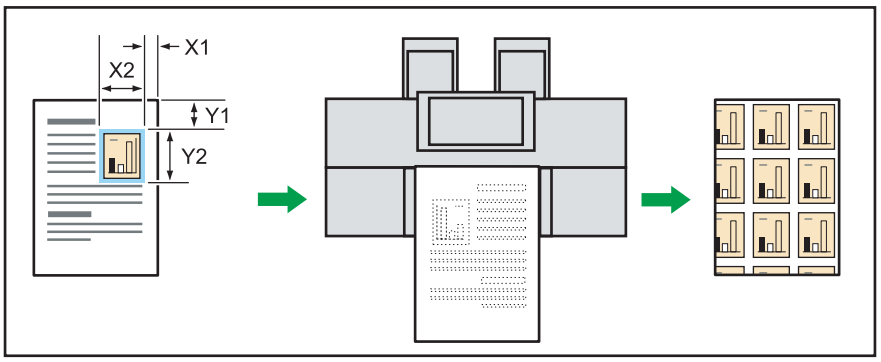
1. **［編集/カラー］を押します。**

2. **［画像編集］を押します。**
3. **［リピート］を押します。**
4. **［原稿全体］が選択されていることを確認し、［OK］を押します。**
5. **［OK］を押します。**
6. **変倍率と用紙を選択します。**

範囲指定リピート

指定した領域の画像を繰り返しコピーします。

まず領域の基点を決め、次に長さと幅を指定して領域の位置を決めます。

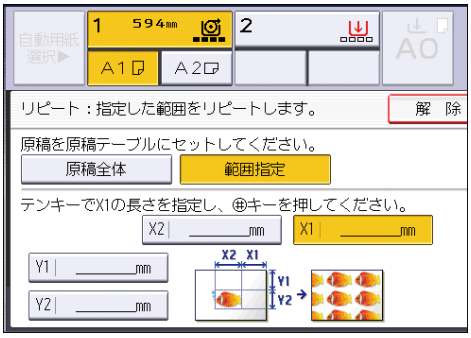


X1：0～1,199mm、X2：20～1,219mm、Y1：0～894mm、Y2：20～914mm の範囲で測ります。

4

1. 原稿の繰り返しコピーする領域の基点の位置（X1、Y1）と、領域の長さと幅（X2、Y2）を測ります。
2. [編集/カラー] を押します。

3. [画像編集] を押します。
4. [リピート] を押します。
5. [範囲指定] を押します。
6. テンキーで「X1」の長さを入力し、[#] を押します。



7. テンキーで「Y1」の長さを入力し、[#] を押します。
8. テンキーで「X2」の長さを入力し、[#] を押します。
9. テンキーで「Y2」の長さを入力し、[#] を押します。
10. [OK] を 2 回押します。
11. 変倍率と用紙を選択します。

ダブルコピー

1 枚の原稿を用紙の上下または左右に 2 つコピーします。

CKN044

重要

- 手差しコピーはできません。

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [画像編集] を押します。
3. [ダブルコピー] を押します。
4. [OK] を押します。

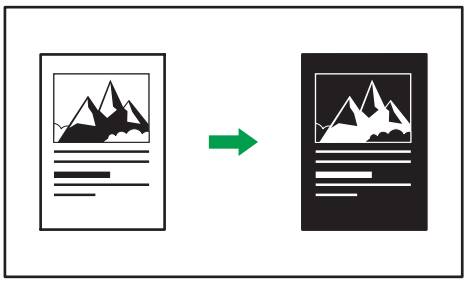
5. 用紙を選択します。

補足

- ダブルコピーを行うとき、用紙の幅または長さは原稿の 2 倍必要です（等倍のとき）。変倍をするときは、変倍率を考慮して用紙のサイズを選択してください。
- 仕切り線の種類を［基本編集設定］の［ダブルコピー仕切り線］で変更できます。詳しくは、P.156「基本編集設定」を参照してください。

反転

画像の白黒を反転してコピーします。白黒原稿は白と黒を反転、カラー原稿はそれぞれの色の濃度、明暗ともに逆になった補色でコピーします。



CKN046

単色コピーのときは、白と指定色でコピーされます。

2 色コピー（通常）のときは、原稿の白い部分は［原稿の黒部分］で指定した色に、黒い部分は白に反転し、カラーの部分は［原稿の黒部分以外］で指定した色でコピーされます。

2 色コピー（黒・赤）のときは、原稿の白い部分が黒に、黒い部分と赤い部分が白に、また、青い部分は赤に反転してコピーされます。

1. ［編集/カラー］を押します。

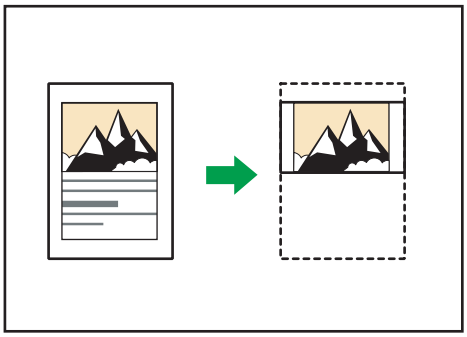
2. ［画像編集］を押します。

3. ［反転］を押します。

4. [OK] を押します。

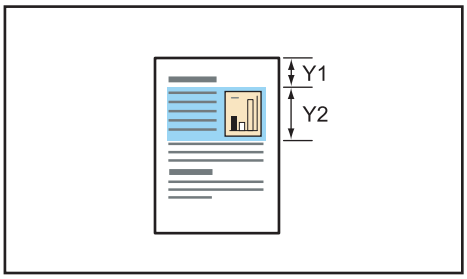
部分コピー

原稿の指定した部分だけをコピーします。



CPH021

コピーする部分は原稿の先端を基準とする長さ（Y1、Y2）で表します。入力する前に、指定する部分の長さを測っておきます。



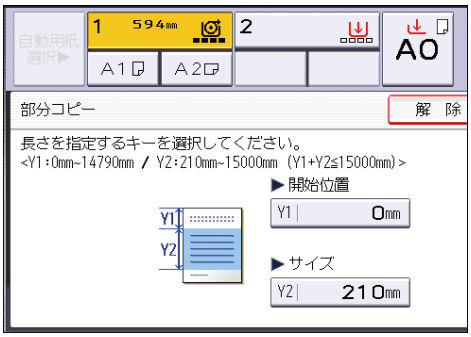
CPH032

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [編集/カラー] を押します。

2. [画像編集] を押します。

3. [部分コピー] を押します。
4. [Y1] を押し、読み取り開始位置（原稿の先端からの距離）をテンキーで入力します。



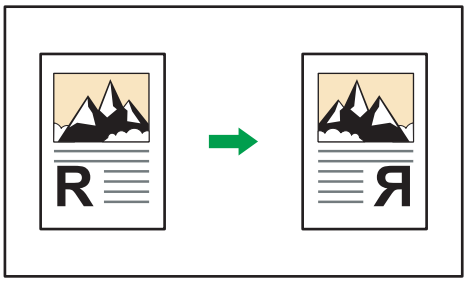
5. [#] を押します。
6. [Y2] を押し、コピーする長さをテンキーで入力します。
7. [#] を押します。
8. [OK] を 2 回押します。

補足

- Y2 に入力できる最小値は 210mm です。Y2 には実際にコピーしたい長さを設定してください。
- コピーサイズ（Y1+Y2）の最大値は 15,000mm です。
- Y1+Y2 が 15,000mm 以上になったときは、Y1 に入力した値を基準として、Y1+Y2 の数値が 15,000mm 以下になるように Y2 の値が自動的に修正されます。
- [基本編集設定] で、部分コピーの設定を変更できます。詳しくは、P.156「基本編集設定」を参照してください。

ミラー

画像を鏡に映したように左右に反転させてコピーします。



CKN047

1. [編集/カラー] を押します。

2. [画像編集] を押します。
3. [ミラー] を押します。
4. [OK] を押します。

フォーマット合成

背景にする原稿（フォーマット原稿）と画像の原稿を重ねて、1 枚の用紙にコピーできます。

カラー原稿もモノクロ原稿として読み取られ、白黒コピーされます。

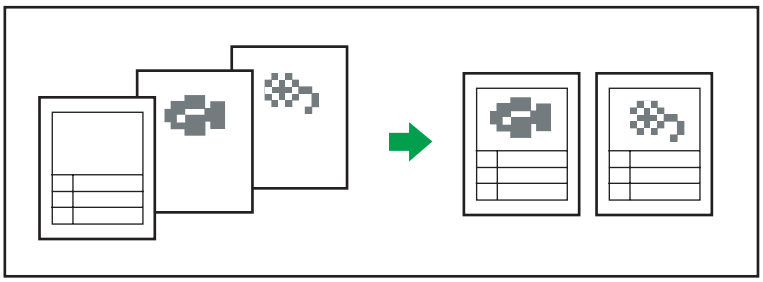
重要

- **手差しコピーはできません。**

フォーマット合成の種類には、次の 2 種類があります。

フォーマット合成

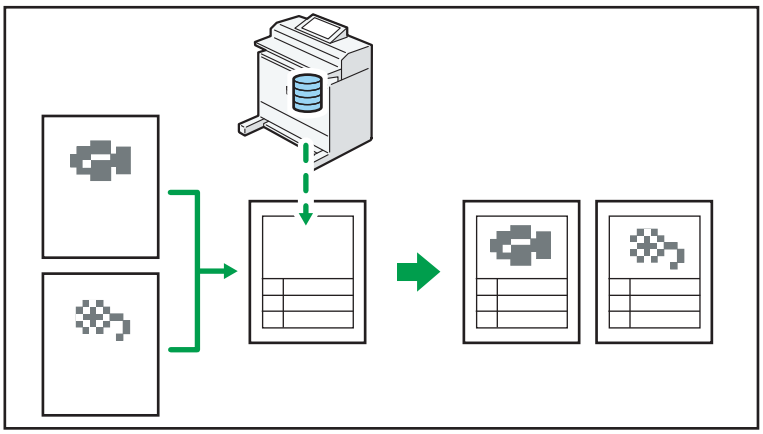
1 枚目の原稿をフォーマット原稿にして、2 枚目以降の原稿と重ね合わせてコピーします。



CPH022

登録フォーマット合成

登録したフォーマット原稿を呼び出し、原稿と重ね合わせてコピーします。登録フォーマット合成をするには、あらかじめフォーマットを登録してください。詳しくは、P.117「フォーマットを登録する」を参照してください。



CRY001

1. [白黒] を押します。
2. [編集/カラー] を押します。
3. [画像編集] を押します。
4. [フォーマット合成] を押します。
5. [フォーマット合成] または [登録フォーマット合成] を選択します。
6. [登録フォーマット合成] を選択したときは、登録されているフォーマットを選択します。

7. [OK] を 2 回押します。
8. 機能を設定し、1 枚目の原稿をセットして読み込ませます。
9. 必要に応じて原稿の読み込みを繰り返します。

   すべての原稿の読み取りを終えたら [#] を押します。

補足

- フォーマット原稿と合成する原稿のサイズが異なるときは、合成する原稿のサイズに合わせて合成されます。

- フォーマット原稿は読み取りのときに画像がかすれることがあります。かすれるときは原稿をコピーしたものをフォーマット原稿にしてください。
- フォーマット合成を行うと、画質が低下することがあります。
- フォーマット原稿の濃度は変更できません。フォーマット原稿の濃度を調整するときは、あらかじめ濃度を調整した原稿を読み取ってください。
- シンクロカットとフォーマット合成は組み合わせできません。

フォーマットを登録する

登録フォーマット合成に使用するフォーマットを登録します。フォーマットは 4 つまで登録できます。

長尺原稿をフォーマット登録することはできません。

1. **画面中央下の［ホーム］（）を押します。**
2. **左にフリックし、［初期設定］アイコンを押します。**
3. **［本体初期設定］を押します。**
4. **［コピー／ドキュメントボックス初期設定］を押します。**
5. **［基本編集設定］を押し、［フォーマット登録/削除］を押します。**
6. **登録するフォーマット番号を選択します。**
7. **原稿セット方向を選択します。**
8. **原稿をセットし、［読み取りスタート］を押します。**
   原稿が搬送され、原稿の読み取りが開始されます。
9. **画面右上の［初期設定］（）を押します。**
10. **画面中央下の［ホーム］（）を押します。**

補足

- すでに登録されているフォーマット番号を押したときは、上書きの確認画面が表示されます。上書きするときは［書き替える］を、登録しないときは［中止］を押します。
- 書き替えたフォーマットは元に戻すことはできません。
- が表示されているフォーマット番号は、すでにフォーマットが登録されています。登録されていないフォーマット番号には「未登録」と表示されています。

フォーマットを削除する

登録したフォーマットを削除します。

削除したフォーマットは元に戻すことはできません。

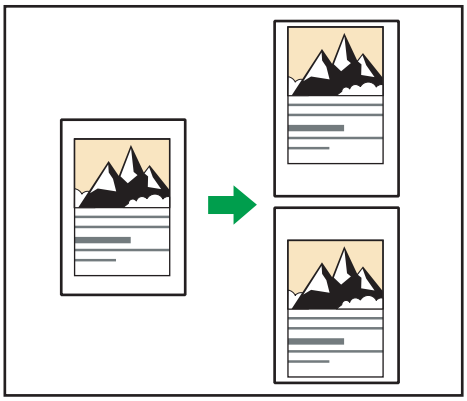
1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［初期設定］アイコンを押します。
3. ［本体初期設定］を押します。
4. ［コピー／ドキュメントボックス初期設定］を押します。
5. ［基本編集設定］を押し、［フォーマット登録/削除］を押します。
6. ［削除］を押し、削除するフォーマット番号を選択します。
7. ［削除する］を押します。
8. 画面右上の［初期設定］（）を押します。
9. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。

印刷位置調整

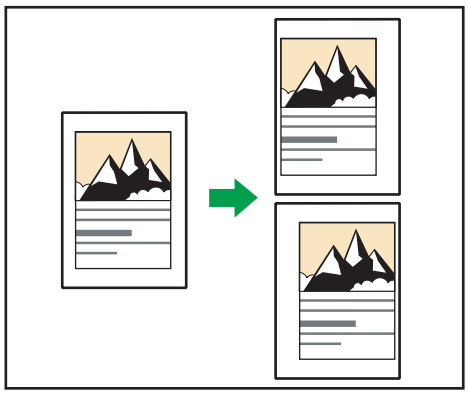
コピー画像を上下または左右にシフトしてコピーします。上下と左右を組み合わせて指定することもできます。

印刷位置調整では、次の 2 方向に画像の位置を調整できます。

- [↑]（上）、[↓]（下）
  原稿の画像を、用紙の先端または後端に移動します。



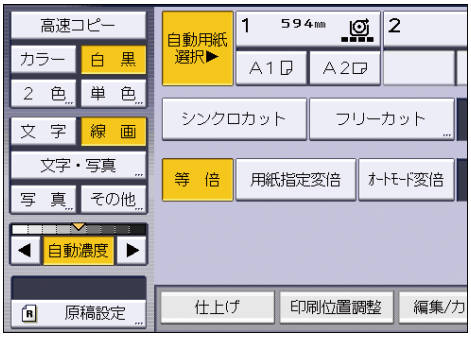
- [←]（左）、[→]（右）
  原稿の画像を、用紙の左端または右端に移動します。



CPH026

本機能は、やさしくコピー機能でも使用できます。やさしくシリーズの操作画面の使いかたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』「やさしくコピー画面」を参照してください。

1. [印刷位置調整] を押します。



2. [←] [→] を押して左右の位置を調整します。
3. [↑] [↓] を押して上下の位置を調整します。
4. [OK] を押します。

補足

- 移動幅は 0〜200mm の範囲（1mm 単位）で指定します。
- 印字と印刷位置調整を組み合わせて設定したとき、印字位置は移動しません。
- 設定した移動幅が大きすぎると、画像が欠けてコピーされることがあります。
- [基本編集設定] で設定を変更できます。詳しくは、P.156「基本編集設定」を参照してください。

5. ドキュメントボックス機能

ドキュメントボックスを使用すると、文書を本機のハードディスクに蓄積しておき、あとから必要な条件で印刷できます。

各機能とドキュメントボックスの関係

各機能を使用して本機のドキュメントボックスに文書を蓄積できます。

ドキュメントボックスに蓄積した文書はスキャナー機能画面から送信できます。

蓄積方法によって、蓄積した文書でできることが異なります。文書の蓄積方法と蓄積した文書でできることの関係は次のとおりです。

蓄積方法	一覧表示	印刷
本機のコピー機能で文書を蓄積する	表示される	可
本機のドキュメントボックス機能で文書を蓄積する	表示される	可
本機のスキャナー機能で文書を蓄積する	表示されない*1	不可
パソコンから本機に文書を蓄積する	表示される	可

*1 蓄積した文書はスキャナー機能画面で確認できます。詳しくは、『スキャナー』「一覧画面から蓄積文書を確認する」を参照してください。

補足

- スキャナー機能で蓄積した文書はスキャナー機能画面から送信できます。詳しくは、『スキャナー』「蓄積文書を送信する」を参照してください。

文書を蓄積する

ドキュメントボックスに文書を蓄積します。

重要

- **正しいパスワードを入力して選択した文書は、操作後も選択が維持されるため、パスワードを知らなくても操作できてしまいます。操作後は必ず［リセット］を押して、文書の選択を解除してください。**
- **ドキュメントボックスに蓄積した文書に登録するユーザー名は、文書の作成者や性質を区別するためのものです。機密文書保護として有効ではありません。**
- **スキャナーで原稿を読み取るときは、すべての動作が完了したことを確認してください。**

文書名

読み取った文書には「COPY0001」「COPY0002」と文書名が自動的に付けられます。文書名は変更できます。

ユーザー名

蓄積した人や部門がわかるようにユーザー名を設定できます。ユーザー名にはアドレス帳に登録した名前を指定する方法と、名称を入力して設定する方法があります。セキュリティーの設定によっては、［ユーザー名］が［アクセス権］と表示されることがあります。アドレス帳については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

パスワード

蓄積する文書にはパスワードを設定できます。パスワードを設定した文書を印刷するときは、パスワードを入力するため、不特定の人に印刷されません。パスワードが設定されている文書には、錠のマークが表示されます。

1. **画面中央下の［ホーム］（）を押します。**
2. **［ドキュメントボックス］アイコンを押します。**
3. **［読み取り画面へ］を押します。**
4. **［蓄積先のフォルダー］を押します。**
5. **文書を蓄積するフォルダーを選択し、［OK］を押します。**
6. **［ユーザー名］を押します。**
7. **ユーザー名を設定し、［OK］を押します。**

   一覧に表示されていない名称を設定するときは、［登録外文字列］を押してユーザー名を直接入力します。
8. **［文書名］を押します。**
9. **文書名を入力し、［OK］を押します。**

10. **[パスワード] を押します。**

11. **テンキーでパスワードを入力し、[OK] を押します。**

パスワードは 4 桁から 8 桁まで指定できます。

12. **確認用にもう一度テンキーでパスワードを入力し、[OK] を押します。**

13. **原稿をセットします。**

原稿が自動的に読み込まれます。

[システム初期設定] の [原稿送り開始方法] で [スタートキー押下] を設定しているときは、[スタート] を押します。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。

原稿が複数枚あるときは、続けて読み込ませます。

14. **原稿の読み取りが終了したら、[読み取り終了] を押します。**

ドキュメントボックスに文書が保存されます。

補足

- ドキュメントボックス初期画面に表示されるキーの機能については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能の画面」を参照してください。
- 読み取りを中断するときは [ストップ] を押します。表示された確認画面で [継続] を押すと読み取りが再開され、[読み取り中止] を押すと読み取り済みの画像が消去されます。[ジョブ一覧] を押すと、ジョブ一覧画面が表示されます。ジョブ一覧画面については、『便利な機能』「ジョブを管理する画面の種類」を参照してください。
- ユーザー名、文書名、パスワード、蓄積先フォルダーの設定は省略できます。文書名を変更しないときは自動で文書名が設定され、蓄積先フォルダーを変更しないときは共有フォルダーに蓄積されます。
- 文書名は全角 10 文字、半角 20 文字まで入力できますが、一覧で表示される文書名は全角 8 文字、半角 16 文字までです。文字数を超えると、文書名は全角 7 文字、半角 15 文字までしか表示されません。
- フォルダーの設定方法は、P.137「蓄積した文書をフォルダーで整理する」を参照してください。
- 工場出荷時の設定では、ドキュメントボックスに蓄積された文書は、蓄積してから 3 日（72 時間）後に消去されます。[管理者用設定] の [ドキュメントボックス蓄積文書自動消去] で、文書の自動消去をしない、あるいは一定期間経過後に自動的に消去するように設定を変更できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。
- 自動的に削除したくない文書をドキュメントボックスに蓄積するときは、[管理者用設定] の [ドキュメントボックス蓄積文書自動消去] の設定を [しない] にしてから文書を蓄積してください。そのあとで [ドキュメントボックス蓄積文書自動消去] を [日数指定] または [時間指定] に設定すると、設定後に蓄積した文書は自動的に削除されます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。

- 蓄積した文書にアクセス権を設定できます。詳しくは、P.144「蓄積した文書にアクセス権を設定する」を参照してください。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。

蓄積した文書の文書情報を変更する

ドキュメントボックスに蓄積した文書のユーザー名、文書名、パスワードを変更します。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行]を押します。
- 文書の選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。

ユーザー名を変更する

蓄積した文書のユーザー名を変更します。

1. フォルダーを選択します。

2. ユーザー名を変更する文書を選択します。
3. [文書情報変更]を押します。
4. [ユーザー名変更]を押します。
5. 新しいユーザー名を設定して、[OK]を押します。
6. [OK]を押します。
7. [上の階層へ]を押します。

文書名を変更する

蓄積した文書の文書名を変更します。

1. フォルダーを選択します。

2. 文書名を変更する文書を選択します。
3. [文書情報変更] を押します。
4. [文書名変更] を押します。
5. 新しい文書名を入力して、[OK] を押します。
6. [OK] を押します。
7. [上の階層へ] を押します。

パスワードを変更する

蓄積した文書のパスワードを変更します。

1. フォルダーを選択します。

2. パスワードを変更する文書を選択します。
3. [文書情報変更] を押します。
4. [パスワード変更] を押します。
5. 新しいパスワードを入力して、[OK] を押します。
6. 確認用にもう一度パスワードを入力して、[OK] を押します。

7. [OK] を押します。
8. [上の階層へ] を押します。

蓄積した文書の詳細を表示する

ドキュメントボックスに蓄積した文書の詳細を表示して確認します。

1. フォルダーを選択します。

2. 詳細を表示する文書を選択します。

3. [詳細] を押します。

   [閉じる] を押し、[上の階層へ] を押すとフォルダー選択画面に戻ります。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。
- 複数の文書を選択しているときは [▲] [▼] で順番に文書の情報を確認できます。
- 文書の選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- プレビュー画面で蓄積した文書の内容を確認できます。手順 2 で文書を選択したあと、[プレビュー] を押してください。プレビュー画面については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能の「プレビュー」画面」を参照してください。

蓄積した文書を検索する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を、文書名またはユーザー名で検索します。

文書名で検索する

蓄積した文書を文書名から検索します。

ユーザー名で検索する

蓄積した文書をユーザー名から検索します。

補足

- ネットワークのパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスに蓄積された文書を検索、並び替えできます。詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。

文書名で検索する

蓄積した文書を文書名から検索します。先頭文字から完全一致する文書名を検索し、文書選択の画面に表示します。

1. フォルダーを選択します。

2. [文書名検索] を押します。
3. 検索する文書名を入力し、[OK] を押します。

補足

- [全文書表示] を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。

ユーザー名で検索する

蓄積した文書をユーザー名から検索します。先頭文字から完全一致するユーザー名を検索し、文書選択の画面に表示します。

1. フォルダーを選択します。

2. [ユーザー名検索] を押します。
3. 登録されているユーザー名を指定するときは、ユーザー名を選択します。

   ユーザー名を選択したあと、手順 6 に進みます。
4. ユーザー名が登録されていないときは、[登録外文字列] を押し、ユーザー名を入力します。
5. [OK] を押します。
6. [OK] を押します。

補足

- [全文書表示] を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。

蓄積した文書を印刷する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を印刷します。

印刷画面で設定できる項目は次のとおりです。

- 用紙選択
- 出力部数
- 仕上げ（ソート、回転ソート）
- 印刷位置調整
- 印字（機密管理ナンバリング、スタンプ印字、ユーザースタンプ印字、日付印字、ページ印字、文字印字）
- 変倍（定形変倍、ズーム、微調変倍）
- フリーカット
- 用紙指定変倍

各機能の詳細については、それぞれの項目を参照してください。

1. **フォルダーを選択します。**

2. **印刷する文書を選択します。**
3. **複数の文書をまとめて印刷するときは、印刷する順に手順 2 の操作を繰り返します。**

   30 文書まで指定できます。
4. **印刷条件を設定するときは、[印刷画面へ] を押して条件を設定します。**
5. **印刷部数をテンキーで入力します。**

   99 部まで指定できます。
6. **[スタート] を押します。**

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。

- 文書の選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- ［リセット］を押すと、選択した文書がすべて解除されます。
- ［印刷順］を押すと選択した文書が印刷順に並んで表示されます。
- ［文書一覧へ戻る］を押すと文書選択の画面に戻ります。
- 画面左の［ユーザー名検索］または［文書名検索］で目的の文書を検索できます。検索のしかたについては、P.129「蓄積した文書を検索する」を参照してください。
- 複数の文書を選択したとき、［▲］［▼］を押して選択した文書のユーザー名、文書名、印刷順を確認できます。
- コピー、プリンター機能では、設定した印刷条件が印刷終了後も記憶され、次の印刷時に適用されます。
- 複数の文書を選択したとき、最初の文書には印刷条件が記憶されますが、最初の文書以外の文書には印刷条件が記憶されません。
- 複数の文書を一度に印刷するときは、最初に印刷される文書の印刷条件がすべての文書に適用されます。
- 複数の文書を選択するときは、蓄積した機能が同じ文書を選択してください。たとえば、コピー機能で蓄積した文書とプリンター機能で蓄積した文書は同時に選択できません。
- 複数の文書を選択したとき、サイズや解像度が異なっていると印刷できないことがあります。
- カラーモードで白黒を選択して蓄積した文書は、拡大または縮小して印刷できます。ただし、拡大または縮小して印刷するには、拡張データ変換ボードが必要です。
- 印刷するときに印字、変倍、印刷位置調整、回転ソートを設定できるのは、コピー機能で蓄積した文書だけです。
- ソート機能を選択して複数部数を印刷するときは、1 部だけ印刷して仕上がりを確認できます。詳しくは、P.133「試し印刷」を参照してください。
- ［基本コピー設定］の［コピーセット枚数制限設定］で、セットできる印刷枚数の上限を変更できます。詳しくは、P.149「基本コピー設定」を参照してください。
- ネットワークのパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスの文書を印刷できます。Web Image Monitor の立ち上げかたについては、P.142「蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する」を参照してください。

印刷を中止する

1. **印刷中に［ストップ］を押します。**
2. **［印刷中止］を押します。**

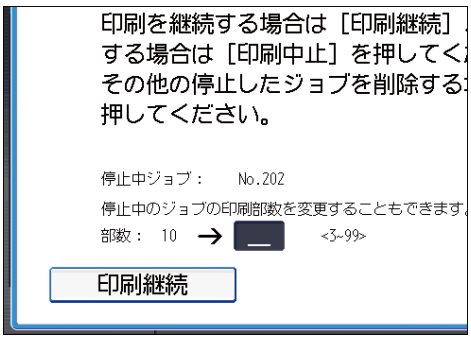
印刷部数を変更する

印刷を開始してから、印刷部数を変更します。

重要

- **印刷条件で、ソート機能を選択しているときに有効です。**

1. **印刷中に［ストップ］を押します。**
2. **テンキーで新たに印刷部数を入力します。**



3. **［印刷継続］を押します。**

   印刷が再開します。

補足

- 入力できるコピー部数の範囲は、［ストップ］を押すタイミングにより異なります。

試し印刷

印刷部数が多いときは、選択した文書の順番や印刷条件が適切かどうかを確認するために、1 部だけを先行して印刷できます。

重要

- **印刷条件で、ソート機能を選択しているときに有効です。**

1. フォルダーを選択します。

2. 印刷する文書を選択します。
3. [印刷画面へ] を押します。
4. テンキーでコピーする枚数を入力します。
5. [仕上げ] を押し、[ソート] または [回転ソート] を選択します。
6. [OK] を押します。
7. [試しコピー] を押します。

   1 部だけ印刷されます。
8. 仕上がりを確認後、よければ [継続] を押します。

   印刷が再開します。

補足

- 印刷を中止するときは、手順 8 で [中断] を押してください。印刷画面が表示されるので、設定し直してください。

指定ページ印刷

文書選択画面で選択した文書のページを指定して印刷できます。

印刷範囲を指定する方法には次の 3 種類があります。

先頭ページ

1 ページ目だけを印刷します。複数の文書を選択したときは、各文書の 1 ページ目が印刷されます。

指定ページ

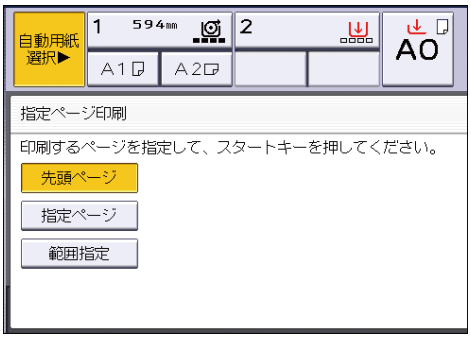
指定したページだけを印刷します。[指定ページ] に印刷するページ番号を入力します。

範囲指定

指定した範囲のページだけを印刷します。［開始数字］に印刷を開始するページ番号を、［終了数字］に印刷を終了するページ番号をそれぞれ入力します。

1. フォルダーを選択します。

2. 印刷する文書を選択します。
3. ［指定ページ印刷］を押します。
4. 印刷するページを指定します。



5. 必要に応じて、印刷するページや範囲をテンキーで入力します。
6. ［スタート］を押します。

蓄積した文書を消去する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去します。

重要

- **ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は 3,000 件です。蓄積されている文書が 3,000 件に達すると、新しい文書が蓄積されなくなるので、不要になった文書はできるだけ削除してください。**

1. フォルダーを選択します。

2. 消去する文書を選択します。

   複数の文書を選択できます。

3. [文書消去] を押します。

4. [消去する] を押します。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。
- 選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- 画面左の [文書名検索] または [ユーザー名検索] で目的の文書を検索できます。
- プレビュー画面で蓄積した文書の内容を確認できます。手順 2 で文書を選択したあと、[プレビュー] を押してください。プレビュー画面については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能の「プレビュー」画面」を参照してください。
- 蓄積されている文書を、[管理者用設定] の [ドキュメントボックス蓄積文書一括消去] で一括して削除できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。
- ネットワークのパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスの文書を削除できます。Web Image Monitor の立ち上げかたについては、P.142「蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する」を参照してください。

蓄積した文書をフォルダーで整理する

フォルダーには、共有フォルダーとユーザーフォルダーの 2 種類があります。

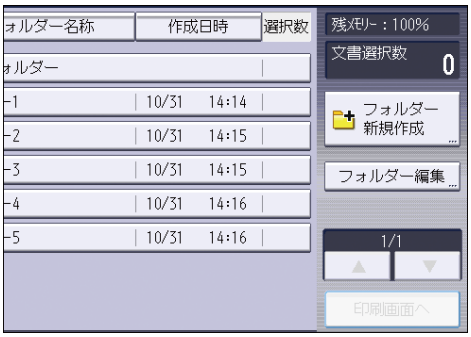
共有フォルダーは工場出荷時に設定されているフォルダーです。文書を保存するフォルダーを設定しないときは、共有フォルダーに文書が蓄積されます。共有フォルダーの情報を変更することや削除することはできません。

ユーザーフォルダーは、200 件まで作成できます。フォルダーの情報を変更したり、削除したりできるので、使用する用途によってフォルダーを使いわけることができます。

フォルダーを作成する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を分類するためのフォルダーを作成します。

1. [フォルダー新規作成] を押します。



2. [フォルダー番号] を押します。
3. テンキーでフォルダー番号を入力し、[#] を押します。
4. [OK] を押します。
5. [フォルダー名称] を押します。
6. フォルダー名を入力し、[OK] を押します。
7. [フォルダーパスワード] を押します。
8. テンキーでパスワードを入力し、[OK] を押します。

   パスワードは 4 桁から 8 桁まで指定できます。
9. 確認用にもう一度テンキーでパスワードを入力し、[OK] を押します。
10. [OK] を押します。
11. [確認] を押します。

補足

- フォルダー名は、全角で 32 文字、半角で 64 文字まで入力できます。
- フォルダー名の先頭に半角スペースは使用できません。
- フォルダー番号は 1～200 まで入力できます。
- パスワードが設定されているフォルダーには、錠のマークが表示されます。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。

フォルダーの情報を変更する

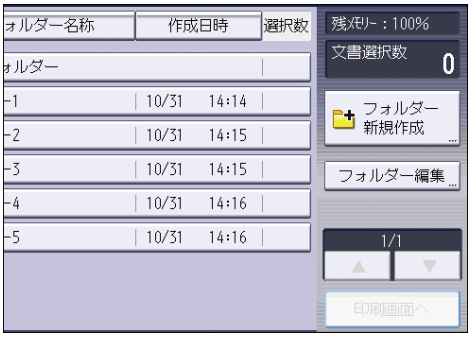
フォルダーの名前とパスワードを変更します。

補足

- 共有フォルダーの情報は変更できません。
- フォルダーにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、［実行］を押します。
- フォルダーの選択を取りやめるときは、反転表示されているフォルダーをもう一度押します。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。

フォルダー名を変更する

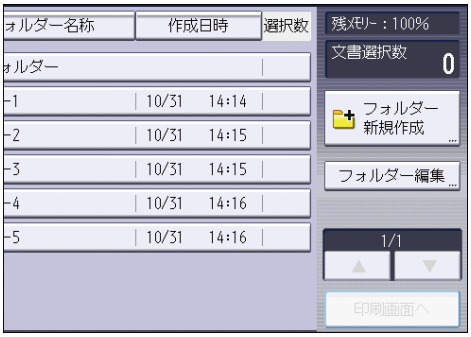
1. ［フォルダー編集］を押します。



2. 名称を変更するフォルダーを選択します。
3. ［フォルダー名変更］を押します。
4. 新しいフォルダー名を設定して、［OK］を押します。
5. ［閉じる］を押します。

フォルダーのパスワードを変更する

1. [フォルダー編集] を押します。



2. パスワードを変更するフォルダーを選択します。
3. [パスワード変更] を押します。
4. 新しいパスワードを入力して、[OK] を押します。
5. 確認用にもう一度パスワードを入力して、[OK] を押します。
6. [閉じる] を押します。

フォルダーを検索する

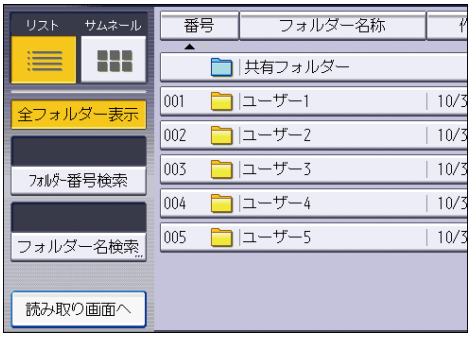
ドキュメントボックスに作成したフォルダーを、フォルダー番号またはフォルダー名で検索します。

補足

- ネットワークのパソコンから Web Image Monitor を使用して、フォルダーを検索、並び替えできます。詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。

フォルダー番号で検索する

1. [フォルダー番号検索] を押します。



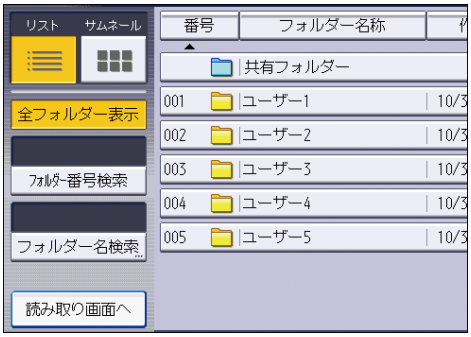
2. 検索するフォルダー番号を入力し、[#] を押します。
3. [OK] を押します。

補足

- [全フォルダー表示] を押すと、すべてのフォルダーが表示されます。

フォルダー名で検索する

1. [フォルダー名検索] を押します。



2. 検索するフォルダー名を入力し、[OK] を押します。

補足

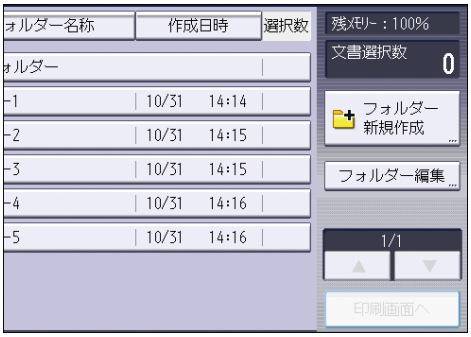
- [全フォルダー表示] を押すと、すべてのフォルダーが表示されます。

フォルダーを削除する

重要

- **フォルダーを削除すると、フォルダーに入っている文書はすべて削除されます。フォルダーを削除する前に、フォルダー内の文書を削除して問題ないか確認してください。**

1. [フォルダー編集] を押します。



2. 削除するフォルダーを選択します。
3. [削除] を押します。
4. [削除する] を押します。
5. [閉じる] を押します。

補足

- 共有フォルダーは削除できません。
- フォルダーにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。
- フォルダーの選択を取りやめるときは、反転表示されているフォルダーをもう一度押します。
- 画面左の [フォルダー番号検索] または [フォルダー名検索] で目的のフォルダーを検索できます。
- フォルダー内にパスワードが設定されている文書があるときは、フォルダーを削除できません。
- ネットワークのパソコンから Web Image Monitor を使用して、フォルダーを削除できます。Web Image Monitor の立ち上げかたについては、P.142「蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する」を参照してください。

蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する

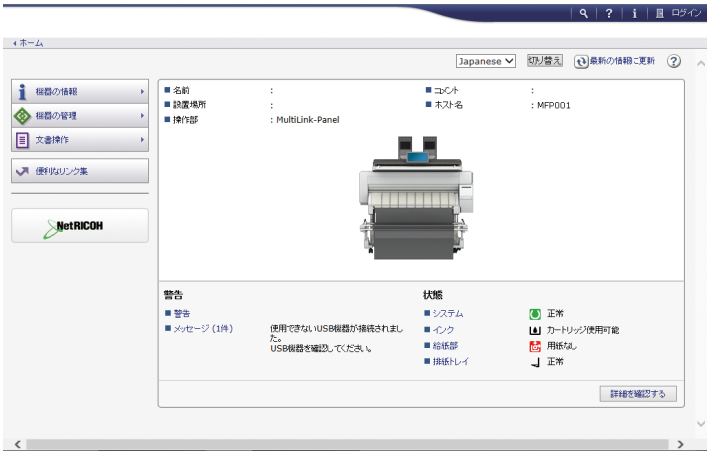
Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスに蓄積した文書の内容をパソコンの画面で確認します。

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **アドレスに「http://（本機の IPv4 アドレス、IPv6 アドレスまたはホスト名）/」と入力し、[Enter] キーを押します。**

   IPv4 アドレスを入力するとき、各セグメントの先頭に付く「0」は入力しないでください。たとえば「192.168.001.010」のときは、「192.168.1.10」と入力します。

   「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。

   Web Image Monitor のトップページが表示されます。



3. **[文書操作] をポイントし、[ドキュメントボックス] をクリックします。**
4. **表示する文書が入っているフォルダー名をクリックします。**
5. **確認する文書の（詳細情報）アイコンをクリックします。**
6. **文書の内容を確認します。**

   大きく表示するときは、[拡大表示] をクリックします。

補足

- 文書の一覧は表示形式を変更できます。（サムネール表示）、（アイコン表示）、（詳細表示）から選択してください。

蓄積した文書を Web Image Monitor でダウンロードする

Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスに蓄積した文書のデータをパソコンにダウンロードします。

重要

- **コピー（ドキュメントボックス）、プリンター機能から蓄積した文書をダウンロードするには、拡張データ変換ボードが必要です。コピー（ドキュメントボックス）、プリンター機能で蓄積した文書は、カラーモードで白黒を選択して蓄積した文書だけダウンロードできます。**

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **アドレスに「http://（本機の IPv4 アドレス、IPv6 アドレスまたはホスト名）/」と入力し、［Enter］キーを押します。**

   IPv4 アドレスを入力するとき、各セグメントの先頭に付く「0」は入力しないでください。たとえば「192.168.001.010」のときは、「192.168.1.10」と入力します。

   「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。

   Web Image Monitor のトップページが表示されます。
3. **［文書操作］をポイントし、［ドキュメントボックス］をクリックします。**
4. **ダウンロードする文書が入っているフォルダー名をクリックします。**
5. **ダウンロードする文書の（詳細情報）アイコンをクリックします。**
6. **ファイル形式を選択し、［ダウンロード］をクリックします。**
7. **［OK］をクリックします。**

補足

- 文書の一覧は表示形式を変更できます。（サムネール表示）、（アイコン表示）、（詳細表示）から選択してください。
- ［JPEG］は、スキャナー機能を使用してフルカラーまたはグレースケールで読み取り、圧縮した文書で選択できます。
- 高圧縮 PDF や OCR を選択できるのはスキャナー蓄積文書だけです。
- 本機の［PDF ファイル形式：PDF/A 固定］が［する］になっているときは高圧縮 PDF をダウンロードできません。設定を［しない］に変更してください。
- Internet Explorer 8 を使用しているとき、ダウンロードに時間がかかることがあります。本機の URL を［インターネットオプション］から信頼済みサイトとして登録し、サイトの SmartScreen フィルター機能を無効にしてください。Internet Explorer 8 の設定については、Internet Explorer 8 のヘルプを参照してください。

蓄積した文書にアクセス権を設定する

本機に蓄積した文書は、蓄積したユーザーがアクセス権限を持っています。そのユーザーを文書作成者（オーナー）と呼びます。オーナーは、作成した文書に対するほかのユーザーのアクセス権を設定・変更できます。

オーナー以外のユーザーは、アクセス権がある文書だけが表示されます。

アクセス権を変更できるのはオーナーと管理者です。

アクセス権の種類

アクセス権は 4 種類あり、権限によってできることが制限されます。

アクセス権	内容
閲覧	蓄積した文書の内容や情報を確認でき、印刷や送信もできます。
編集	蓄積した文書の印刷条件を変更できます。 閲覧のアクセス権を含みます。
編集／削除	蓄積した文書を消去できます。 閲覧、編集のアクセス権を含みます。
フルコントロール	蓄積した文書にユーザーとアクセス権を設定できます。 閲覧、編集、編集／削除のアクセス権を含みます。

文書パスワード

オーナーは、蓄積した文書にパスワードを設定できます。文書の不正使用に対する安全性をより強化できます。

ユーザー認証が設定されていなくても、文書にパスワードを設定できます。

文書パスワードの設定方法は、P.126「パスワードを変更する」を参照してください。

補足

- プリンタードライバーからの印刷指示で本機に蓄積された保存文書のアクセス権は、Web Image Monitor から設定できます。詳しくは、『プリンター』「保存文書にアクセス権を設定する」を参照してください。
- オーナーのアクセス権の初期値は、［閲覧］です。また、アクセス権も設定できます。

蓄積した文書のユーザーとアクセス権を設定する

オーナーが設定します。

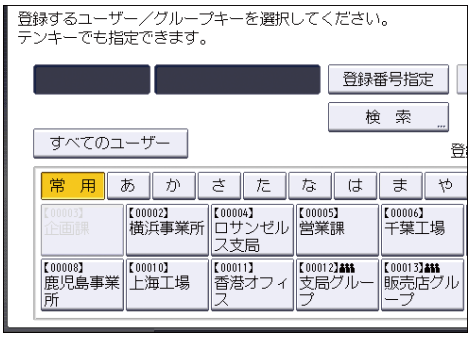
文書を使用できるユーザーと、それぞれのユーザーのアクセス権を文書ごとに設定します。この設定により、アクセス権を設定されたユーザーだけが文書を使用できます。

重要

- 文書へアクセスできなくなったときは、オーナーが該当する文書のアクセス権を再設定してください。アクセス権限のない文書にアクセスするときは、オーナーに確認してください。
- 文書のオーナーとフルコントロール権限を持つほかのユーザーは、その文書の［アクセス権変更］でオーナーとその他のユーザーのアクセス権を変更できます。

1. フォルダーを選択します。

2. アクセス権を設定する文書を選択します。
3. ［文書情報変更］を押します。
4. ［アクセス権変更］を押します。
5. 「アクセス許可ユーザー／グループ」の［登録／変更／消去］を押します。
6. ［新規登録］を押します。
7. 登録するユーザーを選択します。

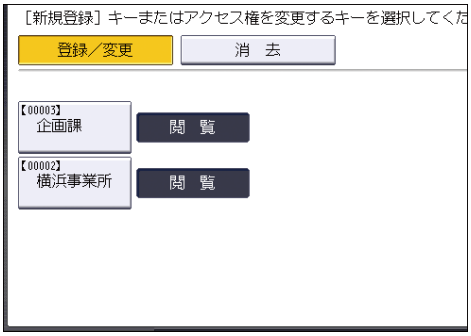


複数のユーザーを選択できます。

［すべてのユーザー］を押すと、全ユーザーを選択できます。

8. ［閉じる］を押します。

9. アクセス権を設定するユーザーを選択し、アクセス権を選択します。



アクセス権は、［閲覧］、［編集］、［編集／削除］、［フルコントロール］のいずれかを選択します。

10. ［閉じる］を押します。
11. ［OK］を 2 回押します。
12. ［上の階層へ］を押します。

補足

- 本機を安全に使用するためには、認証ユーザーにも［編集］、［編集／削除］、［フルコントロール］の権限を与えない制限を設けて運用することをお勧めします。
- アクセス権については、P.144「蓄積した文書にアクセス権を設定する」を参照してください。

特定ユーザーの蓄積文書へのアクセス権を事前に設定する

オーナーが設定します。

特定のユーザーが蓄積した文書を使用できるユーザーと、それぞれのユーザーのアクセス権を設定します。

この設定により、アクセス権を設定されたユーザーだけが文書を使用できます。蓄積した文書ごとにアクセス権を設定するときと比較し、アクセス権の管理が容易です。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［アドレス帳管理］アイコンを押します。
3. ユーザーを選択します。
4. ［認証保護］を押します。
5. 「文書保護」で、「アクセス許可ユーザー/グループ」の［登録／変更／消去］を押します。
6. ［新規登録］を押します。

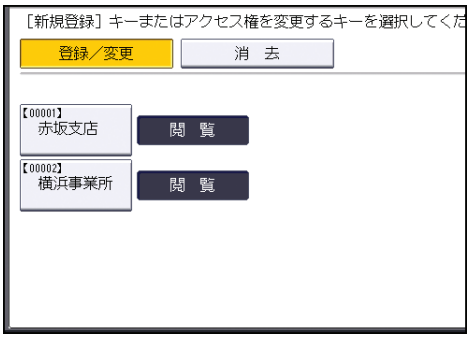
7. **登録するユーザーを選択します。**

   複数のユーザーを選択できます。

   ［すべてのユーザー］を押すと、全ユーザーを選択できます。

8. **［閉じる］を押します。**

9. **アクセス権を設定するユーザーを選択し、アクセス権を選択します。**



   アクセス権は、［閲覧］、［編集］、［編集／削除］、［フルコントロール］のいずれかを選択します。

10. **［閉じる］を押します。**

11. **［設定］を押します。**

12. **画面右上の［初期設定］（ ）を押します。**

13. **画面中央下の［ホーム］（ ）を押します。**

補足

- アクセス権については、P.144「蓄積した文書にアクセス権を設定する」を参照してください。

6. コピー／ドキュメントボックス初期設定

本機にある［コピー／ドキュメントボックス初期設定］の各種項目について説明します。

基本コピー設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［基本コピー設定］タブの各種項目について説明します。

自動濃度優先（白黒・単色）

電源を入れた直後、オートクリアされたとき、リセットしたときに、白黒コピー、または単色コピーで自動濃度が設定されるようにするかしないかを設定します。

- 文字
  - する
  - しない

  工場出荷時の設定：**する**
- 線画
  - する
  - しない

  工場出荷時の設定：**する**
- 文字・写真
  - する
  - しない

  工場出荷時の設定：**する**
- 写真
  - する
  - しない

  工場出荷時の設定：**しない**
- 複写原稿
  - する
  - しない

  工場出荷時の設定：**する**
- 地図
  - する

- しない

工場出荷時の設定：**する**

- 蛍光ペン
  - する
  - しない

工場出荷時の設定：**しない**

- ケイ線消去
  - する
  - しない

工場出荷時の設定：**する**

- 切り張り原稿
  - する
  - しない

工場出荷時の設定：**する**

自動濃度優先（フルカラー・2 色）

電源を入れた直後、オートクリアされたとき、リセットしたときに、フルカラーコピー、または 2 色コピーで自動濃度が設定されるようにするかしないかを設定します。

- 文字
  - する
  - しない

工場出荷時の設定：**しない**

- 線画
  - する
  - しない

工場出荷時の設定：**しない**

- 文字・写真
  - する
  - しない

工場出荷時の設定：**しない**

- 写真
  - する
  - しない

工場出荷時の設定：**しない**

- 複写原稿
  - する
  - しない

  工場出荷時の設定：**しない**
- 地図
  - する
  - しない

  工場出荷時の設定：**しない**

優先原稿種類

電源を入れた直後、オートクリアされたとき、リセットしたときに、設定される原稿の種類を設定します。

- フルカラー・2 色
  - 文字
  - 線画
  - 文字・写真
  - 写真
  - 複写原稿
  - 地図

  工場出荷時の設定：**文字・写真**
- 白黒・単色
  - 文字
  - 線画
  - 文字・写真
  - 写真
  - 複写原稿
  - 地図
  - 蛍光ペン
  - ケイ線消去
  - 切り張り原稿

  工場出荷時の設定：**線画**

優先写真原稿種類

原稿種類で［文字・写真］または［写真］を選択したときの原稿の種類を設定します。

- 文字・写真

- 印画紙写真
- 印刷写真
- 複写写真

工場出荷時の設定：**印刷写真**

- 写真
  - 印画紙写真
  - 印刷写真
  - 複写写真

工場出荷時の設定：**印刷写真**

原稿種類省略表示

コピー初期画面の原稿種類表示を省略するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

［する］に設定したときは、次のように表示されます。

コピーセット枚数制限設定

セットできるコピー枚数の上限を設定します。

1～99 枚の範囲で枚数をテンキーで入力します。枚数は 1 枚単位で入力できます。

工場出荷時の設定：**99 枚**

リミットレス給紙

コピー中に用紙がなくなったとき、同じサイズの用紙がほかの給紙部にセットされていれば、用紙方向にかかわらず自動的にその給紙部から続けて給紙できます（自動用紙選択時）。この動作を「リミットレス給紙」といいます。リミットレス給紙をするかしないかを設定します。リミットレス給紙には、給紙部 1 と給紙部 2 が必要です。

- 回転可能で動作

  リミットレス給紙を使用してコピーします。

  動作している機能によっては、回転しないことがあります。

- 回転不可で動作

  同じサイズで同じ方向の用紙がセットされているときだけ、継続してコピーします。同じサイズで同じ方向の用紙がないときは、用紙を補給するようメッセージが表示されコピーは中断されます。

- しない

  用紙がなくなると、用紙を補給するようメッセージが表示されコピーは中断されます。

工場出荷時の設定：**回転可能で動作**

カラー選択＜2色＞優先設定

2色コピー時、[2色（黒・赤）]と［2色］のどちらを優先して選択するかを設定します。

- 2色（黒・赤）
- 2色

工場出荷時の設定：**2色（黒・赤）**

手差し選択時の用紙設定画面表示

[☰]を押したときに、用紙サイズや種類の設定画面を毎回表示するかどうかを選択できます。

[自動表示する]に設定すると、[☰]を押したときに用紙設定画面を表示します。[自動表示しない]に設定すると、[☰]を押してから［#］を押したときに用紙設定画面を表示します。

- 自動表示する
- 自動表示しない

工場出荷時の設定：**自動表示する**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

変倍率設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［変倍率設定］タブの各種項目について説明します。

任意変倍率設定

頻繁に使用する倍率を 3 つまで登録し、［変倍］を押したあとの画面に表示できます。

- 25.0%
- 35.4%
- 50.0%
- 70.7%
- 141.4%
- 200.0%
- 282.8%
- 400.0%
- 任意倍率

任意倍率は 25.0～400.0%の範囲で数値をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：

- F1：**70.7%**
- F2：**141.4%**
- F3：**200.0%**

変倍率設定

コピー初期画面で［変倍］を押したときに表示される変倍率を設定します。

- 25.0%（A0→A4）
- 35.4%（A1→A4、A0→A3）
- 50.0%（A2→A4、A1→A3）
- 70.7%（A3→A4、A1→A2）
- 141.4%（A4→A3、A2→A1）
- 200.0%（A4→A2、A3→A1）
- 282.8%（A4→A1、A3→A0）
- 400.0%（A4→A0）
- 任意倍率

任意倍率は 25.0～400.0%の範囲で数値をテンキーで入力します。

優先変倍率設定

コピー初期画面で［変倍］を押したときに優先される変倍率を設定します。

- 25.0%（A0→A4）
- 35.4%（A1→A4、A0→A3）
- 50.0%（A2→A4、A1→A3）
- 70.7%（A3→A4、A1→A2）
- 141.4%（A4→A3、A2→A1）
- 200.0%（A4→A2、A3→A1）
- 282.8%（A4→A1、A3→A0）
- 400.0%（A4→A0）

工場出荷時の設定：**70.7%（A3→A4, A1→A2）**

変倍率：［変倍率設定］で各変倍率を設定しているときはその数値になります。

オートモード変倍

オートモード変倍でコピーするときの各原稿サイズの変倍率を設定します。

各原稿サイズの変倍率は次の用紙サイズから選択します。［表示しない］を選択すると、設定した変倍率はコピー初期画面に表示されません。

- A0*
- A1
- A2
- A3
- A4
- B1*
- B2
- B3
- B4
- 表示しない

* このサイズの用紙は RICOH MP CW2201 シリーズだけで使用できます。

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

基本編集設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［基本編集設定］タブの各種項目について説明します。

印刷位置調整

印刷位置調整を設定するときの初期値を 0〜200mm の範囲（1mm 単位）で設定します。

工場出荷時の設定：右 **20mm**、下 **20mm**

枠消去幅設定

枠消去の幅を設定します。

2〜99mm の範囲（1mm 単位）で設定します。

工場出荷時の設定：**10mm**

集約コピー時枠消去

集約コピーをするとき、原稿の周辺 3mm を消去するかしないかを設定します。

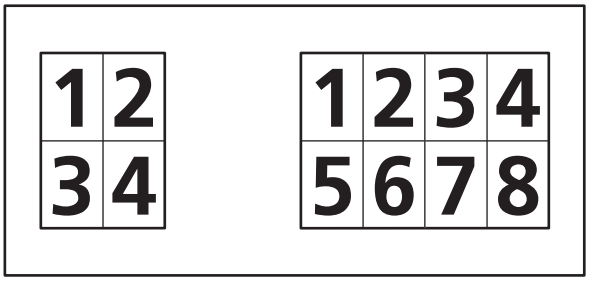
- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

集約時並び順

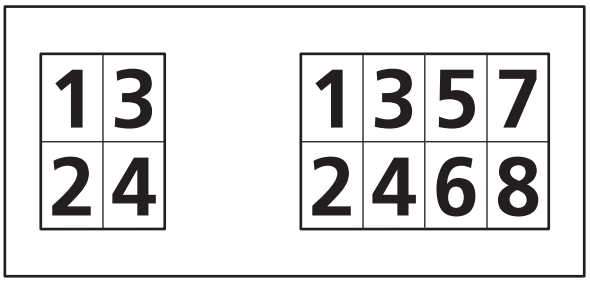
集約コピーのコピーするときの画像の並び順を設定します。

［左右方向］を選択したとき



CKN069

［上下方向］を選択したとき



CKN070

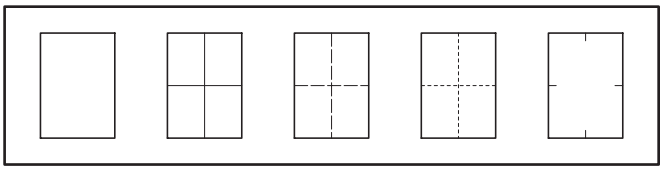
- 左右方向
- 上下方向

工場出荷時の設定：**左右方向**

リピート仕切り線

- 仕切り線種類

  リピートの仕切り線の種類を設定します。



CKN071

  - 仕切線なし
  - 実線
  - 破線 A
  - 破線 B
  - 補助線

  工場出荷時の設定：**仕切線なし**

- フルカラー時の仕切り線色

  フルカラー時は仕切り線の色を次の 7 色から選択できます。［仕切線なし］のときは選択できません。

  - イエロー
  - レッド
  - シアン
  - マゼンタ
  - グリーン
  - ブルー

- ブラック

工場出荷時の設定：**ブラック**

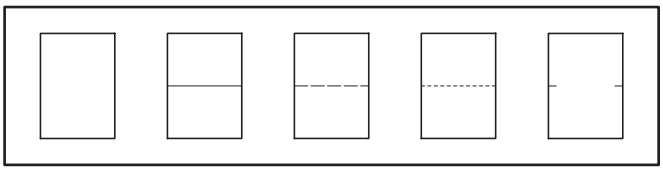
白黒時は黒、単色時は指定色、2 色（通常）時は黒部分の指定色、2 色（黒・赤）時は黒で印刷されます。

実線または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約 1.5mm 画像が欠けることがあります。

ダブルコピー仕切り線

- 仕切り線種類

ダブルコピーの仕切り線の種類を設定します。



CKN072

- 仕切線なし
- 実線
- 破線 A
- 破線 B
- 補助線

工場出荷時の設定：**仕切線なし**

- フルカラー時の仕切り線色

フルカラー時は仕切り線の色を次の 7 色から選択できます。[仕切線なし] のときは選択できません。

- イエロー
- レッド
- シアン
- マゼンタ
- グリーン
- ブルー
- ブラック

工場出荷時の設定：**ブラック**

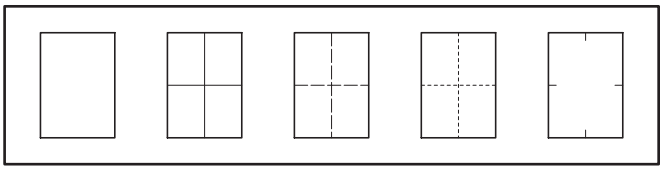
白黒時は黒、単色時は指定色、2 色（通常）時は黒部分の指定色、2 色（黒・赤）時は黒で印刷されます。

実線または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約 1.5mm 画像が欠けることがあります。

集約コピー仕切り線

- 仕切り線種類

  集約コピーの仕切り線の種類を設定します。



  - 仕切線なし
  - 実線
  - 破線 A
  - 破線 B
  - 補助線

  工場出荷時の設定：**仕切線なし**

- フルカラー時の仕切り線色

  フルカラー時は仕切り線の色を次の 7 色から選択できます。［仕切線なし］のときは選択できません。

  - イエロー
  - レッド
  - シアン
  - マゼンタ
  - グリーン
  - ブルー
  - ブラック

  工場出荷時の設定：**ブラック**

  白黒時は黒、単色時は指定色、2 色（通常）時は黒部分の指定色、2 色（黒・赤）時は黒で印刷されます。

実線または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約 1.5mm 画像が欠けることがあります。

フォーマット登録/削除

フォーマット合成を使用するときのフォーマット原稿を登録します。4 つまでフォーマットを登録できます。

フォーマットの登録・変更・削除方法は、P.117「フォーマットを登録する」、P.117「フォーマットを削除する」を参照してください。

余白長さ設定

余白を設定するときの初期値を 0〜200mm の範囲（1mm 単位）で設定します。

余白は上余白、下余白ごとに設定できます。

工場出荷時の設定：

- 上：**20mm**
- 下：**20mm**

部分コピーサイズ設定

部分コピーを設定するときに表示される読み取り開始位置（Y1）、コピーサイズ（Y2）の寸法の初期値を設定します。

Y1 は、0〜14,790mm の範囲（1mm 単位）でコピーサイズを設定します。

Y2 は、210〜15,000mm の範囲（1mm 単位）でコピーサイズを設定します。

工場出荷時の設定：

- Y1：**0mm**
- Y2：**210mm**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

印字編集設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［印字編集設定］タブの各種項目について説明します。

機密管理印字

［印字編集設定］にある［機密管理印字］の各種項目について説明します。

管理番号印字サイズ設定

印刷する機密管理番号の大きさを設定します。

- 小
- 普通
- 大

工場出荷時の設定：**普通**

管理番号印字濃度設定

印刷する機密管理番号の濃度を設定します。

- うすい
- 普通
- ややこい
- こい

工場出荷時の設定：**普通**

印字色優先設定

機密管理番号を印字するとき、優先して選択される色を設定します。

- イエロー
- レッド
- シアン
- マゼンタ
- グリーン
- ブルー
- ブラック

工場出荷時の設定：**ブラック**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

スタンプ印字

［印字編集設定］にある［スタンプ印字］の各種項目について説明します。

スタンプ言語切り替え

スタンプ印字をする言語を設定します。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ポーランド語
- チェコ語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ハンガリー語
- ノルウェー語
- デンマーク語
- ロシア語
- 日本語
- 簡体字
- 繁体字
- ハングル
- カタロニア語
- トルコ語
- ギリシャ語
- ブラジル・ポルトガル語

工場出荷時の設定：**日本語**

スタンプ種類優先設定

［スタンプ印字］を押したとき、どのスタンプを優先して表示するかを設定します。

- マル秘
- 回収
- 複製厳禁

- 至急
- マル仮
- 回覧
- CONFIDENTIAL
- DRAFT

工場出荷時の設定：**マル秘**

スタンプ条件設定

スタンプ（[マル秘]、[回収]、[複製厳禁]、[至急]、[マル仮]、[回覧]、[CONFIDENTIAL]、[DRAFT]）の印字の仕上がりを調整します。

- 印字位置

  スタンプ印字の位置を設定します。印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。

  - 左上
  - 中央上
  - 右上
  - 中央左
  - 中央
  - 中央右
  - 左下
  - 中央下
  - 右下

  工場出荷時の設定：**右上**

- 印字位置調整

  スタンプ印字の位置を調整します。

  印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 24mm 上端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 上端から 3～305mm

印字位置	初期値	印字調整範囲
中央上	中央 上端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 上端から 3～305mm
右上	右端から 24mm 上端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 上端から 3～305mm
中央左	左端から 24mm 中央	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 中央から上下 203mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 中央から左右 152mm
中央	中央	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から上下 203mm 中央から左右 203mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から上下 152mm 中央から左右 152mm
中央右	右端から 24mm 中央	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 中央から上下 203mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 中央から左右 152mm
左下	左端から 24mm 下端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 下端から 3～305mm
中央下	中央 下端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 下端から 3～305mm

印字位置	初期値	印字調整範囲
右下	右端から 24mm 下端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 下端から 3～305mm

- 印字サイズ

  スタンプ印字の大きさを設定します。

  - 1 倍
  - 2 倍
  - 4 倍

  工場出荷時の設定：**1 倍**

- 透かし

  スタンプ印字透かしのパターンを設定します。

  - ベタ

    原稿の画像の上にスタンプが印字され、重なった部分の画像は見えません。
  - 細かい

    下の原稿の画像が透けて見えます。
  - 粗い

    [細かい] よりも画像がさらに透けて見えます。

  工場出荷時の設定：**ベタ**

- 印字ページ

  スタンプを全ページに印字するか、先頭ページだけに印刷するかを設定します。

  - 全ページ
  - 先頭ページのみ

  工場出荷時の設定：**全ページ**

印字色優先設定

スタンプ（[マル秘]、[回収]、[複製厳禁]、[至急]、[マル仮]、[回覧]、[CONFIDENTIAL]、[DRAFT]）を印字するとき、優先して選択される色を設定します。

- イエロー
- レッド
- シアン
- マゼンタ

- グリーン
- ブルー
- ブラック

工場出荷時の設定：**レッド**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

ユーザースタンプ

［印字編集設定］にある［ユーザースタンプ］の各種項目について説明します。

スタンプ登録/削除

お好みのデザインをユーザースタンプとして登録・変更・削除できます。

40 種類まで登録できます。

ユーザースタンプの登録・変更・削除方法は、P.88「ユーザースタンプを登録する」、P.90「ユーザースタンプを削除する」を参照してください。

スタンプ条件設定：1〜40

1 から 40 に登録したユーザースタンプの仕上がりを調整します。

- 印字位置

  ユーザースタンプを印字する位置を設定します。印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。

  - 左上
  - 中央上
  - 右上
  - 中央左
  - 中央
  - 中央右
  - 左下
  - 中央下
  - 右下

  工場出荷時の設定：**右上**

- 印字位置調整

  ユーザースタンプの印字の位置を調整します。

印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 24mm 上端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 上端から 3～305mm
中央上	中央 上端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 上端から 3～305mm
右上	右端から 24mm 上端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 上端から 3～305mm
中央左	左端から 24mm 中央	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 中央から上下 203mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 中央から左右 152mm
中央	中央	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から上下 203mm 中央から左右 203mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から上下 152mm 中央から左右 152mm
中央右	右端から 24mm 中央	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 中央から上下 203mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 中央から左右 152mm

印字位置	初期値	印字調整範囲
左下	左端から 24mm 下端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 下端から 3～305mm
中央下	中央 下端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 下端から 3～305mm
右下	右端から 24mm 下端から 24mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 下端から 3～305mm

- 印字ページ

  ユーザースタンプの印字を全ページに印字するか、先頭ページだけに印字するかを設定します。

  - 全ページ
  - 先頭ページのみ

  工場出荷時の設定：**全ページ**

印字色優先設定：1～40

1 から 40 に登録したユーザースタンプを印字するとき、優先して選択される色を設定します。

- イエロー
- レッド
- シアン
- マゼンタ
- グリーン
- ブルー
- ブラック

工場出荷時の設定：**レッド**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

日付印字

[印字編集設定]にある[日付印字]の各種項目について説明します。

印字種類設定

日付印字の種類を変更します。

- MM/DD/YYYY
- MM.DD.YYYY
- DD/MM/YYYY
- DD.MM.YYYY
- YYYY.MM.DD
- DD.JUN.YYYY
- YYYY 年 MM 月 DD 日

工場出荷時の設定：**YYYY.MM.DD**

印字フォント設定

日付を印字するフォントを設定します。

- ゴシック
- 明朝
- 丸ゴシック

工場出荷時の設定：**ゴシック**

印字サイズ設定

日付を印字するサイズを設定します。

- 自動
- 大
- 中
- 小

工場出荷時の設定：**自動**

自動白黒反転印字

日付が黒い画像に重なったとき、白黒反転して印字するように設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印字色優先設定

日付を印字するとき、優先して選択される色を設定します。

- イエロー
- レッド
- シアン
- マゼンタ
- グリーン
- ブルー
- ブラック

工場出荷時の設定：**ブラック**

印字条件設定

日付の印字の仕上がりを調整します。

- 印字位置

  日付を印字する位置を設定します。印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。

  - 左上
  - 中央上
  - 右上
  - 左下
  - 中央下
  - 右下

  工場出荷時の設定：**左上**

- 印字位置調整

  日付の印字の位置を調整します。

  印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 32mm 上端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 上端から 3～305mm

印字位置	初期値	印字調整範囲
中央上	中央 上端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 上端から 3～305mm
右上	右端から 12mm 上端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 上端から 3～305mm
左下	左端から 32mm 下端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 下端から 3～305mm
中央下	中央 下端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 下端から 3～305mm
右下	右端から 12mm 下端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 下端から 3～305mm

- 印字ページ

  日付の印字を全ページに印字するか、先頭ページだけに印字するかを設定します。

  - 全ページ
  - 先頭ページのみ

  工場出荷時の設定：**全ページ**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

ページ印字

［印字編集設定］にある［ページ印字］の各種項目について説明します。

印字種類優先設定

［ページ印字］を押したとき、優先して選択されるページ印字の種類を設定します。

- P1,P2…
- 1/5,2/5…
- -1-,-2-…
- P.1,P.2…
- 1,2…
- 1-1,1-2…
- 1 ページ,2 ページ…

工場出荷時の設定：**P1,P2…**

印字フォント設定

ページを印字するフォントを設定します。

- ゴシック
- 明朝
- 丸ゴシック

工場出荷時の設定：**ゴシック**

印字サイズ設定

ページを印字するサイズを設定します。

- 自動
- 大
- 中
- 小

工場出荷時の設定：**自動**

集約時ページ印字設定

集約とページ印字を組み合わせたとき、ページの割り振りかたを設定します。

- 原稿ごと
- 印刷ページごと

工場出荷時の設定：**原稿ごと**

印字位置設定

ページ印字の位置を設定します。

- 印字位置

ページ印字の位置を設定します。印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。

- 左上
- 中央上
- 右上
- 左下
- 中央下
- 右下

工場出荷時の設定：

- [P1, P2…]、[1/5, 2/5…]、[P.1, P.2…]、[1, 2…]、[1 ページ, 2 ページ…] のパターン：**右上**
- [-1-, -2-…]、[1-1, 1-2…] のパターン：**中央下**

指定範囲は次のとおりです。

- 印字位置調整

  ページ印字の位置を調整します。

  印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 12mm 上端から 12mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 上端から 3～305mm
中央上	中央 上端から 12mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 上端から 3～305mm
右上	右端から 12mm 上端から 12mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 上端から 3～305mm

印字位置	初期値	印字調整範囲
左下	左端から 12mm 下端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 下端から 3～305mm
中央下	中央 下端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 下端から 3～305mm
右下	右端から 12mm 下端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 下端から 3～305mm

自動白黒反転印字

ページが黒い画像に重なったとき、白黒反転して印字するように設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印字色優先設定

ページを印字するとき、優先して選択される色を設定します。

- イエロー
- レッド
- シアン
- マゼンタ
- グリーン
- ブルー
- ブラック

工場出荷時の設定：**ブラック**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

文字印字

［印字編集設定］にある［文字印字］の各種項目について説明します。

印字フォント設定

文字を印字するフォントを設定します。

- ゴシック
- 明朝
- 丸ゴシック

工場出荷時の設定：**ゴシック**

印字サイズ設定

文字を印字するサイズを設定します。

- 自動
- 大
- 中
- 小

工場出荷時の設定：**自動**

自動白黒反転印字

文字が黒い画像に重なったとき、白黒反転して印字するように設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印字色優先設定

文字を印字するとき、優先して選択される色を設定します。

- イエロー
- レッド
- シアン
- マゼンタ
- グリーン
- ブルー
- ブラック

工場出荷時の設定：**ブラック**

印字条件設定

文字印字の仕上がりを調整します。

- 印字位置

文字を印字する位置を設定します。印字位置については、P.82「コピーに印字する」を参照してください。

- 左上
- 中央上
- 右上
- 左下
- 中央下
- 右下

工場出荷時の設定：**右上**

- 印字位置調整

文字印字の位置を調整します。

印字位置ごとのスタンプ位置と調整範囲は次のとおりです。表内の初期値と印字調整範囲の値は、用紙の各辺からの距離を表しています。

印字位置	初期値	印字調整範囲
左上	左端から 32mm 上端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 上端から 3～305mm
中央上	中央 上端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 上端から 3～305mm
右上	右端から 12mm 上端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 上端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 上端から 3～305mm
左下	左端から 32mm 下端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 左端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 左端から 3～305mm 下端から 3～305mm

印字位置	初期値	印字調整範囲
中央下	中央 下端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 中央から左右 203mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 中央から左右 152mm 下端から 3～305mm
右下	右端から 12mm 下端から 8mm	**RICOH MP CW2201 シリーズ** 右端から 3～407mm 下端から 3～407mm **RICOH MP CW1201 シリーズ** 右端から 3～305mm 下端から 3～305mm

- 印字ページ

  文字印字を全ページに印字するか、先頭ページだけに印字するかを設定します。

  - 全ページ
  - 先頭ページのみ

  工場出荷時の設定：**全ページ**

ジョブ通番印字の印字開始番号変更

印字する文字の後ろに数字を通し番号で印刷するかしないかを設定します。設定方法は、P.98「文字と連続した番号を印字する」を参照してください。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

周辺設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［周辺設定］タブの各種項目について説明します。

回転ソート：回転給紙継続設定

回転ソート中に給紙部の用紙がなくなったときに、コピーを継続するかしないかを設定します。

- する

  他方向の用紙サイズに回転して出力を継続し、機械から離れていてもコピーは仕上がります。

- しない

  コピーは中断し、用紙補給のメッセージが表示されます。用紙を補給することでコピーを継続します。

工場出荷時の設定：**しない**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

カラー画質設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［カラー画質設定］タブの各種項目について説明します。

自動濃度の濃度設定（フルカラー・2 色）

自動濃度は地肌をとばしてコピーされるように調整されています。フルカラー、2 色コピー時の自動濃度レベルを 5 段階に調整します。

工場出荷時の設定：**5 段階調整の中央**

カラー幅調整

指定色消去の指定する色やカラー変換の変換前の色、2 色コピー（黒・赤）の赤色の幅を 5 段階に調整します。

工場出荷時の設定：**5 段階調整の中央**

たとえば、消去する色にレッドを指定したとき、色の幅を［ひろく］にしておくとマゼンタやオレンジに近い色まで消去されます。［せまく］にしておくとレッドが消去されます。

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

管理者用設定

［コピー／ドキュメントボックス初期設定］にある［管理者用設定］タブの項目について説明します。

管理者用設定は、管理者が設定する項目です。設定内容や設定を変更するときは、『セキュリティーガイド』「メニュープロテクトを設定する」を参照してください。

管理者認証を設定して使用することをお勧めします。

メニュープロテクト設定

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

7. 付録

本機の仕様について説明します。

機能別読み取りサイズ一覧

印刷位置調整、余白、編集、印字機能を設定したときの、読み取りサイズの制限値は次のとおりです。

機能	読み取りサイズの制限値
印刷位置調整	A0 以下
余白	15m 以下
フォーマット合成	A0 以下
内消去	A0 以下、5 カ所まで
外消去	A0 以下
枠消去	A0 以下
内消去、枠消去とフォーマット合成との組み合わせ	A0 以下
外消去とフォーマット合成との組み合わせ	A0 以下
反転	15m 以下
ミラー	15m 以下
ダブルコピー	**RICOH MP CW2201 シリーズ** A1 以下（A0 用紙選択時） **RICOH MP CW1201 シリーズ** A2 以下（A1 用紙選択時）
リピート	A0 以下
リピートと枠消去との組み合わせ	A0 以下
リピートとフォーマット合成との組み合わせ	A0 以下
印字	A0 以下

登録控えフォーマット

本機に登録したプログラム、ユーザースタンプ、フォーマットの詳細を記録するために使用します。必要なフォーマットを印刷して使用してください。

プログラム登録控え

機能5										
機能4										
機能3										
機能 2										
機能 1										
原図名称										
プログラム No.										

CAZ024

フォーマット登録控え

フォーマットNo.	原図名称	備考	登録年月日	登録者
1				
2				
3				
4				

CAZ025

ユーザースタンプ登録控え

登録No.				
会社名／部署名／プロジェクト名等				
登録した印				
登録年月日				
登録者				

CPJ002

補足

- プログラムの登録方法は、『便利な機能』「プログラムに設定を登録する」を参照してください。

定形倍率表

%		用紙サイズ								
		A0	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4
原稿サイズ	A0	100.0	70.7	50.0	35.4	25.0	86.6	61.2	43.3	30.6
	A1	141.4	100.0	70.7	50.0	35.4	122.5	86.6	61.2	43.3
	A2	200.0	141.4	100.0	70.7	50.0	173.3	122.5	86.6	61.2
	A3	282.8	200.0	141.4	100.0	70.7	244.9	173.3	122.5	86.6
	A4	400.0	282.8	200.0	141.4	100.0	364.4	244.9	173.3	122.5
	B1	115.5	81.5	57.7	40.8	28.9	100.0	70.7	50.0	35.4
	B2	163.3	115.5	81.5	57.7	40.8	141.4	100.0	70.7	50.0
	B3	230.9	163.3	115.5	81.5	57.7	200.0	141.4	100.0	70.7
	B4	326.6	230.9	163.3	115.5	81.5	282.8	200.0	141.4	100.0

補足

- 定形倍率表の値は規準倍率です。

仕上がり寸法

定形用紙のサイズ一覧表です。

	幅×長さ（mm）
A0	841×1189
A1	594×841
A2	420×594
A3	297×420
A4	210×297
B1	728×1030
B2	515×728
B3	364×515
B4	257×364

MEMO

MEMO

JA JP 2015年12月 D262-7524 © 2015 Ricoh Co., Ltd.